

事業報告書

2025（令和7）年度

社会福祉法人 愛 光

2025（令和7）年度 法人事業報告書
「Co-Creation(コ・クリエーション)」
～心を合わせ、未来を築く～

＜第Ⅴ期中期経営計画2年目＞

2025年度は、第Ⅴ期中期経営計画（2024年度～2026年度）の2年目として、初年度に整備した戦略方針と実行体制を基盤に、各重点施策の実践と定着を進める年度と位置づけた。

3ヶ年スローガン「Co-Creation～心を合わせ、未来を築く～」のもと、法人全体で方向性を共有しながら、組織横断的な連携と主体的な経営実践を推進した。

中期経営計画の柱である「事業部の独立運営」「人財開発」「地域福祉」「広報」の各重点戦略については、それぞれの進捗を着実に積み上げることができた。特に事業部運営においては、各事業部において設定した重要業績評価指標（KPI）を概ね達成し、安定した経営実績を確保した。あわせて予算と実績の進捗管理を適切に行うことで、経営意識の浸透と経営基盤の強化につながった。

人財開発においては、ワーキングチームが有効に機能し、法人運営における課題解決や新たな取組みに主体的に関わることで、具体的な成功体験を積み重ねることができた。これにより、実践を通じた人材育成の効果が高まり、人材育成プログラムであるコ・ヒューマントレーニングとの連携によって、次世代リーダーの育成基盤をさらに強化することができた。

地域福祉分野では、公益的取組み（ともいき事業）を継続し、地域とのつながりを維持しながら法人の社会的役割を果たしてきた。当年度は、特にともいきプロジェクトの新規事業として11月に「さんのう文化祭」を山王小学校と山王集会所にて2日間にわたり開催し、多世代交流の機会を創出するとともに、地域との連携強化と地域共生社会の実現に向けた実践を積み重ねた。広報分野については具体的な着手まで至らず、法人の実践や公益活動の発信強化は次年度への課題として残ることとなった。

2026年度は、第Ⅴ期中期経営計画の最終年度として、未着手となった広報戦略を重点課題と位置づけ、新たに広報セクションを設置し、本格的な情報発信体制の構築を進める。また、これまで積み上げた経営基盤と人材育成の成果を確実に結実させ、中期経営計画最終年に向けての価値創出を目指していく。

＜法人創立70周年記念事業＞

10月31日に創立70周年記念式典をウイシュトンホテルユーカリ（佐倉市）にて実施。本式典は「未来へ」をテーマに掲げ、第1部・第2部を来賓の皆様との記念式典・パーティー、第3部を職員向け記念パーティーとする三部構成で実施した。また、記念事業の一環として、来賓・関係者向け記念誌『71年目の約束』並びに職員向け記念誌『ひとひかり』を作成し、配布した。

＜人材育成、業務効率化＞

◎障害者支援事業部、本部を対象に、「コ・スマイル5S活動」を実施。本研修は職場環境の基本である5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底を通じて、業務の中に潜むムリ・ムダ・ムラを発見し、主体的に改善していく「改善眼」を養うことを目的としている。単なる美化活動にとどまらず、業務効率化、安全性向上、問題解決力向上、そして法人内での改善文化の醸成を目指す取り組みとなっている。当年度は、本部・ルミエール・リホープ・めいわ・根郷通所センターを対象とし、各部署から選出されたメンバーがチームとして1年かけ

て座学と各職場での実践を繰り返し、具体的な改善活動を進めた。次年度はメンバーを一部入れ替えての継続とする。

◎はちす苑の業務効率化の取組として、「入浴ワーキングチーム」「排泄ワーキングチーム」「フードワーキングチーム」を中心に業務の課題抽出と評価を行うことでサービスの質向上と ICT 導入を想定したアナログ業務を整理することを目的に新規マニュアル作成を実施。現在行っている業務に対して常に改善を目指す風土作り、考える職場文化を醸成していく一歩となった。次年度は、権利擁護など「はちすの誓い」の他の項目について業務効率化の取組みを継続する。

◎コ・ヒューマントレーニング 2 期生については、実践トレーニングとして「地域食堂」「サロン・ド・ともいき」「ゼロ円バザー」「AIKOH フォーラム」「オレンジカフェ」の法人事業である地域の公益的な取組み「ともいき事業」メンバーとして活動した。内面的な研修と実践的な研修により配属された事業以外のキャリアを法人内で養成していく機会となった。

◎コ・ヒューマントレーニング 3 期生終了。受講者も 33 名を数え、その役割も定着してきた。次年度からは、カテゴリーを「ファウンデーション」「ベーシック」「アドバンス」と 3 分割し人事や年度計画に応じた柔軟な運用とする。マネジメントトレーニングとテクニカルスキル研修は年度計画どおり実施した。

◎法人内の通信システムについては、昨年度に検証ワーキングチームを組成し、当年度より本格実施へ移行した。入所施設、相談事業、学童保育を中心に運用を開始し、現場間の情報共有や連携強化に一定の成果を上げた。さらに、法人内のプロジェクト及び各種委員会活動にも活用を広げることで、その汎用性と実用性が確認され、組織横断的な業務効率化と意思決定の迅速化につながった。

《国際交流事業・韓国ラファエルの家来訪》

姉妹提携を継続している韓国 ラファエルの家 より、施設長、事務局長をはじめ 8 名が来日し、国際交流事業を実施した。2002 年から継続する交流事業として、本年度も相互の関係を深める機会となった。研修では、日韓それぞれの福祉制度や支援体制について学び合い、相互理解を深めた。また、施設の日中活動にも参加いただき、支援現場での実践交流を行った。次年度は当法人から韓国の ラファエルの家 を訪問予定としており、今後も継続的な交流を通じて福祉実践の向上につなげていく。

《事業基盤整備》

◎グループホーム「宮前の家」創設(10 月地域向け内覧会、落成式、11 月 4 日オープン)

◎はちす苑大規模修繕 1 期実施(内装、駐車場)、次年度は屋根、外壁工事実施予定。

◎防犯カメラ設置(佐倉事業所施設内外、学童保育)

◎よもぎの園福祉指定避難所整備(空調、照明 LED 化、園庭アスファルト化工事)

◎南部地域福祉センター 2 期目終了。次期指定管理受託。

◎南部地域福祉センター「指定暑熱避難施設」に指定。

◎大崎台学童保育所拡張(根郷保育園空き保育室使用)。待機児童ゼロとなり目標達成。

◎学童保育所 ICT 化「うえぶさくら」本格導入。児童の入退室、職員の勤怠管理等、複雑な管理業務を効率化。次年度から汎用性について検討。

(2026 年 5 月 理事長:西原弘明)

2024（令和6）年度 事業報告

目 次

I. 法人本部

I－1 法人本部	1
----------	---

II. 健康管理部

II－1 健康管理部	17
------------	----

III. 障害者支援事業部

III－1 ルミエール	27
-------------	----

（障害者支援施設）

III－2 めいわ	35
-----------	----

（障害者支援施設）

III－3 リホープ	47
------------	----

（障害者支援施設）

III－4 山王の家	57
------------	----

（共同生活援助）

IV. 佐倉圏域事業部

IV－1 佐倉市よもぎの園	63
---------------	----

（就労継続支援B型）

IV－2 障害者生活支援事業所かけはし	69
---------------------	----

（障害者相談支援事業所）

IV－3 ワークショップかぶらぎ	73
------------------	----

（就労継続支援B型/自立訓練）

IV－4 ジョーの家	81
------------	----

（共同生活援助）

IV－5	障害者生活支援センターアシスト	93
------	---------------------------	----

V. 高齢者福祉事業部

V－1	はちす苑	101
-----	----------------	-----

V－2	佐倉市南部包括支援センター	109
-----	-------------------------	-----

VI. 地域福祉事業部

VI－1	南部児童センター	115
------	--------------------	-----

VI－2	学童保育所	121
------	-----------------	-----

VI－2	南部地域福祉センター	125
------	----------------------	-----

I . 法 人 本 部

本部

当年度は、法人の節目となる70周年を迎え、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の発展に向けた新たな取り組みの推進に努めた。70周年記念事業では法人のこれまでの実績を内外に発信する機会とした。関係者への感謝を表すとともに、次の時代への継承と発展を意識した取り組みとなった。

また、法人全体の規模として職員数が400名を突破し、これに伴い、人材育成や組織運営の質の向上が一層重要となっている。

業務改善の取り組みとしては、外部専門家であるコンサルトレーナーの指導のもと、5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を導入した。職場環境の改善と業務効率化、職員の意識向上に寄与する取り組みとして、継続的な定着を図っている。

施設整備においては、はちす苑第1期大規模修繕工事（内装工事）を実施し、利用者の生活環境の向上および施設の長寿命化を推進した。

国際交流の分野では、韓国「ラファエルの家」との交流を実施し、同施設の訪日を受け入れた。相互理解と福祉実践の向上に資する貴重な機会となった。なお、来年度は本法人から韓国への訪問（愛光側の訪韓）を予定している。

新規事業としては、障害者グループホーム「宮前の家」を開設し、地域における障害福祉サービスの充実を図った。

人材確保の面では、学生の認知拡大と将来の採用活動を見据え、初の試みとして職場体験イベント「まると体験福祉の職場」を開催した。6名の学生に対し、事業所見学や作業体験、先輩職員との座談会を実施した。福祉の仕事のリアルを伝えることで不安解消と職業理解を促し、採用広報として確かな成果を得ることができた。

以上のように、当年度は記念事業、業務改善、施設整備、国際交流、新規事業等、多岐にわたる分野で取組を進めた。

○地域との連携・協働

- ・根郷中学校での福祉学習を2回、山王小学校では全学年を対象に計6回実施した。山王小学校は福祉学習を1年間の研究対象と定め、今まで4年生に限定していた内容を拡大。各学年のテーマに合わせた形で実施した。（2年生は物井花壇整備を園芸班と敬愛短期大学の学生と実施、6年生はボッチャを通じた障害者の方々との関わりを学ぶ）また、実習等で連携している養成校の教員から依頼を受け、新たに四街道市立みそら小学校の3年生を対象とした車椅子体験授業を行った。佐倉市外での福祉学習は初の試みであり、愛光の福祉学習の輪を地域社会へ広げる新たな一歩となった。
- ・ともいきプロジェクトでは、山王みらいプロジェクトとして4回目のゼロ円バザーを山王小学校で実施し、地域との連携・協働につながる活動を積極的に行った。

○人材確保・人材育成

- ・学校訪問においては、17校を訪問し、うち4校に対し法人の事業所紹介等の講義を実施した。講義を受講した学生より、法人での実習希望があり、実習生の獲得及びブランディング強化につながった。
 - ・インターンシップは5名の受け入れと少なかったが、就職説明会には46名が参加した。参加者の多くは実習生であり、現場体験を経たうえでの参加となった。
 - ・「保育士修学資金貸付制度」を利用している学生を対象に、当法人独自の「保育士修学資金助成制度」を創設した。
- 本貸付制度は、卒業後一定期間、保育士として従事しない場合に返還義務が生じる仕組みだが、この返還負担が障壁となり、福祉の道を志しながらも進路を断念する学生が少なくない。そこで、返還義務が生じる学生の経済的負担を軽減すべく、独自の助成制度を導入した。
- これに伴い、保育課程を有する専門学校・短期大学との新たな連携体制を構築し、実習生の受け入れを確保することができた。また、本制度の周知を通じて、多様なキャリア観を持つ学生層からの関心を高め、入職者の獲得を実現した。

○広報活動体制強化

- ・ビジョンブック（法人パンフレット）の修正・増刷及び法人ホームページの修正
- ・70周年のテーマである「未来」を軸に、記念誌を「内部向け（職員）」と「外部向け（来賓・関係者）」の二部構成で制作した。内部向けにおいては、職員インタビューを軸とした誌面構成にすることで、法人の歩みを共有し、職員一人ひとりの帰属意識を高めることにつながった。

（本部長 佐藤 達弘）

1 2025（令和7）年度実績

（1）財務（単位：百万円）

	令和7年度	前年	増減	法人本部	障害者支援事業部	佐倉圏域事業	高齢者福祉事業	地域福祉事業	視覚障害者無償貸与
サービス活動収益	2,432	2,403	29	21	1,438	219	532	229	0
経常増減差額	153	188	△35	△102	352	△18	△95	27	△10
経常増減差額比率（％）	6.3％	7.8％			24.5％	-8.3％	-17.9％	11.6％	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計及び比率が一致しない場合がある。

（2）個別運営実績

経営改革	・第Ⅴ期中期経営計画の実行
事業運営	・内部統制構築推進（本部・各事業所業務ヒアリング実施 巡回指導監査実施）
地域貢献活動	《まちづくりへの協力》 ・地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置） ・地域福祉活動への参加（地区社協） 《その他の地域貢献・交流活動》 ・地域食堂ともいき ・佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス（イベント開催時） ・城の辺地区社協買い物支援協力 ・小学生書き初め展 ・ボランティアの育成 ・地域防災「佐倉市指定福祉避難所」
設備管理	・はちす苑第1期大規模修繕工事（内装工事） ・佐倉圏域グループホーム建築（宮前の家）
後援会	・ギャラリーあいこう ・地域お祭りへの支援 ・子ども食堂の支援 ・小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会） ・Aikoh フォーラム助成支援 ・愛光ボランティア保険料への助成 ・灯台カフェ開催（ルミエール・めいわ・リホープ）

(3) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
内部統制構築	対象施設業務ヒアリング 整備評価	内部統制フローチャートに基づく評価の 実施
ともいきPT	山王自治会との共同プロジェクト 「山王みらいプロジェクト」	地域食堂の継続 4回目のゼロ円バザー実施
財務PT	財務分析予算管理 各事業健全経営の提案 資金運用計画策定	四半期ごとの計算書分析 保険契約等見直しによる経費削減 定期預金、ファンド ^{ラップ} 資金運用実施
人材育成PT	次世代リーダー・幹部職員育成	コ・ヒューマントレーニング2期生 (フォローアップ研修2回) コ・ヒューマントレーニング3期生(7回) 経営層マネジメントトレーニング(2回)
人事制度検討PT	人事制度の検証	現行人事制度の確認、検証

2 事業の現況 (2026年3月31日現在)

(1) 佐倉事業所 (所在地／千葉県佐倉市山王2-37-9)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種 事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 60 名 【認可】 2007 (平成 19) 年 11 月 1 日	大里英巳
	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (短期入所) 【定員】 併設型 3 名 【認可】 2006 (平成 18) 年 10 月 1 日	
	公 益 事業	【種別】 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 【認可】 2006 (平成 18) 年 10 月 1 日	
めいわ	第一種 事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護 80 名 (めいわ 56 名・根郷通所 24 名) 施設入所支援 56 名 (めいわ) 【認可】 2008 (平成 20) 年 8 月 1 日	片野明美
	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (短期入所) 【定員】 併設型 4 名 (+空床利用) 【認可】 2006 (平成 18) 年 10 月 1 日	
	公 益 事業	【種別】 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 【認可】 2006 (平成 18) 年 10 月 1 日	
リホープ	第一種 事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 50 名 【認可】 2008 (平成 20) 年 4 月 1 日	中川光男
	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (短期入所) 【定員】 併設型 2 名 (+空床利用) 【認可】 2006 (平成 18) 年 10 月 1 日	
	公 益 事業	【種別】 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 【認可】 2006 (平成 18) 年 10 月 1 日	

(2) 佐倉太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田 1145-1)

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】特別養護老人ホーム 【定員】64名 【認可】1999（平成11）年10月1日	安部一義
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】老人短期入所事業 【定員】併設型10名（及び空床型） 【認可】2000（平成12）年1月1日	
		【種別】共生型短期入所事業 【定員】6名 ※老人短期入所事業定員に含む 【認可】2018（平成30）年9月1日	
【種別】老人デイサービス事業 【定員】35名 【認可】1999（平成11）年10月1日			
【種別】共生型生活介護事業 【定員】35名 ※老人デイサービス事業定員に含む 【認可】2018（平成30）年7月1日			
【種別】老人居宅介護等事業 【認可】2000（平成12）年4月1日			
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】居宅介護支援事業 【認可】2000（平成12）年4月1日	藤村千穂

(3) 佐倉宮前事業所 (所在地/千葉県佐倉市宮前 2-13-1)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(就労継続支援B型) 【定員】40名 【認可】2008(平成20)年4月1日	戸室輝大
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2008(平成20)年6月1日	
佐倉市障害者生活支援センター かけはし	第二種事業	【種別】障害者相談支援事業(特定相談)(業務委託) 【受託】2024(令和6)年1月1日	

(4) 佐倉鎚木町事業所 (所在地/千葉県佐倉市鎚木町 352-2)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業(就労継続支援B型) 【定員】18名 【認可】2015(平成27)年6月1日	近藤美貴
		【種別】障害福祉サービス事業(自立訓練〈生活訓練〉) 【定員】6名 【認可】2015(平成27)年6月1日	
	公益事業	【種別】地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】2015(平成30)年9月1日	

(5) 佐倉城事業所 (所在地／千葉県佐倉市城 399-3)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】4名 【認可】2009(平成21)年4月1日	高橋健

(6) 佐倉大篠塚事業所 (所在地／千葉県佐倉市大篠塚 1587 南部保健福祉センター内)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市立南部 児童センター	第二種事業	【種別】児童センター 【受託】2014(平成26)年4月1日	横川民夫
佐倉市立 根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 第二寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種事業	【種別】学童保育所 【受託】2014(平成26)年4月1日	
佐倉市南部 地域福祉センター	公益事業	【種別】地域福祉センター 【受託】2016(平成28)年4月1日	青山秀人
佐倉市南部 地域包括支援センター	公益事業	【種別】地域包括支援センター(業務委託) 【認可】2009(平成21)年4月1日	森由美子
佐倉市障害者 生活支援センター アシスト	第二種事業	【種別】障害者相談支援事業(一般・特定相談) (業務委託) 【受託】2002(平成14)年4月1日	小平和俊

(7) 佐倉山王・太田事業所 (所在地／千葉県佐倉市太田 1879-1)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】10名 【認可】2017(平成29)年11月1日	岡本綾子

(8) 佐倉宮前・山崎事業所 (所在地／千葉県佐倉市山崎 350-5)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
宮前の家	第二種事業	【種別】障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】10名 【認可】2009(平成21)年4月1日 【住居追加】2025(令和7)年11月1日	高橋健

3 理事会・評議員会

(1) 理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (324回)	6月7日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事8名 監事2名	0名	第1号議案 2024(令和6)年度事業報告について 第2号議案 2024(令和6)年度決算報告について 監事監査報告 第3号議案 役員改選について 第4号議案 管理職員人事について 第5号議案 評議員選任・解任委員会の外部委員の選任について 等
第2回 (325回)	6月22日 (日)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事2名	1名	第1号議案 理事長選定について 第2号議案 業務執行理事について 第3号議案 副理事長及び総括施設長選定について 第4号議案 理事等の担当区分について 第5号議案 役員報酬規程改正について 等
第3回 (326回)	9月6日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事8名 監事2名	0名	第1号議案 諸規程の改正について 第2号議案 運営規程の改正について 等
第4回 (327回)	11月29日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事2名	1名	第1号議案 2025(令和7)年度第1次補正予算(案)について 第2号議案 定款変更について 第3号議案 諸規程の改正について 第4号議案 運営規程の改正について 等
第5回 (328回)	1月17日 (土)	ワークショ ップかぶら ぎ 1階	理事6名 監事2名	2名	業務報告 事業部報告
第6回 (329回)	3月14日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事2名	1名	第1号議案 2025(令和7)年度第2次補正予算(案)について 第2号議案 2026(令和8)年度事業計画(案)、当初予算(案)について 第3号議案 2026(令和8)年度理事会議決事項契約について 第4号議案 運営規程の改正について 第5号議案 諸規程の改正について 第6号議案 2025(令和7)年度第3回(通算第82回)評議員会招集について 等

(2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (80回)	6月22日 (日)	愛光本館 第1会議室	12名	0名	第1号議案 2024(令和6)年度事業報告について 第2号議案 2024(令和6)年度決算報告について 監事監査報告 第3号議案 役員改選について 第4号議案 定款の改正について
第2回 (81回)	12月7日 (日)	愛光本館 第1会議室	8名	4名	第1号議案 2025(令和7)年度第1次補正予算について 第2号議案 定款変更について
第3回 (82回)	3月28日 (土)	愛光本館 第1会議室	10名	2名	第1号議案 2025(令和7)年度第2次補正予算(案)について 第2号議案 2026(令和8)年度 事業計画(案)、予算(案)について

※()内は通算回数

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (5回)	6月22日 (日)	愛光本館 第2会議室	5名	0名	第1号議案 評議員の選任について

(4) 理事・監事・顧問

任期/2025年6月22日～2027年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
理事長 副理事長 副理事長 業務執行理事 " " 理 事 " " " "	西原 弘明 酒井綱一郎 中川 光男 安部 一義 横川 民夫 吉野 智 松山 毅 小川 智子	愛光 総括施設長 元会社取締役 愛光 障害者支援事業部長 愛光 高齢者福祉事業部長 愛光 地域福祉事業部長 弁護士事務所 所長 大学 先任准教授 大学 教授	法人職員 地域の福祉関係者 法人職員 法人職員 法人職員 法律家 社会福祉事業の学識経験者 社会福祉事業の学識経験者
監 事	滑川 里美 井上 郷	一般社団法人理事 税理士事務所 所長	社会福祉有識者 財務有識者
会 長	法澤 奉典	愛光 元理事長	
顧 問	荒木 直躬 岡田 正平 島本 賢一 長谷川匡俊 望月 清義 田邊 正雄	社会福祉法人 理事長 愛光後援会 元会長 元愛光家族協議会 会長 学校法人 理事長 元市議会議員 元社会福祉協議会 理事	

(5) 評議員

任期/2025年6月22日～2029年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
評議員 "	青木 隆一 足立 元秀 石毛 滋之 小川 雅夫 長田 研自 黒田 聡 今野 正隆 内藤 寛子 中澤 昌子 布施 千草 星 初枝 山崎 昭造	独立行政法人理事長 元地区社会福祉協議会会長 会社役員（利用者家族） 千葉県教育相談員 会社役員 福祉関係団体役員 福祉関係団体職員 根郷地区社会福祉協議会会長 元特別支援学校 PTA 会長 元短期大学学科長 薬物乱用防止対策協議会事務局長 福祉関係団体役員	行政経験者 地域の福祉関係者 利用者の家族の代表 社会福祉事業の学識経験者 地域の後援者 地域の福祉関係者 地域の福祉関係者 地域の福祉関係者 地域の福祉関係者 社会福祉事業の学識経験者 地域の福祉関係者 地域の福祉関係者

(6) 評議員選任・解任委員

任期/2025. 6. 22~2029. 6

職 名	氏 名	任 期	備 考
監 事	滑川 里美	2025. 6. 22~2029. 6	一般社団法人 理事
監 事	井上 郷	2025. 6. 22~2029. 6	税理士事務所 所長
外 部 委 員	稲村 多恵子	2025. 6. 22~2029. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外 部 委 員	小林 眞智子	2025. 6. 22~2029. 6	地区民生委員児童委員協議会長
事 務 局	宮本 典昭	2025. 6. 22~2029. 6	愛光職員

4 職員の状況

(1) 採用・退職・異動 (2025 年 4 月 1 日~2026 年 3 月 31 日)

事業所名	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1~2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
法人本部	17 (5)		1		1	17 (5)
健康管理部	21 (7)		1		2	22 (7)
ルミエール	44 (7)	3	7 (3)	6	2	42 (7)
めいわ	44 (8)	8 (4)	3 (1)	5 (2)	7 (1)	43 (10)
根郷通所センター	14 (5)		2	1	1	14 (5)
リホープ	37 (7)	4 (2)	4	4 (1)	3 (1)	34 (8)
山王の家	7 (6)					7 (6)
よもぎの園	13 (8)	5 (4)	2		1 (1)	20 (12)
宮前の家	0	9 (9)	1		2 (2)	9 (8)
かけはし	2 (1)		2 (1)			2 (1)
ワークショップかぶらぎ	12 (5)	2 (2)	2	1	1	14 (7)
ジョーの家	3 (3)	1 (1)				3 (3)
アシスト	5	1	2		2	5
はちす苑	82 (40)	10 (6)		4 (1)	13 (10)	85 (41)
佐倉市南部地域包括	7	2	2	1	1	7
佐倉市南部児童センター 学童保育所	53 (36)	46 (45)	3	1 (1)	32 (26)	69 (54)
佐倉市南部地域福祉センター	11 (9)	1			3 (3)	8 (6)
総 数	372 (147)	92 (73)	32 (5)	23 (5)	71 (44)	401 (180)

★育休・休職は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示

(2) 採用形態別 (2025 年 4 月 1 日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポート職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	372	120	252	193	90	103	32	6	26	147	24	123
法人本部	17	11	6	10	7	3	2	1	1	5	3	2
健康管理部	21		21	11		11	3		3	7		7
ルミエール	44	19	25	35	19	16	2		2	7		7
めいわ	44	16	28	35	16	19	1		1	8		8
根郷通所センター	14	5	9	9	5	4				5		5
リホープ	37	15	22	28	13	15	2	1	1	7	1	6
山王の家	7	1	6	1		1				6	1	5
よもぎの園	13	4	9	4	3	1	1		1	8	1	7
宮前の家												
かけはし	2		2	1		1				1		1
ワークショップかぶらぎ	12	3	9	6	3	3	1		1	5		5
ジョーの家	3		3							3		3
アシスト	5	4	1	4	3	1	1	1				
はちす苑	82	24	58	37	16	21	5	1	4	40	7	33
佐倉市南部地域包括	7	3	4	6	3	3	1		1			
佐倉市南部児童センター・学童保育所	53	8	45	5	1	4	12	1	11	36	6	30
佐倉市南部地域福祉センター	11	7	4	1	1		1	1		9	5	4

★常勤嘱託はサポート職員に含む

(3) 役割等級別 (2025 年 4 月 1 日現在)

事業所名	等級 総数	正 職 員					契約職員				パート職員
							サポート職		嘱託技能・管理職		
	2	3	4	5	6	1	3	4	5	1	
	305	152	29	6	6		21	5	3	2	81
法人本部	16	4	3	1	2		0	1	1		4
健康管理部	21	10	1				1	2			7
ルミエール	42	29	4	1	1		1				6
めいわ	43	30	5					1			7
根郷通所センター	14	8		1							5
リホープ	37	25	1	1	1		1			1	7
山王の家	7		1								6
よもぎの園	13	2	1	1			1				8
宮前の家											
かけはし	2	1									1
ワークショップかぶらぎ	12	2	3		1		1				5
ジョーの家	3										3
アシスト	5	3							1		1
はちす苑	64	31	5		1		5			1	21
佐倉市南部地域包括	7	5	1					1			
佐倉市南部児童センター・学童保育所	17	2	3	1			10		1		
佐倉市南部地域福祉センター	2		1				1				

★嘱託サポート、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所パート、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

(4) 年齢構成 (2025 年 4 月 1 日現在)

総 数	年 齢	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
	372	3	60	64	53	99	93
法人本部	17			3	3	5	6
健康管理部	21		1		5	8	7
ルミエール	44		16	8	7	9	4
めいわ	44		17	9	5	9	4
根郷通所センター	14		1	5	2	2	4
リホープ	37	1	11	9	4	9	3
山王の家	7					2	5
よもぎの園	13			6	2	5	
宮前の家							
かけはし	2			1			1
ワークショップかぶらぎ	12		1	1	7	2	1
ジョーの家	3					1	2
アシスト	5			1	2	1	1
はちす苑	82	1	9	15	10	22	25
佐倉市南部地域包括	7			3	2	1	1
佐倉市南部児童センター・学童保育所	53	1	4	3	4	19	22
佐倉市南部地域福祉センター	11					4	7

(5) 免許・資格 (2025 年 4 月 1 日現在)

総 数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	371	41	10	28	134	93	2	28	15	20
法人本部	13	1		2	4	6				
健康管理部										
ルミエール	59	7	1	4	22	15		7	3	
めいわ	62	7	3		22	18	1	8	3	
根郷通所センター	18	1			7	7		2	1	
リホープ	45	6	1	4	12	19	1	2		
山王の家	4				2	2				
よもぎの園	12	1		1	5	5				
宮前の家										
かけはし	4	2	1			1				
ワークショップかぶらぎ	16	4	2	1	3	6				
ジョーの家	2				1					1
アシスト	7	2	1	1	2	1				
はちす苑	78	5	1	12	49	8		1		2
佐倉市南部地域包括	12	5		3	2	2				
佐倉市南部児童センター・学童保育所	37				2	2		8	8	17
佐倉市南部地域福祉センター	2				1	1				

5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規 程	区分	整 備 内 容
2025. 6. 22	2025. 7. 1	役員報酬規程	改正	・ 副理事長の常勤定年後報酬額変更
2025. 9. 6	2025. 11. 1	就業規則	改正	・ 「宮前の家」開設にともなう追加
2025. 9. 6	2026. 4. 1	給与規程	改正	・ 就学資金貸付返還助成手当の創設
2025. 9. 6	2025. 10. 1	育児・介護休業等に関する規程	改正	・ 育児・介護休業法が一部改正されるためそれにともなう改正
2025. 11. 29	2025. 10. 1	給与規程・パート職員給与規程・特別雇用職員給与規程・嘱託職員給与規程・	改正	・ 最低賃金の変更に伴う改正
2025. 11. 29	2025. 11. 1	定款細則・組織管理規程・文書管理規程・経理規程	改正	・ 宮前の家開設による追加
2026. 3. 24	2026. 4. 1	給与規程・パート職員給与規程・サポート職員給与規程・嘱託職員給与規程・特別雇用職員給与規程	改正	・ 処遇改善金の支給方法の変更 ・ 夜勤手当の変更

6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

（１）事故の状況

※カッコ内の数字は他事業所と合同の事案であるので、件数には反映しない

	総 数	本 部	ル ミ エ ル	め い わ	リ ホ ー プ	は ち す 苑	富 前 か け は し よ も ぎ の 園	MS か ぶ ら ぎ ジ ョー	根 郷 通 所・山 王 の 家	ア シ ス ト・包 括	児 童 学 童	地 域 福 祉 セ ン タ ー
（総数）	54	0	6	10	10	23	1	0	2	1	0	1
死亡に至った事例												
骨折等重症に至った事例	12		1	3	3	5						
裂傷・打撲等通院治療事例	10		2		2	5						1
無届外出	4			2		1			1			
車輛事故（物損）	3			2						1		
誤投薬	11			2		8	1					
その他(放置)	14		3	1	5	4	(1)		1			

(2) 苦情の状況

	総数	本部	ルミエール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園 宮前かけはし	かぶらぎ・ジョー	根郷・山王の家	アシスト・包括	児童・学童	地域福祉センター
(総数)	5					1				1	3	
食事等サービス内容に関すること	1					1						
職員の対応、行動に関すること	3									1	2	
介護、支援方針に関すること												
設備、職員配置に関すること												
他の利用者に関すること	1										1	
その他												

(3) 第三者委員の活動状況

施 設	担当委員	日 付	活動内容
ルミエール	向井委員	2025. 6. 15	家族と懇談方式
めいわ	葛西委員	2025. 7. 20	家族と懇談方式
ワークショップかぶらぎ	向井委員	2025. 10. 7	利用者と個別面談
ジョーの家	向井委員	2025. 10. 7	利用者と個別面談
ワークショップかぶらぎ	向井委員	2025. 10. 18	家族と懇談方式
根郷通所センター	加藤委員	2026. 2. 2	利用者と懇談会
はちす苑	葛西委員	2026. 2. 7	利用者と懇談会
リホープ	向井委員	2026. 2. 9	利用者と懇談会
よもぎの園、宮前の家	加藤委員	2026. 2. 10	利用者、ご家族懇談会
めいわ	葛西委員	2026. 2. 14	利用者と懇談会
南部地域福祉センター	葛西委員	2026. 2. 21	定期利用団体と懇談方式

7 事業経過（本部関係／2025. 4. 1～2026. 3. 31）

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行会議
4 月	辞令交付式・新任職員研修・地域食堂ともいき	8 日
5 月	監事監査・地域食堂ともいき・声の花束コンサート・採用後 1 年面接・コヒューマントレーニング	6・13・27 日
6 月	理事会・評議員会・地域食堂ともいき・夜間想定避難訓練・中途採用者交流会・感染症研修	3 日
7 月	辞令交付式・地域食堂ともいき・メンティー交流会・山王夏祭り・5S 研修・ラファエルの家交流事業・コヒューマントレーニング	1 日
8 月	辞令交付式・5S 研修・地域食堂ともいき・メンター情報交換会・コヒューマントレーニング・採用後 1 年終了面接・Aikoh フォーラム	5 日
9 月	理事会・福祉学習・5S 研修・4 年目職員交流会・地域食堂ともいき・試用期間終了面接・法人墓参り	2 日
10 月	辞令交付式・愛光秋まつり・法人墓参り・5S 研修・3 年目職員交流会・宮前の家落成式・採用後 1 年面接・地域食堂ともいき・コヒューマンフォローアップ研修・創立 70 周年記念式典	7 日
11 月	理事会・地域食堂ともいき・法人権利擁護研修・山王 0 円バザー・2 年目交流会・コヒューマントレーニング・5S 研修・福祉学習	4・18 日
12 月	評議員会・第 13 回職員実践発表会・福祉学習・メンター情報交換会・コヒューマントレーニング・5S 研修・地域食堂ともいき・山王福祉学習・試用期間終了面接・千葉県監査・感染症対策研修	2 日
1 月	理事会・辞令交付式・5S 研修・地域食堂ともいき・経営層マネジメントトレーニング中期経営研修・試用期間終了面接・メンタルヘルス研修	6 日
2 月	福祉学習・コヒューマントレーニング・5S 研修・褥瘡ケア研修・メンティー交流会・地域食堂ともいき	3・26・27 日
3 月	理事会・評議員会・BCP 対策研修・Co-Connect 福祉「まるごと体験 福祉の職場」地域食堂ともいき・法人墓参り・家族協議会・第三者報告会・ボランティア交流会・採用後 1 年・試用期間終了面接・コヒューマントレーニング・5S 研修・労務管理者研修	3 日

8 ボランティアの育成と受け入れ

(1) ボランティア受け入れ状況 (障害支援事業部) (1266 件/2199 人)

活 動 内 容	件数	延べ 人数	活 動 内 容	件数	延べ 人数
理髪	92	175	活動・作業補助	91	101
歩行介助	2	2	手工芸(作品作り)	1	6
外出介助	0	0	行事運営協力	153	665
生活介護	0	0	音楽・演奏関係	59	185
伴走	40	47	傾聴・朗読等	40	90
清掃・施設・備品整備	618	625	茶道・華道	8	20
裁縫・ウエス切	2	20	会議・打ち合わせ	33	134
洗濯・たたみ	0	0	その他(犬の散歩など)	127	129

(2) ボランティア登録状況 (障害支援事業部) (17 団体 127 名・個人 60 名)

団 体 名	会員数	所在地域	団 体 名	会員数	所在地域
松籟会	9	佐倉市 千葉市 八千代市	ラポール	4	佐倉市
グループひつじ	7	佐倉市	フラダンスサークル	7	佐倉市 四街道市
佐倉東高等学校	3	佐倉市 印西市 八街市	四街道高等学校	9	四街道市 千葉市 佐倉市 八街市
佐倉南高校	3	佐倉市 印西市	高校生 (若松・成田西陵 ・東邦大学付属)	3	佐倉市
下総高校	2	佐倉市	四街道北高校	6	千葉市 富里市 八街市 四街道市 佐倉市
千葉敬愛短期大学	2	佐倉市 成田市	個人	69	佐倉市 八街市 千葉市 東金市 船橋市 八千代市
※個人の活動内容：ともいき事業関係、後援会運営委員、イベント手伝い、ふれあいサロン、犬の散歩、おはなし会、マラソン、オレンジカフェ、朗読、作業補助、ウエス切り、生け花、ヨガ、リトミック、介護美容、ベビーマッサージ、傾聴、芝かり、車いす清掃、など					

(3) ボランティア育成事業 (全事業所)

月 日	内容
3 月 8 日(日)	ボランティア交流会(特別養護老人ホーム はちす苑 千田ホール)

9 福祉教育

(1) 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
6月19日	根郷中学校	1年生	福祉講和
9月11日	根郷中学校	2年生	アイマスク体験・ガイドヘルプ講座
9月18日	根郷中学校	3年生	点字学習
10月23日	山王小学校	2年生①	(生活)町探検・町探索
10月23日	山王小学校	1年生	校内花壇植栽(愛光園芸班)
10月23日	山王小学校	5年生	車いす体験(愛光利用者交流)
11月12日	山王小学校	2年生②	物井駅花壇植え替え (愛光園芸班・千葉敬愛短期大学共同)
11月25日	山王小学校	6年生	ボッチャ大会(愛光利用者交流)
11月26日	山王小学校	3・4年生①	視覚障害者体験とガイドヘルプ体験
12月2日	山王小学校	3・4年生②	点字学習・愛光利用者交流体験
2月4日	みそら小学校	3年生	車いす体験(愛光利用者交流)

10 地域食堂「ともいき」

(1) 地域食堂「ともいき」開催状況

2025年度「地域食堂ともいき」活動報告

【衛生・安全管理】食中毒事故ゼロを達成。衛生管理の徹底として、肉の処理時に調理器具を使い分ける等の対策を導入し、調理担当者の意識向上を図った。

【運営体制】年度当初のメンバー入れ替えにより、新体制構築に時間を要したため、一時的に新規受け入れを制限した。そのような状況下であったが、月平均70名の参加者で安定した運営を継続。

【利用実績】年間利用者は昨年度の675名から874名へと増加し、29%増となった。

【環境整備】物品管理体制を見直した。調理器具や備品を地域福祉センターへ集約し、集会所との場所に応じた使い分けを明確化した。備品の配置をわかりやすく整えることで、運営の効率化と利便性向上を実現した。

開催日	メニュー	地域住民	学生	合計
4月16日	フライ定食	60	0	60
5月21日	キーマカレーセット	76	3	79
6月18日	和風パスタセット	62	2	64
7月16日	フライセット	66	3	69
7月26日	さくら山王夏祭り 焼きそば	(364)	0	(364)
8月20日	そうめんセット	68	5	73
9月17日	ともいき秋まつりセット (ロールパン・たこ焼きなど)	70	7	77
10月15日	カツカレーセット	77	0	77
11月19日	秋の和食膳(筑前煮など)	62	0	62
12月17日	クリスマスセット(唐揚げ・ピラフなど)	79	0	79
1月21日	カレーうどんセット	80	0	80
2月18日	ぎょうざ定食	66	7	73
3月18日	ハンバーグ定食	77	4	81
合計		843 (1207)	31	874 (1238)

○開催場所：山王集会所

○開催日：第三水曜日 17:00～ ○飲食代：100円

II. 健康管理部

健康管理部

概況

当年度のスローガンは、「すべての利用者、職員に健康と福祉を」であった。

※新型コロナウイルス感染者

4月 リホープ	利用者 8名、職員 10名	6月 はちす苑	利用者 11名、職員 5名
10月 めいわ	利用者 26名、職員 4名	1月 ルミエール	利用者 23名、職員 8名
2月 はちす苑	利用者 16名、職員 1名		

※インフルエンザ感染者

11月 ルミエール 利用者 8名、職員 4名

※感染性胃腸炎感染者

1月 リホープ 利用者 11名、職員 3名

○利用者の健康管理

・介護保険法の改正も踏まえて、はちす苑が協力医療機関である佐倉中央病院と定期的に入所者の現病歴等の情報共有と相談、診療、入院の体制についての会議を実施した。

・7/3 摂食嚥下研修

「～いまいちど確認したい～ 摂食嚥下ケアの基礎知識」との内容で摂食嚥下コンサルタントナース 摂食・嚥下障害看護認定看護師 飯原由貴子氏を招き研修会が開催された。特に姿勢が大事であるということで、ポジショニングに気を付けていかなければならない等再確認する内容が多くあり、充実した時間となった。

・1/21 口腔ケア研修

高輪会の歯科衛生士山岸ちか氏が講師となり「口腔ケアの重要性」「ケアの手順と方法」「義歯の清掃方法と管理について」「開口困難や拒否のある方のケア方法」との内容で行われた。

・2/18 褥瘡ケア研修

東邦大学医療センター佐倉病院の皮膚・排泄ケア特定認定看護師 清藤友里絵氏を迎え研修が行われた。内容は1) 褥瘡発生のメカニズム 2) 褥瘡予防とポジショニング 3) スキンケアについてであった。

・入院数の減少（高齢者福祉事業部・健康管理室）

当年度の入院件数は351件。昨年度とほぼ同数である。入院の原因となる疾病は様々であった。

・8/6 看取りケア研修「介護の場で看取る」

看取りケア研修を看護主任が行った。「死とどう向きあうか」「看取り時のケア」「他職種や家族と連携する」といった看取りの基本的な内容を伝えた。人の最期は1度きりの人生の大きなイベントである。そのイベントに関わる事は、私達職員にとり非常に貴重な体験である。経験の少ない職員は「怖い」と思う気持ちが先立つかもしれないが、利用者から沢山学ばせていただき、真摯に一つひとつの命と向き合っていたきたい。

○職員の健康管理

・メンタル不調職員の相談を数件受けた。

○感染対策の強化

・新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

○給食の安定的提供について

給食委託業者より今年度の給食材料費が毎月予算額をオーバーしているという話があった。物価高騰と献立が見合っていない現状であるので、心ならずも一品を漬物等に置き換えるなどの対応を行った。

○愛光健康堂の顧客拡大

・愛光健康堂の外部顧客は、前年度は130件であったが、当年度は、147件と増加した。地域との繋がりも踏まえて、顧客増加を目指したい。

○機能訓練

・機能訓練士は、ご利用者の身体機能維持を図るための居室環境設定や福祉用具の選定、職員への助言を行った。また、ご利用者のADLの低下や退院後の評価を行い、定期的な機能訓練を行うことでQOLの向上を目指した。

○災害時の事業継続

・災害時の救護所設置、実施を具体的に行うためのフローチャートを作成中である。 健康管理部長 安部一義

1 障害者支援事業部（健康管理センター）

1-1 保健関係行事の実施状況

月	保 健 関 係 行 事
4月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人新任研修
5月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（職員・利用者）、医務内会議、健康管理部会議
6月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
7月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、内科健診（利用者）、医務内会議、薬についての研修
8月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、コロナワクチン接種、医務内会議
9月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、コロナワクチン接種、医務内会議
10月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（職員・利用者）
11月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、インフルエンザワクチン接種、医務内会議、法人健康診断（利用者）
12月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、コロナワクチン接種
1月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議、コロナワクチン接種
2月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議、医務全体会議
3月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議

1-2 施設内診療

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】 診療日数 92	延人数	1590	529	544	517
【歯科】 診療日数 54	延人数	373	121	149	103
【医務室】 処置日数 365	延人数	8445	2309	1152	4984
【精神科】 診療日数 12	延人数	757	320	271	166
【泌尿器科】 診療日数 13	延人数	389	48	271	70
【他科】 診療日数 0	延人数	0	0	0	0

1-3 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
内科	延人数	174	52	42	80
歯科	延人数	16	0	0	16
眼科	延人数	92	10	51	31
外科	延人数	14	2	0	12
精神科	延人数	204	139	40	25
その他	延人数	370	55	157	158

1-4 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		26	8	7	11
総日数		341	106	122	113
実人数		18	4	5	9
内訳	男	8	3	1	4
	女	10	1	4	5
医療機関別 延人数	成田富里徳洲会病院	7	3	2	2
	聖隷佐倉市民病院	2			2
	成田赤十字病院	2		1	1
	佐倉中央病院	12	3	4	5
	日本医科大学千葉北総病院	2	1		1
	四街道徳洲会病院	1	1		

1-5 疾患別入院理由

(延人数 重複発症含む)	水腎症・尿路感染症	1	てんかん	1
	気管支肺炎	2	心不全	1
	出血性膀胱炎による血圧低下	1	大腿部骨折	1
	白内障手術	1	便秘・脱水	1
	細菌性胃腸炎	2	コロナ肺炎	1
	肺炎	2	コロナによる血糖調整	1
	両下肺肺炎と右肺化膿症	1	呼吸不全	1
	左肺尖部主要提出手術	1	硬膜下血腫	1
	腸閉塞	3	胆管炎	1
	誤嚥性肺炎	1	心房細動	1
	尿路感染症	2	胆嚢炎	1
	若年性アルツハイマー(初発作)	1	発熱・蕁麻疹	1
	閉塞性大腸炎疑	1		
	疾患別入院理由			

1-6 救急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	14	3	6	5
(内訳)	男:5 女:9	男:1 女:2	男:1 女:5	男:3 女:2

2 高齢者福祉事業部（健康管理室）

2-1 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定		5	2	0	0	4
5月	血圧測定・体重測定・健康診断（血検・検尿・胸部レントゲン・骨密度）	健康診断（胸部レントゲン・血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察）腰椎問診・診察	4	2	0	0	3
6月	血圧測定・体重測定・内科検診 コロナウイルス予防接種6回目		4	2	0	0	4
7月	血圧測定・体重測定		5	3	0	0	4
8月	血圧測定・体重測定		4	1	0	0	4
9月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
10月	血圧測定・体重測定・健康診断（血検・検尿） インフルエンザ 予防接種	夜勤従事者健康診断（血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察）腰椎問診・診察 インフルエンザ 予防接種	5	2	0	0	4
11月	血圧測定・体重測定 コロナウイルス予防接種 内科検診	コロナウイルス予防接種	4	2	0	0	4
12月	血圧測定・体重測定 内科検診		4	2	0	0	4
1月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
2月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
3月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4

2-2 施設（内）診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	737	61	44	61	78	55	59	63	57	64	62	68	65
	実人数	443	35	31	28	45	34	34	32	36	38	42	47	41
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	延人数	855	71	64	72	78	81	80	76	74	65	71	63	60
	実人数	393	31	31	32	33	33	33	33	34	33	34	33	33
泌尿器科	延人数	226	19	20	20	32	10	20	20	18	19	17	17	14
	実人数	115	10	10	10	11	10	10	10	9	10	9	9	7

2-3 施設(外)医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	76	2	6	3	7	3	6	5	4	5	8	14	13
	実人数	67	2	6	3	4	3	6	4	3	5	8	11	12
外科	延人数	4	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	実人数	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
整形外科	延人数	15	4	2	1	2	2	0	1	0	2	0	0	1
	実人数	15	4	2	1	2	2	0	1	0	2	0	0	1
泌尿器科	延人数	15	0	1	0	4	0	1	1	1	3	0	2	2
	実人数	11	0	1	0	2	0	1	1	1	2	0	1	2
眼科	延人数	5	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	実人数	5	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
脳外科	延人数	15	0	1	1	1	2	0	2	2	3	1	2	0
	実人数	15	0	1	1	1	2	0	2	2	3	1	2	0
精神科	延人数	24	2	4	0	3	1	2	1	2	1	6	0	2
	実人数	23	2	3	0	3	1	2	1	2	1	6	0	2
循環器科	延人数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	実人数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
救急外来	延人数	23	0	1	2	3	0	4	3	1	1	2	2	4
	実人数	22	0	1	2	3	0	4	2	1	1	2	2	4
内分泌科	延人数	11	0	0	1	2	2	1	0	1	1	0	1	2
	実人数	9	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	1	1
神経内科	延人数	22	2	1	3	2	0	2	1	2	3	3	1	2
	実人数	20	2	1	3	1	0	2	1	2	2	3	1	2
耳鼻科	延人数	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	実人数	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	延人数	21	3	2	5	5	0	1	1	0	0	1	2	1
	実人数	19	3	2	5	3	0	1	1	0	0	1	2	1
婦人科	延人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	実人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
乳腺外来	延人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
	実人数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0

2-4 入院の状況(特養在所契約期間中)

件数	入院 総日数	平均 入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	50～	70～	80～	90～
20	372	18.6	16	4	9	0	2	7	7

2-5 入院理由

誤嚥性肺炎	2	尿管結石	2
脳幹梗塞	1	腎盂腎炎	1
吐血	1	脳梗塞	1
食欲不振	1	脱水	3
尿路感染症	4	肺炎	2
コロナウイルス感染症	1	嘔吐症・急性胃粘膜病変疑い	1
大動脈解離	1	アテローム血栓性脳梗塞	1
悪性症候群疑い	1	統合失調症	1
横紋筋融解症	1	右尿管ステント交換	1
うっ血性心不全	1	全身浮腫	1
感染性腸炎・非閉塞性腸管壊死・閉塞性大腸炎	1		

2-6 機能回復訓練（指圧）の実施状況（外部を含む6人の機能訓練指導員の合計）

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	708	803	51	111	111	16	7	18	14

2-7 あんま・指圧

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	101	627	220	69	75	47	104	1435	518

3 障害者支援事業部（栄養管理室）

3-1 標準献立

	朝食 8:00～	昼食 12:00～	夕食 18:00～
献立名	ごはん 納豆 かぶの煮物 青梗菜のおひたし みそ汁（白菜、厚揚げ）	ごはん あじの菜種焼き ごぼうと牛肉の煮物 ほうれん草の和え物 けんちん汁	ごはん 八宝菜 もやしのわさび和え ザーサイ漬 はんぺんのスープ

3-2 食種構成表

	常食	特別食		
		刻み	粥	ミキサー・ペースト食
総数	148	38	2	4
ルミエール	40	15	2	1
めいわ	40	13	0	3
通所	32	2	0	0
リホープ	36	7	6	0
	療養食			

	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総 数	0	17	12	0
ルミエール	0	6	2	0
めいわ	0	7	4	0
通所	0	0	0	0
リホープ	0	4	6	0

3-3 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	74 g	脂質	50 g
糖質	285g	カルシウム	550mg	鉄分	10.0mg
ビタミンA	770 μ g	ビタミンB 1	1.15mg	ビタミンB 2	1.27mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	9.0g		

3-4 栄養改善委員会開催状況（隔月開催）

委員の構成・・・施設職員 4 名、利用者代表 1 名、施設栄養士 3 名、健康管理部長 1 名、委託給食会社社員 1 名、委託給食会社（責任者）1 名

月 日	内 容（例）
12 月 21 日	・栄養士から連絡（もち禁止の対応、検食簿の書き方） ・給食委託業者から ・検食簿からの意見 ・施設からの意見

3-5 行事食献立

月・日	区分	行 事 名	献 立
4 月 8 日	昼	花まつり	桜ちらし寿司、ふきの信田煮、そうめん汁、桜もち風和菓子
5 月 5 日	昼	端午の節句	五目ちらし、ごぼうと牛肉の炒め煮、すまし汁（はんぺん）、柏もち
7 月 7 日	昼	七夕	枝豆ごはん、鰯の塩こうじ焼き、里芋のそぼろ煮、おくらのすまし汁、梅ゼリー
7 月 23 日	昼	土用丑の日	穴子ちらし寿司、切り干し大根のオイスターソース炒め、バンサンスー、おくらのすまし汁
8 月 4 日	昼	土用丑の日（二の丑）	ちらし寿司、厚揚げと茄子の煮物、すまし汁（はんぺん、水菜）、フルーツ（梨）
9 月 19 日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、炊き合わせ、すまし汁（大根、小松菜）、水ようかん
9 月 23 日	昼	秋分の日	ごはん、かき揚げ、高野豆腐の煮物、みぞれ汁、おはぎ
10 月 8 日	昼	十三夜	栗ごはん、さわらの塩こうじ焼き、切り干し大根のサラダ、けんちん汁、みたらし団子
12 月 22 日	昼	冬至	ちらし寿司、南瓜の煮物、すまし汁（はんぺん、みつば）、抹茶ようかん
12 月 24 日	昼	クリスマス	ごはん、フライドチキン、スパゲティーサラダ、ミネストローネ、チョコレートケーキ
12 月 31 日	昼	大みそか	年越しそば、えびとそら豆のかき揚げ、いなり寿司、ほうれん草と油揚げの和え物、水ようかん

1月1日	昼	お正月	赤飯、お雑煮、紅白なます、紅白かまぼこ、ローストポーク、黒豆、ゆずゼリー
1月7日	昼	七草	七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜の甘酢和え、のっぺい汁、抹茶ようかん
1月11日	昼	鏡開き	ごはん、太刀魚の塩焼き、玉ねぎのドレッシング和え、雷汁、おしるこ
2月3日	昼	節分	ちらし寿司、切り干し大根の煮物、ささみともやしのごま和え、すまし汁（はんぺん、みつば）、水ようかん
3月3日	昼	ひな祭り	ちらし寿司、蒸し鶏とキャベツの和え物、かぶのそぼろ煮、紅白そうめん汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、鶏肉のハーブ焼き、ねぎとろ、六角里芋と木の葉南瓜の煮物、すまし汁（菜の花）
3月21日	昼	春分の日	ごはん、ローストポーク、えびと玉ねぎの酢の物、沢煮椀、ぼたもち

4 高齢者福祉事業部（栄養管理室）

4-1 標準献立（平均所要量エネルギー1502kcal//蛋白 69.0g//脂質 35.4g/炭水化物 247g）

	朝食（8:00～）	昼食（12:00～）	夕食（18:00～）
献立名	ごはん もめん豆腐の煮物 ほうれんそう胡麻和え 金時豆 たまねぎのみそ汁 牛乳	ごはん さわらのゆうあん焼き もやしとねぎの和え物 お漬物 里芋とわかめの味噌汁 ぶどうゼリー	ごはん 鶏肉のクリーム煮 オクラの和え物 お漬物 インゲンのみそ汁

4-2 食種構成表

総数	主 食				副 食					胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	極きざみ	ソフト	
55 (入院0)	17	15	15	8	12	14	19	1	9	0

4-3 行事食献立

月	行事名	献 立 名
4月	新年度	たけのこごはん
5月	八十八夜 端午の節句 リクエスト献立	デザートにお茶まんじゅうを提供 えびのちらし寿司、肉団子煮、沢煮椀、季節の和菓子 スパゲティナポリタン
6月	芒種 入梅 千葉県民の日 麦とろの日 夏至	五穀ごはん、かれのい磯部揚げ、大根炒め煮、漬物、みそ汁、オレンジ ごはん、豚肉と茄子のおかか炒め、豆腐オクラがけ、ぬか漬け、みそ汁、 パインゼリー ごはん、白身魚のピーナツだれ、白菜の柑橘あえ、みそ汁、フルーツ 麦ごはん、豚肉とアスパラの炒め、とろろ芋、けんちん汁、豆乳寒天小豆がけ ごはん、チキンジェノベーゼソース、冬瓜煮、漬物、さつま芋のみそ汁、 トマトゼリー

7月	七夕 はちすフェスティバル 土用うしの日	五目そうめん、えびと野菜の天ぷら、大根おろし、なめらかあんみつ にぎり寿司（まぐろ、サーモン、ねぎとろ、納豆、ほたて貝柱等） 茶碗蒸し、マンゴー、けんちん汁 やわらかうな丼、ゆで野菜とネギ和え、奈良漬け、すまし汁、赤ぶどうゼリー
8月	山の日 お楽しみ	オムライス、えびしんじょ煮、すまし汁、パインの缶詰 いなり寿司、はんぺん明太焼き、甘酢生姜、豚汁、ラムネゼリー
9月	重陽の節句 十五夜 敬老会 敬老の日 秋分の日	小豆ご飯、鶏肉のしおこうじ焼き、ほうれん草の菊花和え、浅漬け、えびしんじょのすまし汁、白桃缶 ごはん、あじフライ、チンゲン菜和え物、漬物、スープ、みたらしおもちムース 花形赤飯、ぬか漬け、マグロとサーモン盛合わせ、炊き合わせ、茶わん蒸し、三つ葉のすまし汁、梨、巨峰→松花堂弁当での提供 ごはん、天ぷら盛り合わせ（鶏肉、ピーマン、南瓜）、ほうれん草お浸し、佃煮、うしお汁、和菓子 ちらし寿司、信田の煮物、甘酢生姜、しめじのすまし汁、ココナツミルクゼリー
10月	はちす苑開設記念日 十三夜 ハロウィン	赤飯、豚肉とごぼうの煮物、小松菜と蒸し鶏の辛子和え、すまし汁、マロンババロア きのこごはん、ぎせい豆腐、ほうれん草柚香和え、漬物、かきたま汁、みたらしおもちムース 南瓜プリン
11月	勤労感謝の日 寿司パーティー	雑穀ごはん、かれいのから揚げ、かぶのかにかまあんかけ、漬物、すまし汁、さつま芋プリン 寿司職人が来苑し、マグロ、サーモン、ほたて等握りたてを味わった。
12月	大雪 忘年会 冬至 クリスマス 大みそか	ごはん、ぶりの照り焼き、わかめの煮びたし、漬物、蓮根すりおろし汁、みかん にぎり寿司とおでんを味わった。 ごはん、すり身と豆腐のかば焼き、南瓜の煮物、ぬか漬け、うしお汁、ゆず寒天 ごはん、ミートローフ、サラダ、蓮根すりおろし汁、季節のねりきり 年越しそば、海老と茄子のてんぷら、いなり寿司、甘酒
1月	お正月 七草 鏡開き	元旦の昼：うしお汁のお雑煮、赤飯、お刺身盛り合わせ、六角里芋炊き合わせ、かまぼこ、にしんの昆布巻き、栗きんとん、和菓子 →松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、かにちらし寿司、茶わん蒸し、豆腐のそばろ包み焼き、プリン 七草粥、鮭のしお焼き、白菜と厚揚げの煮浸し、漬物、みそ汁、白水ようかん ごはん、鶏肉のレモン焼き、春菊のお浸し、漬物、豆腐スープ、おしるこ
2月	節分 バレンタインデー お楽しみ	卵の太巻きすし、いなりすし、えびしんじょ煮、すまし汁、プルーン紅茶煮 ごはん、鶏肉の照り焼オレンジ風味、サラダ、漬物、ワタスー、チョコの和菓子 ミートソースドリア、キャベツのサラダ、にら卵スープ、みかん缶
3月	ひなまつり ホワイトデー 愛光創立記念日 春分の日	菜の花のちらし寿司、じゃが芋の明太子炒め、どさんこ汁、きなこヨーグルト ごはん、マッシュポテトの重ね焼き、サラダ、漬物、みそ汁、ココナツミルクゼリー 赤飯、マグロの山かけ、炊き合わせ、かきたま汁、おしるこ ごはん、コロケ、白和え、浅漬け、はんぺんすまし汁、マンゴー

Ⅲ. 障害者支援事業部

概況

2025 年は「支え合い 共に輝く」をスローガンに掲げ、利用者・職員・家族が相互に支え合う運営を推進した。制度改定の年であったが、法令遵守を徹底し安定した事業運営を実現した。サービス面では自立支援課題を中心とした個別活動の充実を図る一方、参加が難しい利用者には散歩等で対応した。機械浴槽（スカイコート）の導入により、重度利用者にも入浴機会の充実を図ることができた。感染症ではクラスターが発生したが重症化はなく、組織的対応により乗り越えた。

○数値目標

- ・施設入所（稼働率）：目標 98% ⇒ 実績 99.3%
- ・生活介護（稼働率）：目標 97% ⇒ 実績 98.3%
- ・短期入所（稼働率）：目標 70% ⇒ 実績 84.4%

○次世代リーダーの人材育成

- ・次世代リーダーの育成を目的にフロアリーダー体制の強化と会議内研修の継続を図った。実践を通じてリーダーとしての成長が促進された。事例検討を年間通して実施し、支援の統一と専門性の向上につながった。

○事業部内強化

- ・入所希望者の受入れ効率化に向け施設間で調整会議を実施し、利用者状況の共有と移動の検討を進めた。あわせて防犯カメラを設置・運用し、防犯に加え突発行動や転倒時の検証にも活用することで、安全管理体制の向上につなげた。

○新規利用者の確保及び収入の確保

- ・稼働率は目標を達成した。生活介護の空床は短期入所で補填し、安定的な収入確保と新規利用者の定着につなげた。一方で短期入所の利用増により、緊急時ニーズへの対応が課題として残った。

○質の高いサービスの提供

- ・日中活動の充実に向け、従来のグループ活動から個別活動へ移行し、自立支援を目的とした取り組みを定着させた。作業が難しい利用者には散歩等の機会を設け、特性に応じた支援を実施した。また、虐待防止・身体拘束適正化については内部研修を継続し、適切な支援の徹底につなげた。あわせて地域連携推進会議を施設単独で開催し、地域との連携強化を図った。

○生命・身体機能につながる重大な事故の防止

- ・トータルケア委員会主導によるヒヤリハット検証やフロアリーダーによる定期的なリスク点検を継続し、事故防止体制の強化を図った。利用者の突発的行動による転倒・頭部裂傷事故に対しては、危険箇所の点検・改修を随時実施した。また、見守りカメラを活用した検証と会議での共有を徹底し、発生要因の分析と再発防止につなげた結果、事故件数は前年より減少した。

○災害時の事業継続

- ・事業継続計画書に基づき、訓練および研修を計画的に実施し、災害時対応力の向上を図った。若手職員の増加により訓練時に課題も見られたが、継続的な訓練・研修を通じて対応力の底上げを進めていく。あわせて備蓄品の確保や福祉避難所としての機能強化にも取り組んだ。

○感染対策の強化

- ・感染対策指針に基づき委員会の開催や研修・訓練を実施し、感染防止体制の強化を図った。1 月後半から 2 月にかけて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したが、重症化することなく収束に至った。感染症は一度拡大すると抑制が困難であることを踏まえ、会議等を通じた継続的な研修と意識向上に取り組んだ。
- ・新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

○業務効率化

- ・当年度は 5S 活動により、事務作業に関する大幅な業務効率化を実施することができた。今後は更なる業務効率化を目指し、5S 活動を継続していく。

施設長 大里英巳

1 施設利用状況（2025.4.1～2026.3.31）

1-1 利用状況

【定員 60 名】

	施設利用者			1 日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	21900	21900	21749	59.6	99.3	151	0	61	90	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	0							
退所者数と退所事由	0							

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員 3 名】

	利 用 者			
	延定員数	延総数	1 日平均	稼働率
年間	1095	924	2.5	84.4

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利 用 者	
	総 数	1 日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
佐倉市	1	3	中央区		2	足立区	1	
船橋市	1		美浜区	1		板橋区	1	
印西市	2		若葉区		1	江戸川区	3	
大網白里市		1	稲毛区	1		大田区	2	
君津市	3		花見川区		1	葛飾区	2	
松戸市	1	1	計	2	4	港区	1	
習志野市	1		合計	6		江東区	2	
成田市		2				渋谷区		1
館山市	1		【埼玉県】			品川区	1	
市川市	1					世田谷区	2	1
八千代市		1	春日部市		1	千代田区	1	
銚子市	1		草加市	1		練馬区	1	
南房総市	1		計	1	1	目黒区	1	
九十九里町	1		合計	2		昭島市	1	
鎌ヶ谷市	1	1	【神奈川県】			町田市	1	
四街道市		1				福生市	1	
計	15	10	横浜市	1	1	計	21	2
合計	25		藤沢市	1		合計		23
			計	2	1			
			合計	3				
			【新潟県】					

		魚沼市		1		
		計		1		
		合計	1			

※佐倉市住所所持者 30名

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（年齢は2026. 3. 31現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	60	0	7	5	11	22	15	50.3	75	24
%		0	11.7	8.3	18.3	36.7	25.0	100		
男	41	0	5	3	8	14	11	50.5	75	24
女	19	0	2	2	3	8	4	48.8	73	29

2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	60	0	0	0	0	3	57	39
%	100	0	0	0	0	5.0	95.0	100
男	41	0	0	0	0	0	41	28
女	19	0	0	0	0	3	16	11

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	60	43	2	0	0	1	0	14
%	100	71.7	3.3	0	0	1.7	0	23.3
男	41	33	1	0	0	1	0	6
女	19	10	1	0	0	0	0	8

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	60	22	25	0	0	13
%	100	36.6	41.7	0	0	21.7
男	41	14	23	0	0	4
女	19	8	2	0	0	9

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	60	43	7	50	10
%	100	71.7	11.7	83.4	16.6
男	41	32	6	38	3
女	19	11	1	12	7

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	60	22	33	4	0	59	1
%	100	36.5	55.4	6.5	0	98.4	1.6
男	41	14	26	1	0	41	0
女	19	8	7	3	0	18	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	60	48	25	3	33	1	59	1	46
%	100	80	41.6	5.0	55.0	1.6	98.4	1.6	76.6
男	41	37	16	2	24	1	41	0	38
女	19	11	9	1	9	0	18	1	8

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	21	11	32	16	60	30	60
%	35.0	18.3	53.3	26.7	100	50.0	100
常時多面で介助	19	22	24	21	0	10	0
%	31.7	36.7	40.0	35.0	0	16.7	0
時々部分的に介助	19	17	4	16	0	10	0
%	31.7	28.3	6.7	26.7	0	16.7	0
点検・配慮程度	1	10	0	7	0	4	0
%	1.6	16.7	0	11.6	0	6.6	0
自立	0	0	0	0	0	6	0
%	0	0	0	0	0	6.6	0

3-5 コミュニケーションの状況

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字
不可 %	33 55.0	4 6.6	59 98.4	60 100
一部で可能 %	20 33.3	46 76.7	1 1.6	0 0
だいたい可能 %	7 11.7	10 16.7	0 0	0 0
支障なし %	0 0	0 0	0 0	0 0

4 援助サービス

4-1 援助サービスの実施状況

項 目	援 助 サ ー ビ ス の 実 施 状 況
【住居】	援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心としたサービスを行っている。 居住スペースにおいては、情緒の安定・プライバシーに配慮している。居室改修を行い、畳の居室からフローリングに変更することで、居室の衛生保持に大きな効果が見られている。感染症対策として毎年実施しているが、インフルエンザおよび新型コロナウイルスに対して大きな変更はなく、陽性者発生時の対応も同様に行っている。感染対策として、プラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として電解次亜水（100ppm）を使用し、居室や食堂、トイレのほか、入浴後の浴室全体を消毒している。 環境整備として、施設内フロアリーダーが毎月危険箇所点検を行い、報告後速やかに危険箇所を解消していく活動を行うことで、ハード面が原因となる事故防止につながっている。 不定期ではあるが環境美化デイ、営繕活動デイを設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善のための修繕等を行い、環境美化の向上に努めた。
【食事】	ブロック単位での食事の提供を行っている。食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和や、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、食事支援を行った。食事提供中の支援体制についても、利用者が安心して摂取できる環境とするため、車いすでの姿勢から検討し、食事介助を行いながら周囲の利用者の食事摂取状況が観察できるよう配慮している。 また、体調不良等の身体状況の変化や、栄養管理、摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。利用者の高齢化により誤嚥性肺炎を起こしやすくなっていることから、全利用者に対し栄養ケア計画を実施し、定期的にモニタリングを行うことで、栄養士、看護師と連携した個別の栄養管理を実施している。
【排泄】	利用者の高齢化、障害の重度化に伴い、排泄支援でも全介助の方が多くなってきており、支援においては排泄傾向の把握と本人に応じた定時排泄に努めている。特に排便に関しては便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善を目的とした補助食品の提供を行っている。健康管理面では、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）の把握が必要な方数名について、身体状況に変化がないか計量を行い、泌尿器科往診時に報告し、必要に応じて内服治療を実施している。利用者の排泄介助が重度化することで、オムツの変更等に対応することもあり、オムツメーカーとも連絡を取り合い、定期的な研修を行いながら、利用者にとって快適な排泄を目指している。
【入浴】	サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施している。その他、活動状況や皮膚疾患等、個々の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護化に伴い、今年度は助成金を受けて寝台型

	特殊浴槽を導入したことで、ストレッチャーを使用しての洗体や全身で浴槽に浸かることが可能となり、利用者の入浴の質の向上および職員の介護負担軽減に大きく貢献した。既存の座位型入浴装置と普通浴槽も活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し、入浴サービスを提供した。入浴の質は向上したが、利用者の支援度が上がったことにより、入浴の実施日が前年度より多くなっている状況については課題が残っている。
【ホーム活動】	ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で行い、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当職員が実施している。 午前中に行っているホームごとの自立課題に取り組み、利用者の特性に合わせた活動に取り組む利用者が増えてきた。職員が強度行動障害支援者研修を受講し、利用者支援の方法をホーム内に広げたことで、利用者に適した課題を提供できるようになり、利用者が集中できる時間が増え、1日の流れが確立してきた。その結果、利用者の情緒安定につながり、ホーム全体が落ち着いてきた。 各ホーム活動においては、誕生会等のミニイベントを実施するほか、朝の会、造形、外出等を行った。 《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等を行い、利用者への情報提供を行う。また、当番職員と利用者により、誕生者や献立、一日の流れ等について毎日放送を行った。 《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し、音楽鑑賞等を通じて音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。 《食事会》 定期的にホームで外部からの食事を取り寄せて楽しむ機会は定着してきた。利用者にとって一番の楽しみである食事の機会は欠かせないものである。メイン外出に代表されるように外での食事ができることや、家族との外出も増えてきたことが、利用者家族にとって充実したものとなっている。
【余暇活動】	《クラブ活動／行事》 感染症への注意を継続しながら、なのはな広場で集まる行事を多く開催できるようになった。ホーム別で行っていた行事から、利用者全員で楽しめる行事へと戻していった。全員参加の行事が数年ぶりに行われることもあり、以前の内容にこだわらず、利用者が楽しく参加できることを重視した内容が多くなった。 クラブ活動については、代表的な活動として暑中見舞いや年賀状を作成し、離れて暮らすご家族等への送付を行った。家族会の日には多くのご家族が面会され、なのはな広場で職員からの近況報告を聞きながら、利用者との会話を楽しまれていた。 年賀状を以前働いていた愛光職員に送ったところ、20数年ぶりに利用者に会いに来るなど、思い出話を花を咲かせることもあった。愛光秋まつりではご家族と会場を回り、なのはな広場で一緒に食事をするなど、利用者・家族ともに笑顔が見られた。 《歩行・散歩》 歩行能力と体力維持を図り、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行や近隣公園への散歩を行った。高齢化による利用者の体力・筋力低下、機能低下が見られる利用者に対しては、地域の治療院による施術を受けることで身体機能の維持に努めた。 《外出》 昨年度からグループ外出が再開したが、今年度からは利用者が主役という意識を持ってもらうため、メイン外出という新しい形に変更した。利用者数名で行くグループ外出と比べて、利用者1名で行くことが大きな変更であり、利用者家族も同行できることで、家族から感謝の声を多くいただいた。
【とつぜん音楽会】	これまで年4回の開催を予定していたが、入浴日や外出行事の回数が増えたことで年2回の開催となったものの、以前と同様になのはな広場で開催し、音楽好きの利用者には毎回楽しく参加していただいている。季節の音楽をテーマに設定して聴くことで、楽しい時間を過ごすことができた。 ルミエール利用者と関わるボランティアは多くはないが、定期的に傾聴やウクレレ演奏を行い、一緒に歌うなど、利用者にとって笑顔だけでなく癒しの時間となっている。利用者もボランティアを心待ちにしており、楽しい時間を過ごした。

5 運営管理

5-1 職員状況

	2025.4.1 現員数	2025.4.1～2026.3.31				2026.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	44(7)	3	7	6	2	42(7)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	3			1		3
生活支援員	37(4)	3	6	6	2	35(4)
クリーンスタッフ	2(2)		1			2(2)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)	1(1)				2(1)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
4/1～4/4	新任職員研修	2	9/10	経営層トレーニング	2
5/4	施設内新任異動職員研修	2	9/14	特殊浴槽研修	3
5/11	施設内新任異動職員研修	2	9/18	リヴドゥ排泄研修	5
5/18	施設内新任異動職員研修	2	9/29	資産運用セミナー	2
6/6	リヴドゥ排泄研修	2	10/15	ハラスメント研修	1
6/18	感染症研修	2	11/6	コンプライアンス研修	1
6/26	感染症研修(食中毒)	11	12/24	感染症研修	1
7/3	摂食嚥下研修	2	1/14	経営層トレーニング	2
7/22	BCP 研修	3	1/26	メンタルヘルス研修	4
7/28	生活介護研修	11	3/24	労務管理研修	5
8/6	看取り研修	1	2/18	褥瘡ケア研修	1
8/25	個人情報保護法研修	1	3/3	BCP 研修	1
8/28	身体拘束研修	10	3/26	労務管理研修	2
施設外					
6/17	強度行動障害支援者研修	1	10/16 ～ 10/17	関身協職員研修	2
6/19～20	関ブロ職員研修	2	10/18	サービス管理責任者研修	1
7/3～7/4	盲重研職員研修	2	11/19～		
7/16	強度行動障害支援者研修	1	11/21	盲重研全国大会	5
7/23	県身協上級職員研修	1	11/20	県身協職員研修	1
8/7	CAS サポーター派遣	1	11/26	佐倉施設協研修	1
8/26 ～ 8/28	日本ライトハウス 視覚障害研修	1	12/11 ～ 12/12	身障協スキルアップ研修	1
8/31	DWAT 研修	1	1/13	苦情解決研修	1
9/5	強度行動障害基礎研修	3	1/19	虐待防止研修	1
9/6～9/7	社会福祉士実習指導者研修	1	1/21	ふるさと学舎職員研修	2
9/26	サービス管理責任者研修	1	3/14	CAS 発表会	3
			3/17	食品衛生責任者研修	1

複数研修			
研修内容	月 日		参加人数
強度行動障害基礎研修	8/29	9/5 12/9 12/11	5
コ・ヒューマントレーニング	6/11 7/9 8/13 10/8	11/20 12/10 2/12 3/12	2
強度行動障害実践研修	10/21 10/22	2/25 2/26	2

5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/7～6/6	日本福祉教育専門学校	社会福祉士	1
8/1～8/31	目白大学	社会福祉士	1
8/1～8/31	淑徳大学	社会福祉士	1
9/1～9/30	淑徳大学	社会福祉士	2
10/17～11/6 11/13～12/3	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1

6 行事実施状況

月	行事内容
4 月	ルミエール歓迎会(25) メイン外出(15 23 26 29)
5 月	とつぜん音楽会(25) メイン外出(12 16 25)
6 月	ボランティアハーモニーコンサート(28) メイン外出(9. 14 22 29)
7 月	メイン外出(13 15 27)
8 月	メイン外出(3 19 24)
9 月	メイン外出(7 23 28)
10 月	愛光秋まつり(4) メイン外出(13 18 20 30)
11 月	秋のつどい(30) とつぜん音楽会(16) メイン外出(17 29)
12 月	忘年会(21) メイン外出(6 18 28)
1 月	ルミエール新年会(6) メイン外出(8 14 22 24 27)
2 月	メイン外出(20 22)
3 月	ルミエール送別会(26) メイン外出(16 17 21 28 29)

概況

「ライフ・ワーク・バランス～安心して楽しい生活と魅力ある活動を～」をスローガンとし2年目。高齢化が進む中、「健康な体と生き甲斐につながる支援」の二本柱で心身ともに健康でいられるよう支援していくことを目指したが、当年度は高齢利用者を主とした入院が続いた。入院事由としては、肺炎7名、コロナ感染1名、骨折2名、その他2名。一要因ではあるが基礎体力、免疫力、骨密度の低下等加齢に伴う機能低下が否めない。5月に入院長期化に伴う80代女性の退所があり、翌月に前年度末から体調を崩されていた70代女性の看取りを行なった。年度末の平均年齢は58.5歳。医療機関受診は年々増加し入院加療が必要になった際には必ず延命治療に係る親族の意向を確認される。万が一に備え、ご本人の尊厳、家族の意向に沿った最善の対応ができる体制を整えるべく「緊急時等の治療に関する案内と事前確認書」を全家族・後見人に送付し、ご意向を伺った。活動については職員数減に伴う縮小はあったが、リーダーを中心に活動の意義を模索しつつ継続。活動時間内に誕生日外出も企画し、楽しみや生き甲斐に繋がるよう支援した。

○本年度数値目標（稼働率目標⇒実績）

・施設入所；98.5% ⇒98.4% ・生活介護；102% ⇒102.5% ・短期入所；80% ⇒89.7%

○事業部内連携強化

入退所調整 WT により事業部内の情報共有と課題認識、家族・利用者のニーズや意向の確認、入退所の手続き等スムーズに進んだ。同時に現場職員の受け入れ態勢の構築にもつながっている。

○地域ニーズに即した利用促進

・主たる介護者の高齢化を背景とする2名のロングショートを受入れた。精神面での波や帰宅願望との葛藤など落ち着かない時期もあったが、医療機関との調整、活動や生活面でのサポートを継続し、時間とともに穏やかな表情がうかがえるようになった。

・地域生活支援事業（日中一時）利用が増え日々外部の方の利用があった（1日平均0.8人）。ご家庭の状況は様々であり、障害者ご自身と家族を含めた生活サポートの一端を担うことができた。そう遠くない将来に「親亡き後の拠り所」として当事業所・法人を選んでいただければ幸い。

○自ら考え行動できる職員の育成

・全職員対象に虐待防止研修を実施。「日常支援場面における不適切な支援」をテーマに動画視聴とディスカッションを行い、ともすれば優位な関係に陥りやすい福祉施設従事者の立場、虐待の構造などについて学んだ。その他、視覚障害者支援向上研修（2回）、事例紹介等実施。

・高齢期を迎え様々な変化への対応を検討するため、10月より高齢期支援会議をスタートした。当年度は「誤嚥・窒息時の対応研修」を企画、マニュアルの更新を行った。次年度も必要な知識収集のため研修を企画、「よりよく生きるためのノート（仮題）」を作成予定。

○安定した生活の中で利用者の喜び・楽しみを増やす（高齢化・重度化を見据えた生活と活動の充実）

・2～3月 個別支援計画作成担当者会議と並行し意思決定支援会議を実施。当年度より義務化された制度であるが、地域移行について説明し利用者・家族個々の意向を伺った。帰宅を希望する方もいたが、長年施設で生活された方が多く内容の理解・実感が伴わない方も多かった。

・月毎に生活、活動各主任・リーダーで課題を協議し様々な企画を実施。レクリエーションや外出企画等ささやかではあるが、利用者からは期待感と満足感のある様子がうかがえている。

○安心安全な環境の整備

屋内外に12台の見守りカメラを設置。当初は違和感もあったが、夜間電灯をつけて歩くいたずらからてんかん発作時の様子、また単独での転倒と思われた事故が他者との接触によるものだった・・・など、様々な場面や事故発生後の検証・対策検討に有効活用されている。

○業務効率化

当年度は5S活動により、事務作業に関する大幅な業務効率化を実施することができた。今後は更なる業務効率化を目指し、5S活動を継続していく。

○災害時の事業継続・感染対策強化

・業務継続計画に基づき事業部防災訓練およびBCP研修、感染症対策伝達研修（各2回）を実施
・新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関 佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ会議を行った。

（施設長 片野明美）

2025（令和 7）年度 事業報告書
根郷通所センター

概況

当年度のスローガンを「安心と信頼の支援で利用者の地域生活を支える」とし、支援の充実に取り組んだ。今年度は新たに 3 名の利用者を受け入れた。いずれも高校卒業直後の新規利用者であり、根郷通所センターの利用者の構成はより若い世代となっている。そのうち 1 名については「早く家を出たい」という本人の強い希望を受け、相談支援事業所と連携し、近隣のグループホームへの入所につながった。

「可能な限り在宅で我が子を支え続けたい」という思いは、多くのご家族の声である。利用者の年齢層が比較的若いことに伴い、ご家族も若い世代が多く、現時点では施設入所を選択するよりも、在宅での生活を継続していきたいという考えが中心となっている。そうしたご家族の思いを丁寧に受け止めながら、利用者一人ひとりの地域生活を支えるため、信頼関係の構築とより良い支援体制づくりに努めた一年であった。

○本年度目標

- ・稼働率：目標 115% 実績 110%

昨年度実績に対して 10%増を目標として設定したが、結果として目標に 5%届かなかった。一方で、実績は昨年度比で 7%の増加となり、目標水準に近い結果となった。

○安定運営

- ・新規利用者 3 名の受入れを実施した。稼働率は定員の 110%を超過しており、受入れ上限を超えている。なお、地域においては今後数年間にわたり利用希望者が見込まれているとの情報もあるため、今後、更なる受入れが求められることが予想される。
- ・今年度は盲重複障害者の新規利用者の受け入れはなかったが実習生の受け入れを実施した。特別支援学校同様に盲学校側からも 2 年後に当事業所の利用を希望している方が数名いるとの情報が得られているため、体制の見直し等、早急な対応が必要であることが考えられる。

○サービス向上

- ・満足度調査の結果について、昨年度は回答率 68%だったが、オンラインアンケート導入により 97%に向上した。全体的に 8～9 割が「満足・やや満足」と回答。旅行・外出支援は満足度約 97%と高い評価を得ている。運動機会拡充の要望に対し、作業と余暇のバランスを保ちながら活動充実を図る方針である。また工賃のイベント還元を希望する声が多いため次年度実施予定。
- ・法人名を打ち出した自主製品の販売促進に取り組み、酒々井パーキングエリアに店頭掲示物を設置した。法人名と詳細情報へアクセスできる QR コードを掲載し、作業風景の写真も用いて現場の雰囲気伝えていく。来訪者の理解促進と法人の認知向上および信頼獲得につながることを期待される。
- ・作業収入について、昨年度と同程度の水準を維持し、後半には新たな自主生産品の開発や新規販路の拡大が進んだ。また、余暇活動についても積極的な拡充に取り組み、内容の充実を図った。特にグループ別旅行や、コロナ禍以降自粛していた全員での外出活動は利用者から好評を得た。今後も作業活動および余暇活動のさらなる充実を図り、サービスの質の向上に努めていくこととする。

○職員育成

- ・昨年度まで継続して実施してきた内部研修を踏まえ、複数の事例において問題行動の改善が認められ、職員の対応技術の向上が見られた。一方で、改善が乏しいケースも見られ、一部では行動の悪化傾向も認められている。今後は、医療機関との連携を含めた支援の充実や家族対応の強化を図るとともに、継続的な職員育成が必要であると考えている。

○災害時の事業継続

- ・計画に基づく避難訓練を年 3 回実施。緊急時に備えた物品に関して全職員による確認を実施

○業務効率化

- ・当年度は 5S 活動により、事務作業に関する大幅な業務効率化を実施することが出来た。今後は更なる業務効率化を目指し、5S 活動を継続していく。

- 新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

（所長 菊地暁生）

1－1 利用状況

①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20,496	20,477	20,168	55.3	98.4	272	19	172	81	2	2

②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6456	8339	7070	26.3	110	3	0

1－2 入・退所状況

①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	2			2				
退所者数と退所事由	2					1	1	

②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3		3					
退所者数と退所事由								

1－3 短期入所（ショートステイ）利用状況

①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1460	1,309	3.5	89.7

1－4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	313	0.8

②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1 施設利用状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

1－5 出身地別利用状況

① めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区		3
市川市	1		若葉区	1	1	台東区		1
松戸市	1					江東区	1	
香取市	1					渋谷区		1
成田市	1	1	計	2	1	世田谷区	1	2
佐倉市	5	5	合計	3		足立区		1
匝瑳市	1					目黒区		1
柏市	3	1				八王子市	1	
君津市		1				小金井市	1	
我孫子市	1					青梅市	1	
船橋市	2	2				狛江市		1
大多喜町	1		計			西東京市		2
長生村		1	合計					
八街市	1							
習志野市		1						
四街道市	1	4						
流山市		1						
			計					
			合計					
計	20	18						
合計	38							
						計	5	12
						合計	17	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	8	5	13			
四街道市	7	6	13			
習志野市	2	0	2			
千葉市	1	1	2	男	1	1
成田市	0	1	1	18	0	1

2 利用者の状況（R7 年度中在所した全利用者）

2－1 年齢構成（年齢は 2025. 4. 1 現在）

① めいわ

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	58	0	1	4	4	21	22	6	57.89	90	27
数	100	0	1.7	6.8	6.8	36.2	37.9	10.3			
%											
男	27	0	0	3	3	13	7	1	54.6	78	30
女	31	0	1	1	1	8	15	5	60.7	90	27

②根郷通所センター

	総数	～19	20～		30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	31	4	14	9	3	1	30	53	18	31
%	100	12.9	45.2	29.0	9.7	3.2				100
男	18	3	7	6	2		30	47	18	18
女	13	1	7	3	1	1	30	53	18	13

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	58	0	0	0	0	11	47	37
%	100	0	0	0	0	18.9	81	66.1
男	27	0	0	0	0	7	20	23
女	31	0	0	0	0	4	27	14

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	31	0	0	2	8	8	13
%	100	0	0	6.5	25.8	25.8	41.9
男	18	0	0	1	5	6	6
女	13	0	0	1	3	2	7

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	58	31	5	1	1	1	1	18
%	100	53.4	8.6	1.7	1.7	1.7	1.7	31.0
男	27	18	3	0	0	0		6
女	31	13	2	1	1	1	1	12

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	31	7	0	2	1	0	0	21
%	100	22.6	0	6.5	3.2	0	0	67.7
男	18	2	0	2	1	0	0	13
女	13	5	0	0	0	0	0	8

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	58	9	23	13	6	7
%	100	15.5	39.6	22.4	10.3	12
男	27	6	10	4	2	5
女	31	3	13	9	4	2

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	31	16	12	3	0	0
%	100	51.6	38.7	9.7	0	0
男	18	8	8	2	0	0
女	13	8	4	1	0	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

① めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	58	23	17	40	18
%	100	39.6	29.3	68.9	31.0
男	27	15	6	21	6
女	31	8	11	19	12

② 根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	31	7	1	9	14
%	100	22.6	3.2	29.0	45.2
男	18	3	1	4	10
女	13	4	0	5	4

3-2 知的障害

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	58	11	24	16	6	55	1
%	100	18.9	41.3	14.0	10.3	98.2	1.7
男	27	7	11	6	2	25	1
女	31	4	13	10	4	30	0

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	31	16	12	3	0	31	0
%	100	51.6	38.7	9.7	0	100	0
男	18	8	8	2	0	18	0
女	13	8	4	1	0	13	0

3-3 障害の状況（総括）

① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	盲重複
総数	58	41	8	4	1	2	57	1	41
%	100	70.6	13.7	6.8	1.7	3.4	96.5	1.7	70.6
男	27	21	3	1	1	0	26	1	21
女	31	20	5	3	0	2	31	0	20

② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	盲重複
総数	31	8	3	0	0	2	31	0	8
%	100	28.6	10.7	0	0	7.1	100	0	28.6
男	18	3	3	0	0	1	18	0	3
女	13	5	0	0	0	1	13	0	5

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

めいわ

総数 57 名	排泄	食事	入浴	着脱衣	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	5	7	8	9	9	15
%	8.6	12	13.7	15.5	15.5	25.8
常時多面で介助	17	8	29	14	11	29
%	29.3	13.7	50	24.1	18.9	50
時々部分的に介助	22	32	20	26	21	12
%	37.9	55.1	34.4	44.8	36.2	20.6
点検・配慮程度	14	11	1	9	17	2
%	24.1	18.9	1.7	15.5	29.3	3.4
自立	0	0	0	0	0	0
%	0	0	0	0	0	0

３－５ コミュニケーションの状況
めいわ

総数 56 名	言語(会話)	意思表示
不可 %	15 25.8	3 51.7
一部で可能 %	15 25.8	27 46.5
だいたい可能 %	28 48.2	28 48.2
支障なし %	0 0	0 0

４ 援助サービスの実施状況

① めいわ

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を実施。 利用者の希望や特性に合わせ、所属の活動を決定している。
農耕班	法人内の生ごみを活用しての堆肥生産。袋詰めなどを皆で行い本館前や地域福祉センターに置いて常時販売。畑を耕してのさつまいも作り、プランターを活用しての野菜作りなども行い、イベント等で販売を行った。ユニバーサル農業での野菜配達は地域の生産者や顧客と直接交流する貴重な機会である。
創作 手工芸班	さをり織りと作品制作、紙漉き製品の制作、アルミ缶資源回収等様々な活動を行った。制作物は地域の販売会や秋まつりに出品し、多くの方に手に取って頂いた。秋祭りでの紙漉き体験は地域の方に好評であった。佐倉南図書館での定期的な販売会、委託販売等、地域の方の目に触れる機会増に努めた。
受注作業班	銀のさらやおしぼりの封入作業、フルーツキャップ作成を行なった。検品・出荷個数等のミスによるクレームも受けたが、速やかに対応検討・改善に動いたことで信頼につながった。本館作業場に統合し配置職員の効率化を図った。受注元の廃業等で終了した物もあったが、機の配置、個別の作業内容等適宜見直しを行い、仕事の提供を行うことができた。
いろどり班	当年度、生活介護利用の方 1 名が加わった。高齢者を対象とし、特浴、運動機能訓練、散歩、ストレッチのほか、レクリエーションとしてカラオケやボーリング、簡単調理実習など行った。また季節ごとの装飾品の作成や行事を実施し、より一層季節を感じる事が出来た。
余暇活動	
音楽	利用者自由参加；カラオケ
太鼓	利用者めいわ 4 名 月 1 回の太鼓練習（参観は自由）、めいわ内行事での演奏の他に、今年度は外部イベントなどに 4 か所、愛光創立 70 周年式典など多くの場で演奏の機会があった。 利用者もやりがいを感じながら活動していた。
その他	傾聴ボランティア、活動サポート、車椅子の清掃、茶道ボランティア等協力いただいた。NOUT さんによる演奏会、後援会主催による灯台カフェ開催され、皆さん楽しまれた。 ゴールデンウィーク・夏季・年末年始等活動休み期間 ・紅白歌合戦、初詣、映画観賞会、鉄板焼き、
あおばの会	利用者自治会活動（1 回/月） 総会（役員選出、行事の利用者代表者、朝の放送等の係り決め） 当月の振り返り、誕生者のお祝い、翌月の予定発表等

② 根郷通所センター

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を実施。 利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。 酒々井パーキングエリアへの出店及び自主生産品の販売。
木工班	スウェーデントーチ、一輪挿しの制作。 近隣のキャンプ場と提携し商品の販売。 佐倉市のふるさとの納税の商品として出品。 佐倉市内の間伐材の再生利用を実施。
陶芸班	多肉植物を植える器の作成。 パン皿・おにぎり皿・富士山の箸置きなどを作成
受注作業班	パンフレット・ビニール袋の封入、寿司の宅配の割りばしセット作り
余暇活動	
ウォーキング	日中活動終了後に外周路を中心にウォーキングを実施。
菜園	事業所前の小さな菜園で作物を育て収穫し調理などを実施。
土曜登所日	調理・ものづくり・音楽などを実施。
各種行事・クラブ	歓送迎会、お花見、お楽しみ会などを実施。音楽・茶道・調理クラブを実施

5 運営管理

5-1 職員状況

① めいわ

	2025.4.1 現員数	2025.4.1～2026.3.31				2026.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	44(8)	8 (4)	3 (1)	5 (2)	7 (1)	43 (10)
施設長	1					1
支援課長	1		1		1	1
主任	2					2
生活支援員	39(7)	5(1)	2	4(2)	5(1)	35(7)
クリーンスタッフ	1(1)	3(3)	1(1)	1	1	4(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

② 根郷通所センター

	2025.4.1 現員数	2025.4.1～2026.3.31				2026.3.31 現員数 異動 入
		採用	異動 入	異動 出	採用	
総数	16(6)		2	16(6)		2
施設長	1			1		
所長	1			1		
生活支援員	14(5)		2	14(5)		2
機能訓練指導員	1(兼)			1(兼)		
看護師	1(1)(兼)			1(1)(兼)		
栄養士	1(兼)			1(兼)		

★育休・休暇中職員は現員から除く

- ★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする
- ★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む
- ★年度当初採用者及び異動入職者は年度当初現員に含む
- ★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。
- ★網掛は兼務のためカウントしない

5-2 職員研修の状況

① めいわ

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
4/1～4	新任職員研修	3	8/25	個人情報保護研修	3
4/4	メンターメンティーマッチング研修	6	8/27	虐待防止研修	7
5/15	メンター研修	3	11/6	コンプライアンス研修	11
5/16	虐待防止研修	18	12/24	感染症対策訓練	2
6/18	感染症対策研修	2	1/14	経営層マネジメント研修	2
6/24	感染症対策訓練	2	1/18	APC 研修	2
6/26	虐待防止研修	13	1/	メンタルヘルス研修	11
7/3	摂食嚥下障害支援基礎研修	2	2/18	褥瘡ケア研修	2
7/15	虐待防止研修	16	3/3	BCP 対策研修	3
7/22	BCP 対策研修	5	3/26	労務管理研修	2
施設外					
5/30	障害支援区分認定調査員研修	1	11/20～21	盲重研全国大会	2
6/16～17	県知的協会新任研修	2	10/24	支援スタッフ部会研修会	2
6/19	盲重研施設長セミナー	1	12/4～5	知的協日中活動支援部会全国大会（新潟）	2
7/3～4	関東地区知的障害者福祉関係職員研究大会（茨城）	2	12/17～18	知的協施設支援部会全国大会（愛知）	2
7/3～4	盲重研新任職員研修（長崎）	2	12/20～21	視覚障害者生活指導者養成課程フォローアップ研修	1
7/10～11	全国知的障害者施設長会議	1	1/7～8	千葉県知的障害者福祉協会県外研修	1
8/20	防災対策講座	1	1/29	千葉県知的協権利擁護研修	1
9/16	サービス管理責任者更新研修	1	2/19～20	千葉県知的協施設長 1 泊研修会	1
10/21～22	千葉県強度行動障害支援者養成研修 実践研修	1	2/25～26	千葉県強度行動障害支援者養成研修 実践研修	1
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
コ・ヒューマントレーニング			6/11、7/9、8/13、11/20、12/10、2/12、3/12		2
コ・スマイル 5S			7/4、8/8、9/12、10/9、11/14、12/12、1/9、2/13、3/19		6
コ・ヒューマンフォローアップ研修			5/14、10/8		3
千葉県強度行動障害支援者養成研修 基礎研修			8/29、9/5		2
千葉県 TEACCH プログラム研究会			5/10、7/6、9/28、10/26、12/7、3/14		2
千葉県強度行動障害支援者養成研修 基礎研修			12/9、12/11		2

② 根郷通所センター

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
5/9	実習指導者研修	1	9/25	根郷通所センターにおける「対等な関係性」が崩れる場面を考えてみよう	全職員
5/22	仕事中的イライラどうしていますか？	全職員	9/26	NISA 研修	1
6/18	感染症研修	1	11/27	障害者支援における意思決定支援について学ぼう～“守る支援”から“共に考え、共に生きる支援”へ～	全職員
6/26	適切な距離感って何だろう？対等な立場を考えよう	全職員	12/19	生活支援事業所における自己決定のあり方	全職員
7/24	対等な関係性を築くにはどうしたらいい？	全職員	1/26	メンタルヘルス研修	2
7/3	嚥下研修	1	2/26	自己決定の具体的支援例（食事の提供方法）	全職員
8/28	障害者支援において「対等な関係性」が崩れる場面	全職員	3/26	意思決定の定義	全職員
施設外					
12/9～11	令和7年度千葉県強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	1			
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
コヒューマントレーニング研修			6月～3月（毎月）		1
5S 研修			7月～3月（毎月）		1

5-3 実習受け入れ状況

①めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/9～23	聖徳大学	保育士	1
5/28～7/4	中央介護専門学校	介護福祉士	1
5/26～6/6	東京福祉専門学校	社会福祉士	2
8/8～9/18	おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
8/18～9/8	敬愛短期大学	保育士	1
9/10～10/7	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1
9/29～10/10	城西大学	社会福祉士	3
2/2～2/20	目白大学	保育士	2
2/16～3/2	千葉明德短期大学	保育士	1
2/24～3/17	敬愛短期大学	保育士	1
3/2～3/13	千葉経済短期大学	保育士	2
3/16～28	聖徳大学	保育士	1

② 根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/7～5/9	秀明大学	看護師	2
6/17～6/19	秀明大学	看護師	2
7/1～7/3	秀明大学	看護師	2
8/5～8/23	聖徳大学	保育士	3
6/3～6/6	中央介護専門学校	介護福祉士	1
8/26～8/30	武蔵野短期大学	保育士	2

10/16～10/18	二葉看護学院	看護師	3
10/22～10/24	二葉看護学院	看護師	3
11/11～11/30	大原医療福祉専門学校	介護福祉士	2
11/11～11/13	中央介護専門学校	介護福祉士	1
1/27～2/6	東京福祉専門学校	介護福祉士	1
2/14～2/28	植草学園大学	保育士	2
2/21～2/27	千葉明德短期大学	保育士	2
3/3～3/18	敬愛短期大学	保育士	1
3/10～3/25	帝京平成大学	保育士	2

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
7 月	歓迎会(29)
8 月	納涼祭(22)
9 月	敬老会(21)
10 月	
11 月	おひさま祭(16)
12 月	忘年会 ・ 紅白歌合戦(28)
1 月	新年会(11)
3 月	やよい会(27)

② 根郷通所センター

月	行事内容
4 月	お花見
12 月	忘年会
3 月	やよい会
随時：お楽しみ会・班外出	

障害者支援施設

リホーブ

概況

今年度も前年度同様に「生き方の意思決定をしっかりと支えよう」をスローガンとして業務に取り組んできた。利用者の高齢化・重度化により、前年度に比べ長期入院をする利用者が増加した。現在は、末期癌による長期入院を経て、積極的な医療行為を終了した入所者 1 名が看取り体制となっているほか、骨折、胆管炎、血栓症により計 4 名が長期入院となっている。

今後さらに進む重度化・高齢化を見据え、職員の介護技術や看取りへの理解を徹底するとともに、具体的なマニュアル作成を通じて現場の不安解消を図る。また、看取りを経験したことで、利用者の直近の思いを反映させるためのエンディングノートの内容や聞き方の見直しが必要となった。今後は、項目の再検討と合わせて更新を定例化し、本人の意思に寄り添った支援体制を強化していく。

○本年度数値目標

- ・稼働率 施設入所：98.5%→95.3% 短期入所：96%→142.3% 生活介護：102%→99.9%
- ・入所満床確保 50 床→48 床

○独立運営・独立採算

- ・稼働率について、入所は 98.5%の目標に対して、長期入院入所者と退所者が 2 名いたが、2 名分が空床のまま埋まらなかったため 95.3%と大幅に低下した。生活介護についても 102%の目標に対して入所稼働率低下と同様の理由により、99.9%と低下してしまった。しかし、短期入所については空床利用等で 96%の目標に対して、142.3%と大幅に増加した。

○人材育成

- ・高齢プロジェクトでは高齢化に伴い介護技術の向上を目指し、内部・外部を含め多くの介護技術研修を実施した。自立支援プロジェクトでは重度化に伴い、外部講師を招き事例検討を 1 回実施すると共に、内部・外部の研修に多くの職員を参加させた。

○利用者支援

- ・意思決定支援の重視を図るため、意思決定支援に係る外部研修に多くの職員を参加させると共に、利用者の直近の思いを反映させるためエンディングノートの見直しが必要となり、今後は毎年更新することを決定した。また、職員の理解と不安を取り除くためにターミナルケアの具体的なマニュアル作成を行った。また、見守りカメラの設置により事故原因が明確となり、対応策が徹底され事故件数が減少した。

○事業部内連携強化

- ・新規入所者の受入れの効率化を図るため、入所候補者の多い施設、少ない施設があるため、事業部内での入所者移動について 3 施設で数回の打合せを行い、各施設での入所者の状況を確認した。コロナ等疾病の対応や、年度途中で退職者数名があり施設間の実地研修を行うことができなかったため、来年度の実施を目指したい。

○事業部間連携強化

- ・前年同様に共生型として、障害者支援事業部の利用者のはちす苑デイサービスの利用の継続と、障害者施設からはちす苑への移動もスムーズに行えるようになり、コロナ等のクラスターの応援に関しても効率的に実施できている。

○災害時の事業継続

- ・非常事態発生時の初期行動マニュアルを全職員が携帯しているが、実際に非常事態が発生した時、直ぐに対応するには、もっと簡単なフローチャートを作成するため、検討会議を実施し来年度早々に完成を目指している。

○感染症対策の強化

- ・毎月第二火曜日に感染症対策委員会を実施している。また、研修及び訓練を実施した。
- ・新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

○業務効率化

- ・今年度は5S活動により、事務作業に関する大幅な業務効率化を実施することができた。今後は更なる業務効率化を目指し、5S活動を継続していく。

○ICT導入による業務の効率化

- ・ビジネスチャットの「ダイレクト」というアプリケーションを取り入れ、これにより、連絡業務がスムーズになった。また、無料のAIの導入により、議事録等の作成時間を削減できることが確認できた。事務作業効率化のため、職員がAIを活用できるように指導していく予定である。

(施設長 中川 光男)

1 施設利用状況 (2025. 4. 1～2026. 3. 31)

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18250	17851	17416	47.4	95.3	834	389	279	166	3	2

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3			3				
退所者数と退所事由	2				1			1

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	730	1037	2.8	142.3

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
市川市	3		稲毛区		2	板橋区		1
市原市	2		中央区	1		足立区	1	
柏市		2	若葉区	1		葛飾区		1
香取市	1		美浜区		1	練馬区	2	
匝瑳市		1	緑区	1		大田区	1	
袖ヶ浦市		1	計	3	3	江戸川区	3	
館山市	1		合計	6				
東金市			【埼玉県】					
流山市	1		春日部市	1	1	計	7	2

野田市	1					合計	9
旭市	1					【神奈川県】	
船橋市	2						
八街市		1	計	1	1		
佐倉市	2	6	合計	2			
長南町		1	【茨城県】				
成田市	1					計	
四街道	4	1	鹿嶋市	1		合計	0
八千代市	1						
計	20	13	計	1			
合計	33		合計	1			

2 利用者の状況（2025 年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は 2025. 4. 1 現在）

	総数	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	50	0	4	5	6	11	8	12	4	57.1	86	21
%	100	0	8	10	12	22	16	24	8			
男	32	0	4	3	3	6	4	9	3	58.8	86	21
女	18	0	0	2	3	5	4	3	1	54.8	81	33

2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	50	0	0	1	20	17	12
%	100	0	0	2	40	34	24
男	32	0	0	0	14	9	9
女	18	0	0	1	6	8	3

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	不所持
総数	50	36	4	0	2	0	0	8
%	100	72	8	0	4	0	0	16
男	32	25	3	0	1	0	0	3
女	18	13	1	0	1	0	0	3

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重 度	重度	中度	軽度	不所持
総数	50	4	6	5	7	28
%	100	8	12	25	14	56
男	32	2	3	2	4	21
女	18	2	3	3	3	7

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	50	13	9	3	24	13	2	1
%	100	26	18	6	48	26	4	2
男	32	8	6	2	14	8	1	1
女	18	4	1	1	10	5	1	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	50	15	35
%	100	30	70
男	32	10	22
女	18	5	13

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	50	33	5	39	12
%	100	66	10	78	24
男	32	23	3	26	6
女	18	10	2	13	6

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	50	0	12	10	14	36	14
%	100	0	24	20	28	72	28
男	32	0	5	5	11	21	11
女	18	0	7	6	3	16	2

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	50	38	9	4	0	4	38	8	40
%	100	76	18	8	0	8	76	16	80
男	32	25	5	3	0	2	23	4	24
女	18	13	4	1	0	2	15	4	13

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイキング	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助 %	7 14	0 0	12 24	4 8	23 46	6 12	18 36
常時多面で多介助 %	9 18	5 10	8 16	13 26	11 22	4 8	23 46
時々部分的に介助 %	8 16	10 20	6 12	4 8	6 12	11 22	3 6
点検・配慮程度 %	2 4	27 54	24 48	27 54	10 20	6 12	6 12
自立 %	24 48	8 16	0 0	2 4	0 0	23 26	0 0

3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字
不 可 %			36 72	26 52
一部で可能 %	5 10	5 10	3 6	3 6
だいたい可能 %				9 18
支障なし %	45 90	45 90	11 22	12 24

4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	亡くなられた利用者のご家族から寄付をいただき、畳の部屋をフローリングに変更、居室扉の補修、電動ベッドの導入、ティルトリクライニング車椅子の購入、園芸ハウスのエアコンの購入等を行った。
各種専門的訓練 及 び 日中活動	【受 注】 おしぼりの袋詰め、マグネット組立、フルーツキャップの折りたたみ、紙スプーンの袋詰め、ピックの箱詰め、マドラーの箱詰め、点字名刺、紙袋の袋詰めを行った。（利用者 16名参加） 【園 芸】 花苗の栽培と販売を行った。物井駅ロータリー、ヤックス前、南図書館や法人内3か所の花壇整備も行った。（利用者 6名参加） 【い ろ ど り】 高齢者や視覚障害者を対象とし、運動機能訓練、歩行訓練、レクリエーション、創作活動、散歩などを行った。（利用者 9名参加） 【手 工 芸】 さをり織り、さき織り、フェルト人形作りを行った。（利用者 8名参加）

ケアマネジメント	高齢障害者支援への専門的支援、意思決定支援が課題となった。支援の核となる ACP（人生会議）では、癌再発の利用者に対し、多職種会議（ムンテラ）でのリスク共有を経て「リホープへ帰りたい」という本人の強い意思を尊重した支援を実現した。特に盲重複障害者への意思決定支援では、視覚情報に頼れない中で延命判断等を言葉で伝える難しさを再認識した。 地域移行支援では、担当者会議への本人出席と意向の記録化を徹底し、グループホーム移行に向けた歩行訓練を多職種連携で展開した。本人の尊厳と「最善の利益」を追求するマネジメントが大切である。高齢障害者支援においては、介護技術面の向上、摂食嚥下に関する知識向上が求められる。
保健・医療	前年度 3 月下旬に発生した新型コロナウイルスクラスターが、4 月に入っても継続し、入居者・職員合わせて 30 名以上罹患した。 令和 8 年 1 月上旬に胃腸炎のクラスターが発生し、入居者・職員合わせて 14 名が罹患した。保健所の視察を受け、初動対応の遅れを反省点として、初期段階での日中活動中止判断など、基準の明確化と対応強化を改めて職員間で共有した。
余暇活動	月 1 回のバリアフリー映画、カラオケクラブ、草笛クラブは継続して行った。マラソンクラブ、鉄道クラブ、散策クラブも活発に活動し、大会の参加や外出行事も積極的に行った。エレクトーンクラブは自治会行事での演奏の他、オレンジカフェや山王小学校・根郷中学校での福祉学習での演奏などを行った。個別外出も可能な限り実施した。5 月と 9 月に外部の音楽ボランティアに来ていただき、ピアノ、サックス、ピッコロなどの演奏を楽しんだ。
自治会活動	自治会主催の夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会は自治会役員と職員が連携し、楽しい会を開催できた。例年だと異動や退職者がいるが、今年度は該当者がいなかった為、各自で選んだお弁当を楽しまれた。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1～2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総 数	40 (7)	5 (2)	5	6 (1)	3 (1)	38 (7)
施設長	1					1
副施設長	1					1
課長	1				1	
主任	1		2	1		2
生活支援員	32 (6)	4 (2)	3	5 (1)	2 (1)	29 (6)
清掃	1 (1)					1 (1)
機能訓練士	1 (兼)					1 (兼)
看護師	1	1				2
栄養士	1 (兼)					1 (兼)

- ★育休・休暇中職員は現員から除く
- ★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする
- ★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む
- ★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む
- ★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示

５－２ 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/1～4	新任研修	4	9/26	資産運用セミナー	5
5/15	メンター研修	2	12/9	職員実践発表会	8
7/3	摂食嚥下障害支援基礎研修	1	12/24	感染症対策・訓練研修	1
6/18	感染症対策・訓練研修	4	1/26	メンタルヘルス研修（管理者）	1
7/22	BCP 対策研修	4	1/26	メンタルヘルスケア研修（一般）	4
8/6	看取りケア研修	23	1/31	千葉県知的協自立支援セミナー 「看取りについて」	2
10/26	終活について考えよう	2	2/14	非がんの緩和ケア研修	1
8/25	個人情報保護研修	3	3/3	BCP 研修	3
9/19	事例検討会（田中先生）	7			
施設内オンライン研修					
3/5	自閉症スペクトラムの理解 てんかんとは てんかん発作の対応				立花
3/19	アセスメントとは 個人情報の落とし穴 就労支援の視点				菊地
3/20	自閉スペクトラムの理解				油原
3/25	個別支援計画の重要性 支援者のマナー				立花
施設外					
5/30	認定調査員研修	2	10/21	千葉県知的協非常勤職員研修	1
6/16～ 17	千葉県知的障害者福祉協会新 任職員研修会		10/23	重度行動障害者事例研修	1
7/2	園芸班研修	3	11/13	苦情解決研修	1
7/3～4	盲重複研職員研修 知的協関東地区研究大会	2 2	11/19 ～20	全国盲重複障害者福祉施設研究大 会 事例発表	5
7/16	社会福祉施設の防災講座	1	11/27 ～28	知的障害者協会福島セミナー	2
8/28	精神部会研修	1	12/4 ～ 5	知的障害者協会日中活動支援部会 新潟大会	3
9/2	ビジネスチャット direct 研修	2	12/14	介護と虐待研修 2	3
9/21	介護と虐待研修 1	3	12/17 ～18	知的協会障害者支援施設部会全国 大会	3
10/15	防災対策基礎講座	1	2/19 ～ 20	千葉県知的協 施設長等セミナー	2
複数日研修					
研修内容			月 日		参加者
同行援護研修			10/1・15・16・21・23・29		吉田

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	8/29 9/5 12/10・12	坂尻 立花 並木 清宮
強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	10/16・22 令和8年2/25・26	仲山 飯田
5S 研修	7/4 8/8 9/12 10/6 11/14 12/12 1/9 2/13 3/19	吉田 仲山 並木 立花 和田 坂尻
co-human	5/14 6/11 7/9 8/13 10/8 11/20 12/11 2/12 3/12	和田 並木
co-human 経営層向け研修	9/10 1/14	中川 麻生

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数
5/27～6/28	東京通信大学	社会福祉士	1
5/26～6/6	東京福祉	保育士	1
6/9～12	中央介護専門学校	介護福祉士	2
8/1～8/31	淑徳大学	社会福祉士	2
8/18～9/18	おおたかの森	社会福祉士	1
9/1～9/30	淑徳大学	社会福祉士	1
9/1～10/5	城西国際大学	社会福祉士	2
10/16～11/15、11/3～12/3	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1
2/9～3/12	大原医療保育福祉（千葉）	介護福祉士	2
3/2～3/13	千葉経済短大	保育士	1
3/2～3/13	大原医療秘書福祉保育（水道橋）	社会福祉士	1
※6/23～26	敬愛大学（R6 年度分）	保育士	1

6 行事実施状況

月	行 事 内 容
4 月	ディズニーシー外出（20） 灯台カフェ（27）
5 月	草笛クラブ演奏会（5） 鉄道クラブイオンモール（25） 園芸班外出船橋アンデルセン公園（14） 声の花束（17）
6 月	受注班食事会（12） お酒ともつ鍋（14） おいしいとんかつを食べに行こう（14） 野球観戦マリンスタジアム（15） スカイツリー東京ソラマチ散策（25）
7 月	手工芸班食事会（7） スカイツリーソラマチ散策（18） ユーカリが丘で映画と食事（27）
8 月	手工芸班食事会（8） 夏を楽しもう会（15） 東部地区社協エレクトーン演奏（24）
9 月	八天堂パン作り体験（5） 個別旅行外泊箱根（13-14） ボランティア演奏会（20） 手工芸班食事会（22） いろどり班食事会（29）
10 月	南部福祉まつり（5） 八天堂パン作り体験（10・27） 受注班食事会（21） 70 周年記念エレクトーンクラブ演奏（31）
11 月	ボランティア演奏ハーモニー（2） BG HOP 外出（3） サンリオピューロランド外出（9） ボーリング外出（9） 四街道マラソン（16） 京成バラ園（24） 散策クラブ川越（29） 草笛クラブ演奏会（30）
12 月	京成バラ園（1） 思い出の地を巡る個別旅行（7-8） 手工芸班おやつ会（10） 園芸班食事会（10） 八千代マラソン（14） もみの木会（22）

1 月	鉄道クラブ外出イオン成田（17） 鉄道クラブ外出イオン幕張（25） 横浜中華街外出（28）
2 月	葛西臨海公園外出（11） 横浜中華街外出（16） ボランティア演奏会（21） 鉄道クラブららぽーと（22）
3 月	受注班お疲れ様会（11） 散策クラブ柴又（22） 弥生会（30）
毎月	カラオケクラブ、エレクトーンクラブ、バリアフリー映画

概況

「地域の中で自分らしい生活」をスローガンとして支援に取り組んできた。

年度当初、利用者1名が3か月間の入院期間を経て戻ったが、医療的ケアが必要になり訪問看護、訪問薬局の利用を開始した。日常生活も制限が多くなったが周囲の協力と本人の努力で安定した生活を送ることができている。感染症に関しては7月・10月にコロナウイルスに罹患した方もいたが幸い重症化せず済んだ。地域連携推進会議や個別支援計画作成担当者会議に出席されたご家族からは、「家族の高齢化により難しくなっている対応」や「親亡き後の不安」などという声が昨年度以上に多く聞かれた。利用者にとっても、これまで以上に家族から自立した生活を考えなければならない時期に来ているともいえる。職員も共に考えながら支援していく必要があり、支援の難しさに向き合う場面が増えてきた1年だった。12月に県の指導監査を受け、年度末によりやく回答をいただいた。感染症等による世話人の配置基準不足（1ヵ月のみ）と慣習的に行ってきたサービス管理責任者の兼務について指摘を受け、次年度早々に改善状況報告書を提出することとなった。

○数値目標（稼働率）

・目標 94% ⇒ 実績 90.1%

・長期入院者や感染症対策による帰省、12～1月の入退所等の関係にて目標達成できなかった。

○人材育成

・各担当が主になり支援にあたった。月1回の職員会議での情報交換を行い、年2回世話人会議にて虐待防止、権利擁護研修も都度議題にあげて実施。動画視聴も合わせて行った。

○利用者支援

・利用者に安心、安全な生活をして頂くために職員会議、生活記録、連絡ノートを活用した情報共有と連携で業務にあたり、支援方法・日々の業務等についても職員との連絡を密に行い滞ることのないよう実施した。また、日中通所している事業所や保佐人、相談員、家族等関係各所とこまめに連絡・連携を図りトラブルも最小限に抑えるよう努めた。

・医療機関受診はご家族主導で行っているが、緊急時に備え嘱託医への相談がスムーズに行えるよう健康管理室看護師と連携し健康観察体制（月1回のバイタル測定及び問診）を整えた。

○地域との連携

11月に地域連携推進会議を開催。参加された近隣住民、市職員から自治会活動（公園清掃等）への参加等意見をいただいた。

○空床時の迅速な入居者確保

・満床で推移していたが、12月に宮前の家に1名転居。その後、新規利用者の体験利用から入居までを福祉相談室相談員と連携して行い、1月には入居となった。

○災害時の事業継続

・事業継続計画に基づいて年に3回の避難訓練を実施。防災面では家具の固定や備品・備蓄の整理を行った。訓練後には参加者全員で防災知識や心構えなど基本的な事を確認し合った。夜間は職員も1人での対応になるため、利用者の協力や本部・バックアップ施設との連携を含め都度会議等で共通理解に努めた。

・新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関 佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

○業務効率化

当年度は5S活動により、事務作業に関する大幅な業務効率化を実施することができた。今後は更なる業務効率化を目指し、5S活動を継続していく。（管理者 岡本綾子）

1 利用状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

1－1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1 日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3,650	3,606	3,287	9.0	90.1	1	1

1－2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	1	0	0	1	0	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	0	0	0	1

1－3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	5	1	6
四街道市	1	1	2
柏市		1	1
千葉市稲毛区	1		1

2 利用者の状況

2－1 年齢構成（2025. 4. 1 現在）

	総数	18～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	10	0	1	2	7	43	61	27
%	100	0	10	20	70			
男	7	0	0	1	6	49	61	37
女	3	0	1	1	1	34	41	27

2－2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	10	1	0	0	9
%	100	10	0	0	90
男	7	1	0	0	6
女	3	0	0	0	3

2－3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	10	7	1	2	0	0
%	100	70	10	20	0	0
男	7	4	1	2	0	0
女	3	3	0	0	0	0

2－4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	10	0	0	0	0	0	1	10
%	100	0	0	0	0	0	10	100
男	7	0	0	0	0	0	1	6
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2－5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲（再掲）	その他	不就学
総数	10	0	2	2	6	0	0	0
%	100	0	20	20	60	0	0	0
男	7	0	2	1	4	0	0	0
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2－6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	10	3	7
%	100	30	70
男	7	2	5
女	3	0	3

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	10	0	1	0	9
%	100	0	10	0	100
男	7	0	1	0	6
女	3	0	0	0	3

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	10	7	1	2	0	0
%	100	70	10	20	0	0
男	7	4	1	2	0	0
女	3	3	0	0	0	0

3-3 障害の状況（総括）

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	盲重複	その他
総数	10	1	0	0	0	0	10	1	0	0
%	100	10	0	0	0	0	100	10	0	0
男	7	1	0	0	0	0	7	1	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

4 援助サービスの実施状況

日常生活支援	食事、入浴、洗濯、掃除等の身の回りの支援 自分でおこなえる事は行ってもらい不足する面を職員が支援。
体調管理	健康状態を把握するための観察【起床時検温】。薬の管理、服薬。定期的な通院同行および突発時の通院同行。看護師による月1回のバイタルチェック
住環境整備	世話人、生活支援員による館内の共有部分および各居室の清掃、整理整頓。
余暇時間の充実	週末にホームにいる利用者と話し合い外出および買い物支援。 利用者の希望に添った地域行事への参加。 年1回クリスマス会を企画、実施。
関係機関との連絡調整	利用者、家族から相談支援。相談員等とのこまめな連絡調整、支援。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1～2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	7 (6)		1	1		7 (6)
管理者	1 兼					1 兼
サービス管理責任者	1 兼					1 兼
生活支援員	7 兼		1	1		7 兼
世話人	6 (6)					6 (6)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員(宿直等)については、バックアップ施設(めいわ通所部)兼務

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
6/18	感染症対策研修	1	11/6	コンプライアンス研修	1
7/22	BCP 対策研修	1	12/9	法人内実践発表会	1
8/25	個人情報保護研修	1	12/24	感染症対策研修	1
9/10	経営層マネジメントトレーニング	1	1/14	経営層マネジメント研修	1
9/26	資産運用セミナー	1	3/26	労務管理研修	1
施設外					
6/13	印旛圏域グループホーム等 連絡協議会第1回設置者会	1	12/10	第3回世話人の集い	1
9/29	サービス管理責任者更新研修	1	12/18	佐倉市グループホーム事 業所連絡会	1
10/15	グループホーム研修	1	1/16	グループホーム研修	1
11/19	印旛圏域グループホーム等 連絡協議会第1回サービス管 理責任者研修	1	2/13	虐待防止・権利擁護研修 (zoom)	1
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数

5－3 行事实施状況（2025.4.1～2026.3.31）

月	行 事 内 容
4/4	花見
6/9	避難訓練
11/17	避難訓練
12/25	クリスマス会
1/1	初詣
2/28	カラオケ外出
3/18	避難訓練

IV. 佐倉圏域事業部

就労継続支援B型

佐倉市よもぎの園

概況

当年度のスローガンは「Co-challenge ～一致団結し新たなよもぎへ～」であった。 中期経営計画 (1) 数値目標 ・稼働目標：93% ⇒ 89% ・工賃目標：平均工賃月額「2万円以上2万5千円未満」の維持 ⇒ 21,976円 (2) 戦略目標 ○人材育成 - コ・ヒューマントレーニング(3期生)に1名参加。 - コ・ヒューマントレーニング(2期卒業生)1名。ともいきWT(0円バザー)に参加。 ○相談支援事業所との連携 かけはし2名体制となる。会議時や利用者ケースの相談等で連携を実施。 ○圏域グループホーム開設に向けた準備 令和7年11月に共同生活援助「宮前の家」開所。入居者の意向を尊重し、支援も受けながら自立に向けての新しい生活を開始した。 ○多機能化も見据えた今後の検討 圏域グループホームの開所、安定運営に注力。新しい事業検討等は次年度以降の要検討課題とした。 ○稼働率93%を目指し、対象利用者層を広げる 特別支援学校卒業の新規利用者を1名迎え入れ新卒者の受け入れは継続できている。 盲学校からの受け入れが止まっているため(高等部在籍の生徒が少ない)、関係が途切れないよう情報交換・共有の場を設け、1年生の見学(生徒と家族)等の受け入れも積極的に実施した。 病気の発症や精神疾患の影響から利用日数が減少した利用者が数名いたため、稼働目標の達成には至らなかった。 ○平均工賃月額「月2万円以上2万円5千円未満」を維持 本年度も売り上げは1,000万円を超し平均工賃月額も2万円台を維持することができた。 売り上げ向上とランク維持ができたのは受注業者1社に頼らない体制構築への取り組みを全員一丸となつて行えた成果である。 ○地区社協、町内会との交流継続 福祉委員活動継続し地区歓談会の運営参加(3回)、あんしん内郷の広報誌(4回)発行に年度を通して携わった。 園庭工事の日程と重なってしまい自治会主催の「交流会」はよもぎの園敷地内で開催できなかったが、物品貸し出し(テント、テーブル、イス、ベンチなど)や準備の手伝いを行った。 ○施設内環境の整備 「園庭のアスファルト化」「館内電灯全箇所LED化」「屋根瓦補修」「トイレ自動水栓交換」「建物裏斜面の草刈、防草シート敷き詰め」を実施。 ○災害時の事業継続 事業継続計画書に基づく年2回の訓練を実施。定例会議時にWEB研修(動画視聴)や計画書の見直し、確認を実施。備蓄食料の実食や防災コンロを活用した炊き出し訓練も実施。 ○感染対策の強化 感染対策委員会の情報等を基に対応を実施。 ○5S活動 業務改善の取り組みとして「ムダ抽出・対策シート」を活用し毎月会議で課題の見える化と対策の協議を実施。 ○新興感染症についての協議 新たな感染症の発症に対応するために、協力医療機関である佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。	(所長 戸室 輝大)
--	-------------------

1 施設利用状況

1-1 利用状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1 日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10640	10640	9509	35.7	89.4	1	1

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	1		1					
退所者と退所事由	1					1		

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	20	13	33
八千代市	0	1	1
酒々井町	0	1	1
印西市	1	0	1
千葉市	1	0	1
柏市	0	1	1
八街市	1	0	1
東京都	1	0	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2025. 4. 1 現在）

	総数	18～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	40	2	6	8	24	43.4	73	18
%	100	5	15	20	60			
男	24	1	4	6	13	42.1	67	19
女	16	1	2	2	11	46.1	73	18

2-2 療育手帳による障害程度 (2025. 4. 1 現在)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	40	7	2	18	9	4
%	100	17.5	5	45	22.5	10
男	24	5	2	9	6	2
女	16	2	0	9	3	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度 (2025. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	40	3	1	0	1	0	0	35
%	100	7.5	2.5	0	2.5	0	0	87.5
男	24	2	0	0	1	0	0	21
女	16	1	1	0	0	0	0	14

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度 (2025. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	40	1	1	0	38
%	100	2.5	2.5	0	95
男	24	0	1	0	23
女	16	1	0	0	15

2-5 就学状況（最終学歴）(2025. 4. 1 現在)

	総数	普通学校義務	特別支援義務	普通高等学校	特別支援高等部	千葉盲	その他	不就学
総数	40	4	1	4	25	3	3	0
%	100	10	2.5	10	62.5	7.5	7.5	0
男	24	2	1	2	16	2	1	0
女	16	2	0	2	9	1	2	0

2-6 就労経験 (2025. 4. 1 現在)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	40	15	25
%	100	37.5	62.5
男	24	8	15
女	16	7	10

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害（2025. 4. 1 現在）

	総数	盲	弱視	晴眼
総数	40	2	1	37
%	100	5	2.5	92.5
男	24	1	1	22
女	16	1	0	15

3-2 障害の状況（総括）（2025. 4. 1 現在）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	40	3	3	0	0	0	37	2	0
%	100	7.5	7.5	0	0	0	92.5	5	0
男	24	2	1	0	0	0	22	1	0
女	16	1	2	0	0	0	15	1	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

作 業	○タオル縫製 （汚れ拭き上げ用品） ・ 使用済みのバスタオルを二枚の拭き上げ用タオルに作り替える作業 ○ウエス作製 ・ シーツを指定された大きさにカット、袋詰めする作業 ○腰壁材梱包 （家の壁紙の分かれ目を隠すもの） ・ 木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼る作業 ○足場インサート （建築物の基礎に埋め込む資材） ・ 金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業 ○検査キット封入 （健康診断で使用する検尿容器） ・ 健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入する作業 ○商品作成、封入、梱包、出荷作業 ・ 商品の組立て等、商品・用紙の封入、梱包、出荷（バーコード貼付） ○自主生産活動（ミシン作業） ・ ワッペン作り、玄米カイロ作成 ○ヘッドホン結束 （ヘッドホンリサイクル） ・ 国際線航空機のヘッドホン清掃、結束する作業 ○枕封入 ・ 枕カバーに枕を封入、セット作業
-----	---

自治会活動	「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足 会長…1名 副会長…1名 書記…1名 ○給与規定について ・給与規定の内容確認および承認 ○期末ボーナスについて ・ボーナスの支給方法および承認 ○環境整備について ・掃除分担の作成 ○行事計画について ・行事計画の内容確認および承認 ○その他 ・利用者間の決まり事の確認および周知の場
-------	---

送迎	○4 経路運行 ①よもぎの園～ユーカリが丘～染井野方面～よもぎの園 ②よもぎの園～法人本部～よもぎの園 ③よもぎの園～大蛇方面～よもぎの園 ④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園
----	---

宅配弁当の仲介	○昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ） ・出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文
---------	--

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1～2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	13(8)					18(10)
管理者	1					1
主任（サービス管理責任者）	1					1
生活支援員	8(8)	1(1)				7(7)
作業指導員	3	1	2			6
目標達成指導員						2(2)
運転手		1(1)				1(1)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

5－2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
7/22	BCP 対策研修	2	8/25	プライバシー保護研修	2
9/10	経営層マネジメント研修	2	11/6	コンプライアンス研修	1
12/24	感染症対策研修	1	1/26	メンタルヘルス研修	3
3/26	労務管理研修	1			
施設外					
9/11	安全運転管理者講習会	1	9/16	サービス管理責任者 更新研修	1
9/29	サービス管理責任者 現認研修	1	10/18	サービス管理責任者 更新研修	1
※職員会議を利用し、サポーターズカレッジの動画研修を定期的実施した。					

5－3 行事实施状況

月 日	行 事 内 容
4/28	歓迎会
6/24	食事会
8/25	食事会
12/26	忘年会
2/12	ボーリング大会（ライオンズクラブ主催）
備 考	

障害者生活支援事業所

かけはし

概況

当年度のスローガンは、「地域に根付く～始まり・種まき～」であった。

中期経営計画

(1) 数値目標

相談支援事業（目標値 → 実績）

特定相談支援（者）・・・・・・・・ 80 件/年 → 99 件

障害児相談支援・・・・・・・・ 40 件/年 → 71 件

障害支援区分認定調査件数・・・・ 25 件/年 → 41 件

提供時モニタリング加算件数・・・・ 30 件/年 → 78 件

集中支援加算の給付件数・・・・ 12 件/年 → 6 件

(2) 戦略目標

○連携体制づくり

佐倉圏域事業部としてアシスト・かけはし一体での運営体制を継続。

毎月 2 回のアシスト・かけはし会議開催や毎朝 ZOOM を活用して申し送りを実施して、ケースの共有、把握を図り、円滑な連携体制構築をおこなった。

かけはし所属職員の人数も増えてスペースの兼ね合いもあり、よもぎの園とかけはし同事務所内での業務遂行が難しい状況であった。来客・訪問対応等でももぎの園の会議参加ができないこともあったため次年度の課題としたい。

○職員の精神的負担の軽減

新規ケースの振り分けやケース数の調整をアシストと連携して行う業務遂行体制を構築し、孤立せず業務遂行が行える環境整備を整えた。

○計画的な引継ぎ及び業務分担

相談員の入れ替わりがあったが 2 名体制となり、計画的にケース整理に取り組むことができた。圏域だけでケース分配せず、相談内容や家庭環境等にも配慮してアシストと連携しケース分配を行った。

○災害時の事業継続

アシスト BCP に準じた体制構築をおこない、緊急時等に優先的に支援が必要なケースをピックアップし、アシストと共有の要支援者リストを作成した。

よもぎの園 BCP との連携（職員安否確認等含む）については、年 2 回の訓練に参加。

○人材育成

地域災害対策ワーキングチームに参加し法人業務の運営に継続的に携わった。

6 月にかぶらぎ家族会の依頼を受けて講演を行った。

2 月には医療的ケア児等コーディネーター連絡会議にて活動報告等の発表を行った。

○5S 活動

業務改善の取り組みとして「ムダ抽出・対策シート」を活用し毎月会議で課題の見える化と対策の協議を実施。

○新興感染症についての協議

新たな感染症の発症に対応するために、協力医療機関である佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。（管理者 戸室輝大）

1-1 業務内容

- 日常生活全般に関する相談
- サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助
- 情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等
- サービス事業者との連携調整、担当者会議の開催
- 社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等
- 社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助
- 専門機関の紹介
- 佐倉市障害者総合支援協議会等への参加
- 他機関の相談員との連携に関すること

1-2 障害者相談支援事業（計画相談は含まない）

（1）相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	5	2	0	0	3	0	0	2
5月	2	0	0	0	1	0	0	2
6月	4	0	0	0	4	0	0	0
7月	1	0	0	0	0	0	0	1
8月	4	0	0	1	2	0	0	1
9月	4	1	0	0	2	0	0	1
10月	7	1	0	0	4	0	0	2
11月	4	1	0	0	3	0	0	0
12月	3	1	0	0	2	0	0	0
1月	7	2	0	0	4	0	0	1
2月	7	2	0	2	3	0	0	1
3月	6	1	0	0	2	0	1	1
計	54	11	0	3	30	0	1	12

（2）支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	2	0	0	3	0	0	8	0
5月	1	0	0	11	0	0	8	0
6月	0	0	0	15	0	0	12	0
7月	0	0	0	23	0	0	7	0
8月	0	0	0	24	0	0	8	0
9月	0	0	0	10	0	0	4	0
10月	0	0	0	19	0	0	11	0
11月	0	0	0	4	0	0	8	0
12月	0	0	0	7	0	0	2	0
1月	2	0	0	3	0	0	3	0
2月	0	0	0	13	0	0	6	0
3月	1	0	0	7	0	0	1	0
計	6	0	0	139	0	0	78	0

(3) 支援内容数（重複あり）

	福祉サービスの利用等に 係る支援	障害や症状の 理解に関する 支援	健康・医療 に関する支援	情緒不安定に 関する支援	不安の解消・ 緩和に関する 支援	保育・教育 に関する支援	人間関係の 改善に関する 支援	家族関係の 改善に関する 支援	生活技術に 関する支援	家計・経済 に関する支援	生活技術に 関する支援	就労に関する 支援	余暇活動に 関する支援	社会参加に 関する支援	権利擁護に 関する支援	その他	日程調整等	計
4月	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	13	
5月	19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	
6月	25	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	30		
7月	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	32		
8月	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	36		
9月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8		
10月	20	1	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11	0	38		
11月	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9		
12月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8		
1月	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8		
2月	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	18		
3月	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	9		
計	174	2	6	1	1	4	0	1	1	1	0	0	0	39	0	229		

1-3 障害支援区分認定調査 実績

認定調査	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	6	7	0	2	2	3	4	2	2	5	41

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
計画(者)	8	9	12	7	1	14	8	11	7	7	10	5	99	170
計画(児)	16	7	7	1	4	5	8	1	9	7	2	4	71	
モニタリング(者)	6	3	4	8	4	6	3	6	6	5	5	11	67	92
モニタリング(児)	0	1	4	0	1	8	0	1	2	2	1	5	25	

2 運営管理

2-1 職員状況

	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1～2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		退職	異動 出	異動 入	採用	
総 数	3 (1)					3 (1)
管理者（兼務）	1					1
相談支援専門員	2 (1)			2 (1)		2 (1)

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

2-2 職員研修の状況

施設内					
月 日		研修名			人数
4/7		テクニカルスキル研修			1
1/26		メンタルヘルス研修			
施設外					
4/25	就労選択支援研修	1	1/15・ 2/26. 27	相談従事者現任研修	1
7/26	障害者年金研修	1	1/31	多様化することどもの世界の理解 と対応について	1
12/9	印旛山武地域難病相談支援センター 研修会 2025	1	2/20	医ケアコーディネーター研修	1

2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会 議 名	開 催 数	会 議 名	開 催 数
アシスト・かけはし会議	月 2 回	佐倉市委託相談支援事業所連絡会	月 1 回
アシスト内事例検討会	月 1 回	佐倉市相談支援事業所間事例検討会	月 1 回
アシスト主催合同事例検討会	隔 月	児童通所支援事業所連絡会	年 6 回
よもぎの園会議	月 1 回	医ケア児者の災害対策検討会	随時

2-4 実習生受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数

ワークショップかぶらぎ

フレックスワークコース／ライフステップコース

（就労継続支援B型）

（自立訓練（生活訓練））

概況

当年度のスローガンは「晴れ晴れと輝く笑顔と慈愛の心」（※カブの花言葉が「晴れ晴れ・慈愛」であることから）であった。異動で若い職員や精神関連の経験年数が少ない職員が増えたことで、基本に戻って精神関連についての知識を得ることを意識した1年であった。またジョーの家だけでなく宮前の家の運営が開始され、宿直で職員が関わることになり、グループホームの事業に関しても理解を深め協力体制がとれるようになることにも注力した。

中期経営計画

（1）数値目標【稼働率】

フレックスワークコース（就労継続支援B型）目標稼働率 平均稼働 85.0%⇒実績 74.1%

ライフステップコース（自立訓練（生活訓練））目標稼働率 平均稼働 110.0%⇒実績 69.2%

合算 目標稼働率 平均稼働 90.0%⇒実績 74.3%

平均工賃月額 実績 27,284 円（前年度+1,453 円）

（2）戦略目標

○収益の増加

今年度の目標平均稼働率は達成できなかったが、B型の稼働自体は微増している。コンスタントに生活訓練の利用者確保ができず、目標を達成できなかった。

○職員の能力向上、人材育成

IMR（疾病自己管理とリカバリー）講座実施の職員育成は1名の職員が2年間通して参加し達成できた。精神疾患等の研修は、経験年数の浅い職員を中心に派遣し、伝達することで理解に繋がった。

○作業売り上げの増加

外部の仕事発掘に関しては、アクションプランに沿って検討を行った。残念ながら新たな仕事の発掘はできなかったが、職員の意識づけになった。パントリーやはちす苑清掃については定期での振り返りを通し、継続できる状況を作った。結果、平均工賃月額が増額となった。

○新規利用者確保、利用者満足度向上

ヘルスケア、パソコンプログラムはアクションプランに沿って振り返りを実施した。ヘルスケアに関しては、順天堂大学の学生の協力があつた。ボランティアで来ていた学生が3月で就職のため終了となったが、体の動かし方やプログラム内容の提案等もあり、利用者にもメリットが多かった。

○事業所の価値、地域連携

車両貸し出しの城の辺地区社協が、カフェを定期的に利用されている。地域貢献から交流に発展しており、利用者も回を重ねるごとに対応する力がついてきている。パントリーと併せて、事業所と地域を繋ぐパイプとなっている。パントリーに関しては佐倉市あつたか食堂ネットワークの定例会や交流会に利用者と職員の参加が継続している。利用者が自分の言葉で伝えることは、何よりも障害の理解に繋がっていると感じている。

○災害時の事業継続

計画に基づき年1回の研修・訓練を実施した。

○感染対策

計画に基づき年2回の研修・訓練を実施した。カフェ業務には利用者が関わるため、利用者への意識づけも行った。

○5S活動

職員室の収納、作業場の椅子、カフェの文具入れの整理を実施した。

○新興感染症についての協議

新たな感染症の発症に対応するために、協力医療機関である佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

（所長 近藤 美貴）

1 施設利用状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

1－1 利用状況

① 就労継続支援B型

【定員24名】

	延べ年間通所（訪問）利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6456	9327	4841	17.6	75.0%	7	8

② 自立訓練（生活訓練）

【定員6名】

	延べ年間通所（訪問）利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1614	2910	1136	4.2	70.4%	10	7

1－2 入・退所状況

① 就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	7	0	0	5	2	0	0	0
退所者と退所事由	8	0	0	7	0	0	1	0

③ 自立訓練（生活訓練）

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	10	0	0	9	1	0	0	0
退所者と退所事由	7	0	0	6	1	0	0	0

1－3 出身地別利用状況

① 就労継続支援B型

	佐倉市	四街道市	富里市	酒々井町	成田市	八街市	合計
男	12	0	0	2	1	0	15
女	17	0	0	1	1	0	19
計	29	0	0	3	2	0	34

② 自立訓練（生活訓練）

	佐倉市	四街道市	富里市	酒々井町	成田市	八街市	合計
男	3	0	0	0	0	0	3
女	4	0	0	1	0	1	6
計	7	0	0	1	0	1	9

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2025. 4. 1 現在）

① 就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	34	0	0	10	8	12	4	48.2	74	32
%	100	0	0%	29.4%	23.5%	35.2%	11.7%			
男	16	0	0	4	3	6	3	50.2	74	32
女	18	0	0	6	5	6	1	46.1	65	33

② 自立訓練(生活訓練)

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	9	0	0	3	3	2	1	46.1	67	34
%	100	0	0%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%			
男	3	0	0	1	0	1	1	52.3	67	38
女	6	0	0	2	3	1	0	43.0	51	34

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

① 就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	34	5	15	3	11
%	100	14.7%	44.1%	8.8%	32.3%
男	16	2	8	0	6
女	18	3	7	3	5

② 自立訓練(生活訓練)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	9	0	3	2	4
%	100	0%	33.3%	22.2%	44.4%
男	3	0	0	2	1
女	6	0	3	0	3

2-3 就労経験

① 就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	34	30	4
%	100%	88.2%	11.7%
男	16	13	3
女	18	17	1

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	9	9	0
%	100%	100%	0%
男	3	3	0
女	6	6	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	34	0	0	0	34
%	100%	0%	0%	0%	100%
男	16	0	0	0	16
女	18	0	0	0	18

②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	9	0	0	0	9
%	100%	0%	0%	0%	100%
男	3	0	0	0	3
女	6	0	0	0	6

3-2 知的障害

①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	34	0	0	0	1	1	33
%	100	0	0	0	2.9%	2.9%	97.0%
男	16	0	0	0	1	1	16
女	18	0	0	0	0	0	18

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	9	0	0	0	1	1	8
%	100	0	0	0	11.1%	11.1%	88.8%
男	3	0	0	0	0	0	0
女	6	0	0	0	1	1	1

4 援助サービスの実施状況

作業	○ミーティング（全体ミーティング月2回、部門ミーティング月1回） ○セットアップ部 ・ビニールシート折り ・紙製箱等の検品、組み入れ ・中古本の検品 ○クリーン&メンテナンス部 ・館内清掃 ・施設外就労 ・スタートクリーン ○総務部 ・納品請求書の発行 ・フェイスブック管理 ○プリント部 ・名刺作成 ・封筒作成 ・各種シール作成 ・各種チケット作成 ・イベントのぼり作成 ○カフェ ・パントリー業務 ・印刷物の丁合、封入 ・枕カバー検品、セット ・値札剥がし、書き込み確認 ・館内環境の美化、整備 ・高齢者施設の清掃 ・清掃業務の入門 ・時給換算表の入力 ・共同受注サイトチェック ・ポスターチラシ作成 ・イベントプログラム作成 ・冊子、報告書、議案書の作成 ・イベント横断幕作成 ・食材管理、受け渡し
プログラム	○疾病管理とリカバリー【IMR】（月2回） ○ライフステップミーティング（月1回） ○茶話会（月2回） ○ピアネットワークプログラム【PNP】（随時開催） ○調理会（月1回） ○ヘルスケア（月2回） ○パソコン ○ビジネスマナー
カフェ活動	○ミーティング（月2回） ○飲食メニューの提供、考案 ○カフェ環境整備、月末事務
送迎	○「JR佐倉駅、京成佐倉駅、京成酒々井駅、和田方面」、「京成志津駅、京成臼井駅」の2路線で送迎。 ○時間帯は朝と夕方のほか昼の時間帯に要望があった時に運行する「デマンド便」を実施。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2025. 4. 1			2025. 4. 2～2026. 3. 30				2026. 3. 31		
	継続	異動 入	採用	退職	異動 出	異動 入	採用	退職	異動 出	継続
総 数	10 (4)									11 (4)
管理者	1 兼									1
主任	1									1
生活支援員	4	1			1	1		1		5
職業指導員	4 (4)		2 (2)						1 (1)	1 (1)
目標工賃達成指導員	1									3 (3)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/1～4	新人研修	1	5/8、23	感染症予防～その他の感染症～	7
6/14、20	精神障がい概要	7	9/13	療育手帳について	6
11/6	法人権利擁護研修	1	2/14	障害者虐待防止の理解と対応	8
2/26	佐倉市虐待発見チェックリスト				
施設外					
6/26	千葉県総合救急災害医療センター	2	7/3	地域意見交換会（就労選択支援）	1
8/12	印旛圏域における精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業検討会	1	9/3～4	知的障害・発達障害のある人への「対話」を通じた就労支援	4
9/6～7	社会福祉士実習指導者講習	1	9/29、2/16	サービス管理責任者更新研修	2
12/13	VR で理解する発達障害	7	2/2	知って得するドクターの話（精神科）	1
3/14	基礎からわかる発達障害	1			

5－3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数
6/3～12	聖徳大学	社会福祉士	1
6/24～28	和洋女子大学	〃	1
7/8～29	聖徳大学	〃	1
8/5～9/6	和洋女子大学	〃	1
9/16～24	城西国際大学	〃	1
10/1～10	日本社会事業大学通信課程	〃	1
10/16～18	二葉看護	看護師	1
10/22～24	二葉看護	〃	1
12/2～20	大原医療秘書福祉保育専門学校（通信課程）	社会福祉士	1
2/3～13	江戸川学園おおたかの森専門学校	精神保健福祉士	1
3/3～18	大原医療秘書福祉保育専門学校（通信課程）	社会福祉士	1

5－4 行事実施状況（2024. 4. 1～2025. 3. 31）

月 日	行 事 内 容
5月6日	皐月会
8月12日	納涼会
10月7日	避難訓練
10月11日	第三者委員相談会（利用者）
11月9日	〃（家族）
12月日	納会
3月14日	避難訓練
31日	慰労会

概況 【ジョーの家】

当年度のスローガンは「地域で生きること～生活力を高める～」であった。

大きな出来事としては、住居追加し新たに「宮前の家」が11月に運営を開始した。入居者は8名がよもぎの園へ通所、1名がワークショップかぶらぎに通所している。地域生活を送る利用者が親亡き後を送る生活の場ができたことは、本人や家族にとって大きな安心材料となった。

中期経営計画

(1) 数値目標

稼働率 目標 99.5%⇒実績 90.9%

(2) 戦略目標

○事業継続の検討

11月に宮前の家が開所し、1名が移行した。空床については、ワークショップかぶらぎの利用者を対象に見学を行っているが、利用には至っていない。当事業所については移転を視野に入れ検討を行ったが、バックアップ施設付近の土地探しについては難航している。

「地域の社会資源としての202号室の活用」については当年度の利用は無かった。

○業務の見直し

宮前を家の業務の参考とするため、昨年度に引き続き、山王の家の業務を確認する機会を設け、6月に実施した。また9月には避難訓練を見学し、これをもって一通りの業務が確認でき、終了とした。

連絡会への参加については、佐倉市グループホーム等連絡会及び印旛圏域グループホーム等連絡協議会へ参加した。世話人が外部の研修に参加し、業務の参考とすることができた。

○専門性の向上

法定研修以外にも世話人会議内でミニ研修を実施した。今年度は精神障害をテーマに理解を深めた。また研修を受講するのみではなく、日々の疑問等を話し合うことで、障害や本人を理解することへつながるように働きかけた。印旛圏域障害者グループホーム等連絡協議会への参加も増やし情報収集に努めた。

○災害時の事業継続

炊き出し訓練として、防災食を食べる体験を行ったが、慣れない食事と状況に戸惑いを隠せない利用者もいた。繰り返し訓練を重ねることで、本人も徐々に受け入れることができると想定し、継続して働きかけを実施したい。

○感染対策

計画に基づき年2回の研修・訓練を実施した。

○5S活動

調味料等の保管場所について、一覧表を記入しやすい形に整備した。

○新興感染症についての協議

新たな感染症の発症に対応するために、協力医療機関である佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

（会計責任者 近藤 美貴）

概況 【宮前の家】

当年度のスローガンは「**地域で生きること～生活力を高める～**」であった。

11月にジョーの家の住居追加として10名定員の「宮前の家」を開所。よもぎの園とワークショップかぶらぎを利用されている方が入居されている。

中期経営計画

(1) 数値目標

稼働率 目標 99.5%⇒実績 79.8%

(2) 戦略目標

○事業継続の検討

令和5年4月（2023）に佐倉圏域グループホーム創設プロジェクト発足。土地探しから開始し令和6年度中に土地が見つかり令和7年度3月より建築開始。令和7年11月に開所。

令和8年3月末時点で入居者9名 定員割れの状態。満床を目指し入居者募集の継続対応を実施。

○業務の見直し

マニュアルを作成し業務を進めながら追加、改善等の更新を続けている。

2事業所から職員が業務に入っているため、年度末に合同職員会議を開催し、情報共有や支援課題についての議論をおこなった。

世話人会議は人員が定着した3月より実施。情報共有、業務の統一、悩みや不安の共有、解消に向けての話し合いをおこなった。

○専門性の向上

オープン前の期間を利用して宮前の家職員研修を実施（対象：生活支援員、世話人）。

○災害時の事業継続

事業継続計画書に基づく訓練を実施。本年度は11月開所のため3月に1回実施。

○感染対策

開所前に世話人・生活支援員を対象として研修・訓練を実施。

○5S活動

業務改善の取り組みとして「ムダ抽出・対策シート」を活用し毎月会議で課題の見える化と対策の協議を実施。

○新興感染症についての協議

新たな感染症の発症に対応するために、協力医療機関である佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

（会計責任者 戸室 輝大）

1 利用状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

1－1 利用状況

【ジョーの家】

定員 4名

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1460	1339	1328	3.62	90.9	0	1

【宮前の家】

定員 10名

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1510	1256	1206	7.92	79.8	9	0

【合 算】

定員 計 14名

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	2970	2849	2534	4.91	85.3	9	1

1－2 入・退所状況

【ジョーの家】

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	1	0	0	0

【宮前の家】

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	9	0	0	6	3	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

【合 算】

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	9	0	0	6	3	0	0	0
退所者と退所事由	1	0	0	0	1	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

【ジョーの家】

出身地	男	女	合計
佐倉市	2	2	4

【宮前の家】

出身地	男	女	合計
佐倉市	4	4	8
千葉市	1		1

※1名ジョーの家と重複あり

【合 算】

出身地	男	女	合計
佐倉市	6	6	12
千葉市	1		1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2025. 4. 1 現在）

【ジョーの家】

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	2	1	56.0	67.0	46
%	100	0	25.0	50.0	25.0			
男	2	0	0	1	1	61.5	67.0	56
女	2	0	1	1	0	50.5	55.0	46

【宮前の家】

※1名ジョーの家と重複あり

	総数	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	9	1	2	0	4	2	50.0	67	21
%	100	11.1	22.2	0	44.4	22.2			
男	5	1	1	0	2	1	47.4	67	21
女	4	0	1	0	2	1	53.2	61	39

【合 算】

	総数	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	12	1	2	1	6	2	50.5	67	21
%	100	8.3	16.6	8.3	49.9	16.6			
男	6	1	1	0	3	1	48.8	67	21
女	6	0	1	1	3	1	52.3	61	39

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

【ジョーの家】

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	4	0	2	0	2
%	100	0	50.0	0	50.0
男	2	0	1	0	1
女	2	0	1	0	1

【宮前の家】

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	9	0	1	0	8
%	100	0	11.1	0	88.8
男	5	0	1	0	4
女	4	0	0	0	4

※1 名ジョーの家と重複あり

【合 算】

	総数	1 級	2 級	3 級	不所持
総数	12	0	2	0	10
%	100	0	0	0	0
男	6	0	1	0	5
女	6	0	1	0	5

2-3 療育手帳による障害程度

【ジョーの家】

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	1	1	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0
男	2	0	0	0	1	1
女	2	0	0	1	0	1

【宮前の家】

※1 名ジョーの家と重複あり

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	9	0	0	6	0	3
%	100	0	0	66.6	0	33.3
男	5	0	0	3	0	2
女	4	0	0	3	0	1

【合 算】

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	12	0	0	7	1	4
%	100	0	0	66.6	0	33.3
男	6	0	0	3	1	2
女	6	0	0	4	0	2

2－4 身体障害者手帳による障害程度

【ジョーの家】

	総数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	2	0	0	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	0	0	0	2

【宮前の家】 ※1 名ジョーの家と重複あり

	総数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	不所持
総数	9	2	0	0	0	0	0	7
%	100	22.2	0	0	0	0	0	77.7
男	5	1	0	0	0	0	0	4
女	4	1	0	0	0	0	0	3

【合 算】

	総数	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	不所持
総数	12	2	0	0	0	0	0	10
%	100	16.6	0	0	0	0	0	83.3
男	6	1	0	0	0	0	0	5
女	6	1	0	0	0	0	0	5

2－5 就学状況（最終学歴）

【ジョーの家】

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	1	0	2	0	0	1	0
%	100	25.0	0	50.0	0	0	25.0	0
男	2	0	0	2	0	0	0	0
女	2	1	0	0	0	0	1	0

【宮前の家】 ※1 名ジョーの家と重複あり

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	9	1	1	4	3	1	0	0
%	100	11.1	11.1	44.4	33.3	11.1	0	0
男	5	0	0	3	2	1	0	0
女	4	1	1	1	1	0	0	0

【合 算】

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	12	2	1	6	3	1	0	0
%	100	16.6	8.3	49.8	24.9	8.3	0	0
男	6	0	0	4	2	1	0	0
女	6	2	1	2	1	0	0	0

2-6 就労経験

【ジョーの家】

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	3	1
%	100	75.0	25.0
男	2	2	0
女	2	1	1

【宮前の家】 ※1 名ジョーの家と重複あり

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	9	6	3
%	100	66.6	33.3
男	5	3	2
女	4	3	1

【合 算】

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	12	8	4
%	100	66.4	33.3
男	6	4	2
女	6	4	2

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

【ジョーの家】

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	0	0	2

【宮前の家】 ※1名ジョーの家と重複あり

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	9	1	0	0	8
%	100	11.1	0	0	88.8
男	5	1	0	0	4
女	4	0	0	0	4

【合 算】

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	12	1	0	0	11
%	100	8.3	0	0	91.3
男	6	1	0	0	5
女	6	0	0	0	6

3-2 知的障害

【ジョーの家】

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	1	1	2	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0	50.0
男	2	0	0	0	1	1	1
女	2	0	0	1	0	1	1

【宮前の家】 ※1名ジョーの家と重複あり

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	9	0	0	6	0	6	3
%	100	0	0	66.6	0	66.6	33.3
男	5	0	0	3	0	3	2
女	4	0	0	3	0	3	1

【合 算】

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	12	0	0	7	1	8	4
%	100	0	0	58.1	8.3	66.4	33.2
男	6	0	0	3	1	3	2
女	6	0	0	4	0	3	2

3-3 障害の状況（総括）

【ジョーの家】

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0
%	100	0	0	0	0	0	50.0	50.0	0	0
男	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0
女	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

【宮前の家】

※1名ジョーの家と重複あり

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	9	1	1	0	0	0	6	1	0	0
%	100	11.1	11.1	0	0	0	66.6	11.1	0	0
男	5	1	0	0	0	0	3	1	0	0
女	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0

【合 算】

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	12	1	1	0	0	0	8	2	0	0
%	100	8.3	8.3	0	0	0	66.4	16.6	0	0
男	6	1	0	0	0	0	4	1	0	0
女	6	0	1	0	0	0	4	1	0	0

4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝・夕の食事を提供。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し食事を提供。 誕生日などはその利用者の希望するメニューに変更し提供。
体調管理	健康状態の把握、緊急時の通院、不調時の静養や通院の促しを行う。

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名		2025. 4. 1 現員数			2025. 4. 2～2026. 3. 30				2026. 3. 31 現員数		
		継続	異動 入	採用	退職	異動 入	異動 出	採用	退職	異動 出	継続
総 数		5(3)									20(11)
	管理者	1				1 兼	1				1 兼
	サービス管理 責任者	1 兼				1 兼	1				1 兼
ジョーの家	世話人	6(4)				1(1)	2				4(4)
	生活支援員 (兼務)	4(4)									4(4)
宮前 の家	世話人 生活支援員				3(3)	1(1) 8		8(8)	1(1)		7(7) 8

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

【ジョーの家】

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5/15	その他の感染症について	5	6/19	精神しょうがいの概要	6
7/17	精神しょうがいの基本的特性	5	9/12	BCP(事業継続計画)とは	6
11/14	支援者の虐待を防ぐ	6	12/19	災害用伝言ダイヤル 171 について	6
1/23	身体拘束廃止・虐待防止に関する指針について	5	1/26	福祉施設職員のためのメンタルヘルス研修	1
3/5	BCP(大規模災害対策)研修	1			
施設外					

6/16	職員体制と加算について	2	925	知的障害者に対する関わりについて	2
10/15	発災から 48 時間を利用者としてどう生き延びるか	1	11/19	指定障害福祉サービス事業所における指導、監査状況について	2
2/13	虐待防止と権利擁護の基礎を学ぶ	2			

【宮前の家】

新任研修		
月・日	研 修 名	人数
10/21	利用者の権利擁護と職員の職業倫理	
	食材のチェックと調理	
	施設におけるバイタルサインの基本と感染予防	
	施設内の物品確認と清掃	
10/22	視覚障害者援助について	
	食材のチェックと調理	
	利用者の生活支援について	
	施設内の物品確認と清掃	
	質問・意見交換	

5-3 行事実施状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

月	行 事 内 容
7 月 3 日	自衛消防訓練（ジ）
10 月 7 日	第三者委員懇談会（ジ）
10 月 11 日	落成式（宮）
10 月 17 日	BCP 訓練（ジ）
11 月 14 日	誕生会（ジ）
12 月 24 日	クリスマス会（ジ）
1 月 21 日	誕生会（ジ）
1 月 24 日	地域連携推進会議
2 月 8 日、14 日	調理会（宮）
2 月 19 日	感染訓練（ジ）
3 月 19 日	自衛消防訓練（ジ）

3 月 26 日	自衛消防訓練（宮）
3 月 29 日	花見（宮）
誕生祝（ジ）	入居者誕生月毎に実施（食事会）

※ジ…ジョーの家、宮…宮前の家

概況

当年度のスローガンは「様々なつながり・連携で地域生活を支える」であった。

近年、職員の入れ替えが多く、当年度は昨年度に引き続き人材育成に主眼を置いた事業運営を行った。基礎は獲得できているため、経験を積み様々なケースに対応ができる職員となって欲しいと感じている。

中期経営計画

(1) 数値目標

指定特定相談支援（者）	目標 713 件/年⇒実績	504 件/年
指定障害児相談支援	目標 242 件/年⇒実績	175 件/年
障害支援区分認定調査	目標 120 件/年⇒実績	114 件/年
提供時モニタリング加算	目標 150 件/年⇒実績	217 件/年
集中支援加算	目標 58 件/年⇒実績	35 件/年

(2) 戦略目標

○人材育成

異動職員 2 名は、相談従事者初任者研修へ派遣した。業務を行いつつ研修を受講し理解に繋がった。昨年度同様、会議内でもミニ研修を行った。経験年数の少ない職員には、外部での発表に慣れるため、ワークショップかぶらぎ家族会に向けて講義を行った。管理者は連続講座としてグループスーパービジョン研修に派遣した。また外部からの依頼でのパネリスト等も実施した。

○法人内事業所との連携

入職・異動職員を対象として、法人内の事業所の体験を実施した。業務として取り組んだことのない事業についての理解に繋がった。また法人内の委員会やワーキングチーム等へ積極的に参加することで、顔の見える関係づくりを意識した。

○地域との協働

定例で実施している合同事例検討会内で、意見交換をする時間が確保できている。また千葉県総合救急災害医療センターの見学を実施し、各関係機関とともに意見交換をする機会を持つことができた。

○災害時の事業継続

建物内での連携の必要性から、南部児童センター・南部地域福祉センター・南部包括とともに災害時に向けた準備を進めることとなった。次年度に継続して検討することとなっている。

○関係機関とのネットワークの構築

会議へ参加する職員に偏りがあるため、年度後半では主で参加している職員にプラスして派遣を行った。

○感染対策

計画に基づき年 2 回の研修・訓練を実施した。

○OS 活動

次年度からの実施に向け意識づけを図った。

○新興感染症についての協議

新たな感染症の発症に対応するために、協力医療機関である佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げ、会議を行った。

（部長 近藤 美貴）

1-1 業務内容

○基幹相談支援センター事業並びに業務

- ①総合的・専門的な相談支援の実施
- ②地域の相談支援体制の強化の取組
- ③地域移行・地域定着の促進の取組
- ④権利擁護・虐待の防止

○生活全般の相談

○サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助

○情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等

○サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催

○利用者負担の上限額管理

○社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等

○社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助 人間関係、健康管理、金銭管理等

○ピアカウンセリング

○専門機関の紹介

○総合支援協議会の運営

○相談員との連携に関すること

《社会資源の改善・開発に向けた調整》

- ①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場
- ②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。
- ③主な機能
 - 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保
 - 困難事例への対応の在り方に関する競技・調整
 - 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議
 - 地域の社会資源の開発、改善
 - 権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営
 - その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）
 - 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応
 - 相談支援事業者間の連携

1-2 障害者相談支援事業 (計画相談は含まない)

(1) 相談者実人数

		実人員	身体 障害者	重症心身 障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳 機能障害	その他
4月	障害『者』	30	3	0	4	15	0	0	8
	障害『児』	9	0	0	0	0	0	0	9
5月	障害『者』	39	3	0	3	30	3	1	0
	障害『児』	7	0	0	0	1	0	1	5
6月	障害『者』	25	3	0	1	19	2	1	1
	障害『児』	6	0	0	0	1	0	0	5
7月	障害『者』	26	3	0	1	18	0	1	3
	障害『児』	3	0	0	0	0	0	0	3
8月	障害『者』	21	2	0	1	15	2	0	1
	障害『児』	1	0	0	0	0	1	0	0
9月	障害『者』	21	0	0	1	19	1	0	0
	障害『児』	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	障害『者』	9	0	0	0	8	0	0	1
	障害『児』	4	0	0	2	1	1	0	0
11月	障害『者』	11	2	0	1	6	0	0	2
	障害『児』	1	0	0	0	0	1	0	0
12月	障害『者』	14	2	0	1	8	1	0	2
	障害『児』	2	0	0	1	0	0	0	1
1月	障害『者』	15	2	0	1	9	0	0	3
	障害『児』	3	0	0	1	0	1	0	1
2月	障害『者』	19	3	0	2	8	2	1	3
	障害『児』	4	0	0	1	0	0	0	3
3月	障害『者』	22	4	0	4	13	0	0	1
	障害『児』	9	0	0	1	0	0	0	8
R7年度	障害『者』	252	27	0	20	168	11	4	25
	障害『児』	50	0	0	6	3	4	1	36
	計	302	27	0	26	171	15	5	61

(2) 支援方法件数

		訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
4月	件数	9	8	8	45	0	0	39	1	110
5月	件数	13	8	3	46	0	0	32	0	102
6月	件数	4	0	0	44	1	0	15	1	65
7月	件数	8	3	0	36	0	0	28	2	77
8月	件数	7	2	4	24	1	1	15	0	54
9月	件数	3	1	3	27	0	0	13	0	47
10月	件数	2	2	0	14	0	0	6	0	24
11月	件数	5	0	2	9	0	0	17	1	34
12月	件数	5	2	3	13	0	0	9	0	32
1月	件数	0	4	1	25	0	0	13	0	43
2月	件数	3	6	1	20	0	0	12	0	42
3月	件数	11	5	3	28	0	0	22	0	69
計	件数	70	41	28	331	2	1	221	5	699

(3) 支援内容数（重複あり）

		福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	住宅入居等支援事業（居住サポート事	その他	計
4月	件数	84	26	28	5	12	29	4	17	5	0	0	0	9	219
	うちピアカウンセラー														0
5月	件数	63	13	36	11	8	10	4	8	8	6	0	0	20	187
	うちピアカウンセラー														0
6月	件数	31	1	27	5	5	3	0	3	10	5	0	0	27	117
	うちピアカウンセラー														0
7月	件数	44	9	18	21	4	25	9	2	6	1	0	0	25	164
	うちピアカウンセラー														0
8月	件数	29	10	12	5	6	11	4	1	4	3	0	0	21	106
	うちピアカウンセラー														0
9月	件数	26	1	15	8	3	9	3	0	8	10	0	0	9	92
	うちピアカウンセラー														0
10月	件数	8	5	6	8	2	3	0	1	4	4	0	0	0	41
	うちピアカウンセラー														0
11月	件数	21	11	6	5	0	12	2	8	6	5	0	0	6	82
	うちピアカウンセラー														0
12月	件数	15	9	9	7	0	10	0	6	10	4	0	5	5	80
	うちピアカウンセラー														0
1月	件数	18	7	4	10	7	7	1	0	7	4	1	0	7	73
	うちピアカウンセラー														0
2月	件数	30	12	12	7	7	8	0	5	2	2	0	0	7	92
	うちピアカウンセラー														0
3月	件数	52	6	6	5	5	6	1	6	3	2	0	0	8	100
	うちピアカウンセラー														0
計	件数														0
	うちピアカウンセラー														0

1-3 障害支援区分認定調査 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認定調査数	14	9	10	6	9	8	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査数	13	9	11	5	11	9	114

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
計画（者）	23	21	25	22	29	15	
計画（児）	17	8	8	11	8	6	
モニタリング（者）	38	17	46	17	27	8	
モニタリング（児）	8	2	10	7	7	6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画（者）	15	36	19	21	17	24	267
計画（児）	6	9	4	9	9	7	102
モニタリング（者）	8	13	17	17	17	12	237
モニタリング（児）	6	6	5	5	1	10	73

2 運営管理

2-1 職員状況

	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1~2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	5	1	4	2	2	5
管理者	1 兼					1 兼
相談支援専門員	3		2			5
相談支援員	1	1	1	1	1	
相談員	1		1	1	1	

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

2-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5/19	精神科の入院形態	4	6/16	精神しょうがいの概要	3
6/18	感染対策研修	1	7/22	精神しょうがいの基本的特性	3
8/18	精神しょうがいの支援	3	9/16	BCP（事業継続計画）とは	6
12/15	BCP 事業継続計画について	5	1/19	身体拘束について	5
2/2	感染対策訓練「ガウン・手袋の着脱」	5	2/16	障がい者虐待防止の理解と対応	5
3/3	BCP 研修	1			
施設外					
4/19	管理者のグループスーパービジョン研修 5/17、6/14、7/19、9/13、10/13、11/15、12/20、1/24、2/21	1	4/25	就労選択支援研修	
	社会福祉士実習指導者研修 ① 5/15～16 ② 3/26～27	2	6/26	千葉県総合救急災害医療センター見学・研修会	4
7/10	相談支援従事者初任者研修 ① 8/18～19、11/25～26 ② 8/20～21、11/27～28	2	8/25	千葉県基幹相談支援センター連絡会専門研修	1
9/2、10/2	相談従事者初任者インターバル研修	2	10/8	地域における障害児者の相談支援体制の整備の進捗に係る研修会	1
12/9	印旛山武地域難病相談支援センター研修会	1	12/12	いんば園域福祉関係者合同研修会	1
2/4	山武圏域自立支援協議会 公開研修 障害福祉サービスを取りまく国の動向を読み込む	2	2/13	千葉県基幹相談支援センター連絡会専門研修	2
2/26～27	相談従事者現任研修	1	3/6	佐倉市主催障害者虐待防止研修	1
2/18、3/10	千葉県相談支援従事者専門コース別研修「精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ」	1	3/11	精神部会研修会「地域移行をはじめよう！」	3

2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト・かけがし会議 アシスト内事例検討会 アシスト主催合同事例検討会	第1・第3水曜日 第3水曜日 奇数月	佐倉市障害者総合支援協議会 生活支援部会 精神部会 児童通所支援事業所連絡会 佐倉市障害福祉関係機関連絡会 佐倉市委託相談支援事業所連絡会 佐倉市相談支援事業所間事例検討会 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築 会議（実務者会議） 基幹相談支援事業所連絡会 北総ブロック 児童虐待ネットワーク会議 成年後見支援センター地域連携ネットワーク協 議会	随 時 随 時 年6回 年2回 年6回 年8回 年2回 年2回 年1回 年2回 年2回

2-4 実習生受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数
5/26～28 6/9～11、23～25	秀明大学	看護師	3
7/30～8/8 11/25～12/4	おおたかの森専門学校	社会福祉士	2
10/6～16	日本社会事業大学（通信）	精神保健福祉士	1
2/16～26	東京福祉専門学校	社会福祉士	1

V. 高齡者福祉事業部

2025（令和7）年度 事業報告書
高齢者福祉事業部
はちす苑

概況

特養・ショート職員状況は、中途採用の職員が入職してきたことで年度後半は充足した。

人材育成に於いて、当年度は新たな介護支援専門員合格者はいなかったが、はちす苑内部介護支援専門員が独り立ちしており、ご利用者のケアプランの充実が図られた。

新たな感染症の発症に対応するために、愛光と協力医療機関佐倉中央病院との間で「新興感染症についての協議会」を立ち上げて、会議を行った。発症時対応のフローチャートを作成中である。

大規模災害の危機が迫っているといわれているなか、大規模地震発生の際の対応として、行動できる職員を育成するために災害発生時より考えて行動する防災訓練を行ってきた。これを継続して全職員へ浸透させたい。同時に事業所毎に災害発生初期対応の分かりやすい行動フローチャートの作成に着手した。

26 年目の大規模修繕を行った。床や、壁の張替え工事で施設内の雰囲気も明るいものになった。

法人の 5S 活動に特養課長が参加して、その活動内容をはちす苑に紹介、意識付けを行った。

【数値目標】 参考 当年度の介護保険（障害含）収入 472,750,681 円（昨年度 471,969,467 円）

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率 98%	} 合算 97%	100.2%	} 合算 98.8%
	95%		89.9%	
	月平均	収入 2,750 万円以上		2,842 万円
配食サービス	月平均収入	23 万円		38 万円
	食数換算	233 食		303 食
デイサービス	稼働率	82%		73%
	1 日平均利用者数	29.0 人		25.6 人
	月平均	収入 750 万以上		629 万円
ホームヘルプ	月平均契約者数	45 件		48 件
	月平均	収入 125 万円		118 万円
ケアプラン	月平均実績件数			
	要支援 90・介護 156 件（計 246 件）			238 件
	月平均	収入 270 万円以上		328 万円

●特別養護老ホーム 短期入所生活介護（介護予防） 共生型短期入所

○安定した経営基盤の構築

年間入院日数が 351 日となっており、施設内で治療を行えるところは嘱託医と連携して、入院に至らずに済んだケースもあり、目標の 400 人以下を達成できた。

協力医療機関佐倉中央病院との連携会議をひと月に 1 回継続して行ってきた。

○労働時間の改善

残業については、人手不足と職員の急な欠勤が発生した時に残業が出ることがあった。年間目標の月平均値が 70 時間のところ平均 71 時間となった。年休取得については全職員が 5 日以上取得できた。

○計画的な人材育成

次世代リーダーの育成を目的とした「コ・ヒューマントレーニング」は、特養から 1 名が受講した。研修で自らを知り、その強みを仕事に活かすことが実践に繋がることを期待したい。

○サービスの質の向上 理念の継承

特養にて、昨年度から継続してはちす苑改革 WT を行っている。入浴・排泄・食事について実施を行った。目的の確認とマニュアルの見直しなど多くの課題も見つかり今後の介護の質の向上へとつなげていきたい。

○施設理念の継承

当年度の看取りケアは、11 名の方をお看取りした。最終段階では皆様、思い思いにお過ごしになられ安らかにご逝去されました。

実習生の受け入れを行うことが出来た。職員も実習生に指導する立場を久々に感じ、更に引き締まった心持ちで業務にあたっていけるという声も聞かれた。

○相談員による営業まわり実施

居宅サービス連携会議への参加を定期的に行えた。またレゾナンスカフェの担当となり地域の方々への繋がりを作ることが出来た。他事業所への営業は月 1 回は行えなかったが時間を作ったの挨拶まわりを行うことが出来た。

●通所介護・通所介護相当サービス・共生型生活介護

○クラブ活動（個別支援）の円滑な実践

今年度は「内容の集約と円滑な実践」を目標に、新たに総括を配置した。又、昨年度の振り返りから職員の提案で 6 クラブから 7 クラブに編制。増やしたクラブは「おひさまクラブ」。思うように活動できない方には、自然を感じてもらいたいと日光浴の機会を提供している。新規利用者も見学の時点で、園芸クラブがあるので当事業所を選んだという方がいる。期待に応えながら、より個別支援につなげていきたい。

○新規ボランティアを積極的に受け入れる

新規ボランティアを 3 組受け入れることを目標にし、達成した。又地域の活動に千田ホールを貸し出すことにより共同で活動することも増えている。今後は、イベント時だけではなく、通常のレクの時間帯にも共同で活動できるとさらに地域交流の幅が広がると考える。

○千葉県福祉サービス第三者評価受審

総合コメントでは、多様な活動の提供や利用者が自由に過ごせる環境設定、食事を楽しめる雰囲気づくりなどの取り組みが高く評価された。一方で、調査テーマを変えながら毎年アンケートを実施し満足度の向上や活動の充実化につなげるようにとのアドバイスを頂けた。

●訪問介護・訪問介護相当サービス

数値目標の利用者数はクリアしているが、提供できる時間数が限られている為、収入目標値には届かなかった。圏域の貢献度は、南部・佐倉圏域合算で 75%と、単年の目標に沿って推移している。内部ケアマネジャー担当ケース数も 40%を占め連携率は過去最高である。微力ながら地域を支える他事業所と連携し、利用者に寄り添う事業所として貢献し続けていきたい。

●居宅介護支援事業所

内部連携においては、通所介護が平均 61%と、高い水準を保っている。担当件数においては、職員の変動があるにもかかわらず数値目標達成を目指しながら、ともいき事業にも積極的に参加した。インフォーマル事業を組み込むプランニングは根付いており、コーディネーターを活用しながら的確な資源を提供している。主任ケアマネジャーが多数在籍している事業所としてこれからも地域に貢献できたらと考える。

●配食サービス（佐倉市委託事業）

平成 21 より佐倉市からの委託事業であった「佐倉市高齢者等ふれあい配食サービス事業」を配送員の担い手不足等の事情により 3 月 31 日付けで受託終了とした。

配食サービスは、地域の独居の高齢者に、夕食のお弁当を届ける傍ら、その方々の安否を確認するという目的の事業である。はちす苑は、佐倉市の南部の地域を担当していた。地域柄、昔からの大きな日本家屋におひとりで暮らしている方もいらっしゃる。以前は大勢の家族に囲まれて暮らしていたであろうと想像して、寂しそうとも感じるが、同時に逞しく生活されている様子から力強さも伺える方々である。いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けたいという希望を少しでも長く支えるための大切な事業であり、福祉に関わる方には、一度で良いので是非配送を体験してほしいと思っていた事業である。今後は、配食専門の業者に引き継がれて、お弁当の配達と安否確認は変わらず継続されると伺っている。

（苑長 安部 一義）

1 事業の実績(2025.4.1～2026.3.31)

1-1 特別養護老人ホームはちす苑(介護老人福祉施設)

【定員 64 名】

	延べ年間施設利用者			1 日平均		延べ年間空所				入 退 所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	23,360	23,396	23,396	64.0	100.2%	361	0	351	10	12	11
(前年)	20,610	20,610	20,473	56.1	99.3%	300	23	355	4	27	16

※定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

※ 入院日と退院日は含めていない。

1-2 ショートステイはちす苑(短期入所生活介護事業)【定員 10 名】

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	3,650	3,280	8.9	89.9%
(前年)	6,400	5,325	14.6	83.2%

1-2-1 特養 ショートステイ合算

【定員 74 名】

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	27,010	26,676	73.0	98.8%
(前年)	27,010	25,935	71.1	96.0%

1-3 デイサービスはちす苑(通所介護事業 基準該当生活介護事業)【定員 35 名】

	延べ年間通所利用者			1 日平均		利 用 登録者 (共生含)	共生型生活介護
	営業日	定 員	総 数	利用数	稼働率		延べ利用人数
(当年)	305	10,675	7,832	25.6	73.3	998	613
(前年)	308	10,780	8,313	26.9	77.0	990	644

1-4 ホームヘルプサービスはちす苑(訪問介護事業)

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		独自・緩和		自由		利 用 契約者	合計援助 時間数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	4,005	1,460	929.5	1,089	909	(独自) 1,242 (緩和) 252	(独自) 1,190.5 (緩和) 252			584	3,275.5
(前年)	4,370	1,446	935	1,400	1,117	(独自) 1,277 (緩和) 247	(独自) 1,277 (緩和) 247			600	3,576

1-5 ケアプランはちす苑（居宅介護支援事業）

月	月末 契約数	実績		月	月末 契約数	実績	
		要支援	要介護			要支援	要介護
4月	226	72	150	10月	244	84	160
5月	234	73	161	11月	247	85	162
6月	252	84	168	12月	238	78	160
7月	252	83	169	1月	235	77	158
8月	247	85	162	2月	227	62	165
9月	250	85	165	3月	212	58	154

2 運営管理

2-1 職員状況

職 名		2025. 4. 1	2025. 4. 1～2026. 3. 31				2026. 3. 31
		現員数	退職	異動出	異動入	採用	現員数
総 数		91 (46)	12 (9)	6 (1)	5 (0)	10 (6)	88 (42)
苑長（施設長）		1		1	1		1
総務課	（法人所属）事務員	1					1
	事務員	1 (1)					1 (1)
	運転手（介護補助）	1 (1)					1 (1)
	クリーンスタッフ	6 (6)				1 (1)	7 (7)
	管理宿直者	3 (3)					3 (3)
	配食サービス配達員	4 (4)	6 (6)			2 (2)	0 (0)
施設サービス課	課長	1		1	1		1
	主任ケアスタッフ	3		1	1		3
	ケアスタッフ	30 (9)	2	3 (1)	1	4 (0)	30 (8)
	生活相談員	1		1			0
	ケアマネジャー	1					1
	管理栄養士	1					1
	介護補助	1 (1)					1 (1)
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	管理者	1					1
	主任ケアマネジャー	2					2
	ケアマネジャー	2	1		1		2
	【ディサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	11 (8)	2 (2)			1 (3)	12 (9)
	生活相談員	1					1
	【ホームヘルプ】						
	居宅サービス課課長（サ提）	1					1
	主任ケアスタッフ（サ提）	1					1
	サービス提供責任者	1					1
	訪問介護員	1					1
	登録ヘルパー	8 (8)	1 (1)				7 (7)

健康管理室	医師	1 (1)					1 (1)
	アドバイザー	1 (1)					1 (1)
	主任看護師	1					1
	看護師	7 (4)					7 (4)
	機能訓練職	0			1		1
	マッサージ師	1					1

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。数字は総数で表示し、内パート職員の数（ ）内に再表示している。

2-2 職員研修・訓練など実施状況

法人研修		
日付	研修内容	参加人数
6/18	感染症対策研修	6
7/3	摂食嚥下研修	20
8/25	個人情報保護研修	8
11/6	コンプライアンス・権利擁護研修（虐待防止）	5
12/24	感染症対策研修	10
R8 1/26	メンタルヘルス研修	12

施設内研修		
日付	研修内容	参加人数
8/6	看取り研修	12
9/10	褥瘡ケア研修	9
R8 1/21	口腔ケア研修	15
R8 2/18	褥瘡ケア研修	13

外部研修		
日付	研修内容	参加人数
5/9	ヤングケアラーについて	4
6/18	生活困窮・障害者 事例検討会	1
10/10	特定事業所3施設合同事例検討会	4
11/22	認知症のある方の在宅支援について	1
12/10	虐待研修	1
2/1	在宅医療・介護連携推進事業における関係者情報交換会	1
2/24	メンタルヘルス対策及び労務管理講習会	2
2/27	千葉県高齢者虐待防止研修	2
3/11	特定事業所3施設合同事例検討会	3

訓練など		
日付	内容	参加人数
5/29	防災訓練	8
7/22	BCP 研修	3
10/20	夜間想定防災訓練	4
R8 3/3	BCP 研修	9
R8 3/19	防災訓練	8

3 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
虐待防止・身体拘束廃止委員会	4		1			1			1			1	
感染症対策・リスクマネジメント委員会	4			1			1			1			1
スキンケア委員会	4	1			1			1			1		
特養主任会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
入居判定会議	6	1		1		1		1		1		1	
デイサービス会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	5	1		1		1		1		1		1	
特養介護担当者会議	41	4	4	4	2	6	6	1	2	4	3	3	2
ケアプラン会議	52	4	5	4	4	5	4	5	4	5	4	4	4

4 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実 習 目 的	日数	件数	人数
※総数		0	0	0
成田国際福祉専門学校	介護福祉士実習	20	1	2

5 ボランティア活動

5-1 活動状況(年間実績)

活動内容			理 髪	施設環境 整備	清拭布・洗濯物 たたみ	生 活 介 助	作 業 補 助	行 事 協 力	傾 聴・朗 読等	手 工 芸 陶 芸 ク ラ ブ	音 楽	生 花・茶 道ク ラ ブ	公 演・発 表	そ の 他
4月	延人数	41	5											36
	人数	9	5											4
	回数	38	3											35
5月	延人数	23	3											20
	人数	7	3											4
	回数	22	2											20
6月	延人数	21	4											17
	人数	6	4											2
	回数	19	2											17
7月	延人数	38	4								7			27
	人数	12	4								7			1
	回数	30	2								1			27
8月	延人数	20	4											16
	人数	6	4											2
	回数	18	2											16
9月	延人数	53	4								43			6
	人数	49	4								43			2
	回数	13	2								5			6
10月	延人数	4	4											
	人数	4	4											
	回数	2	2											
11月	延人数	4	4											
	人数	4	4											
	回数	2	2											
12月	延人数	23	6	4			6				7			
	人数	21	6	2			6				7			
	回数	7	2	2			1				2			
1月	延人数	9	3	4							2			
	人数	7	3	2							2			
	回数	5	2	2							1			
2月	延人数	8	4	2							2			
	人数	8	4	2							2			
	回数	4	2	1							1			
3月	延人数	8	4	4										
	人数	6	4	2										
	回数	4	2	2										
合計	延人数	252												
	人数	139												
	回数	164												

5-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備		
理美容	5	髪人・ふわり
歌・演奏	53	清丸太鼓・さわやかシスターズ・マロンズ・マーブリング・おーいあそぼう会・グループひつじさん
車椅子清掃	2	
その他（誘導・散歩等）	2	

6 行事・活動等実施状況（2025. 4. 1～2026. 3. 31）

月	行 事 内 容
4 月	1 日 全体会議
5 月	8 日 入居者・職員 健康診断
	16 日 監事監査
	11 日 コミュニトレーニング
7 月	13 日 コミュニトレーニング
	（集団指導）8 日ホームヘルプ・12 日デイ・17 日特養、SS
	20 日 納涼祭
8 月	13 日 コミュニトレーニング
9 月	14 日 敬老会
10 月	2 日 入居者・職員 健康診断
	4 日 愛光秋祭り
	22 日、29 日 入居者インフルエンザワクチン接種
	31 日 愛光創立 70 周年記念式典・パーティー
12 月	21 日 入居者忘年会
R8 1 月	1 日 獅子舞・太鼓演奏鑑賞
3 月	8 日 いちご狩り外出
	26 日 灯台カフェ

概況

当年度のスローガンは前年度に引き続き、「その人らしい生活を地域で支える」とした。高齢者を地域全体で支える体制づくりを目的に、多様な関係機関との連携強化を図った。

（１）数値目標（目標値 → 実績）

市の委託事業については目標値を達成した。予防プラン件数については、3名欠員期間もあり年度当初の目標値には至らなかった。

介護予防教室（としとらん塾）	10回	→	10回
介護予防リーダー交流会	2回	→	2回
介護者教室	4回	→	4回
自立支援型個別ケア会議	年8件	→	8件
地域ケア圏域推進会議	年2回	→	2回
予防プラン件数	月70件	→	月49件

（２）戦略目標

○地域のニーズ把握と資源の発掘

地域ケア圏域推進会議を春路地区および根郷角栄団地の2地区で開催した。主に災害時の課題を起点とし、地域における見守り体制について検討を行った。これにより平時からのつながりづくりや、地域住民同士の支え合いの必要性が改めて共有された。

また、生活支援コーディネーターを中心に地域資源の把握とマッチングを推進した。近年、移動スーパーの取り組みが活発化され、今年は新たな事業者の参入も見られたことから、買い物支援が必要な高齢者への紹介を積極的に行った。ケアマネジャーからのマッチング依頼も増加しており、地域資源の活用の広がりがうかがえた。

さらに、地域ニーズの把握を目的として南部圏域住民を対象にアンケート調査を実施した。その結果、生活上の困りごとの上位には「通院」「買い物」「孤立・見守り」「認知症への対応」が挙げられ、移動手段や見守り体制の強化の必要性が明らかとなった。

○地域住民への情報提供・啓発活動

介護予防に関する出前講座を17回、認知症に関する講座を5回実施し、地域住民への知識の普及と啓発に努めた。これにより、介護予防や認知症に対する理解の促進とともに、早期相談につながる機会の創出を図った。また年4回「包括だより」を発行し、地域包括支援センターの役割や事業内容の周知、健康に関する情報発信を行った。

○関係機関とのネットワークの構築

高齢者支援を多角的に進めるため、関係機関との連携強化に努めた。民生委員とケアマネジャーの交流会を開催し33名が参加した。独居高齢者の事例を通じて、それぞれの役割や関わり方を再確認し相互理解の促進を図った。「南部エリアのつどい」においては、ケアマネジャーとの意見交換や勉強会を年4回実施し、さらに医療介護連携事業「さきいか」では事例検討会および交流会を開催し、支援の質の向上と多職種連携の強化を図った。

○法人内事業所との連携

アシストとは合同でのケース共有や事例検討を行い、障害福祉サービスから介護保険への移行ケースや多問題世帯への同行訪問を実施するなど、切れ目のない支援を行った。はちす苑とは困難ケースへの協働対応に加え、オレンジカフェでの連携やSalon deともいきへの参加を通じ関係強化を図った。地域福祉センターとは事業の紹介を相互に行い、包括が関わる利用者が福祉センターの事業に参加するケースも増加している。

本年度の取り組みを通じて、個別支援と地域課題の両面からアプローチし、高齢者を地域で支える体制を推進した。

（管理者 森 由美子）

1-1 業務内容

○センター業務
①総合相談支援業務
②権利擁護業務
③包括的・継続的ケアマネジメント業務
○在宅医療・介護連携推進事業
○生活支援体制整備事業
○認知症総合支援事業
○地域ケア会議推進事業
○介護予防ケアマネジメント（第一介護予防支援事業）
○一般介護予防事業

1-2 利用状況

（1）介護予防ケアマネジメント 予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営件数	48	54	48	48	44	44	48	44	42	44	61	62	587
委託件数	211	213	267	219	222	219	221	219	213	213	195	194	2606
合 計	259	267	315	267	266	263	269	263	255	257	256	256	3193

（2）総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実 数	延 数
相 談 件 数	804	4134

（3）方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平 日		土・祝日	総 数	%
	業 務 時 間 中	業 務 時 間 外			
来 所	240	0	2	242	30%
電 話	484	2	34	520	64.7%
そ の 他	33	3	6	42	5.3%
合 計	757	5	42	804	100.0

(4) 内容別相談件数 (重複あり)

内 容	件 数	内 容	件 数
1. ねたきり高齢者	0	11. 権利擁護・成年後見制度	9
2. ひとり暮らし高齢者	209	12. 消費者被害	2
3. 認知症高齢者	159	13. 高齢者の虐待(疑い含む)	16
4. 介護予防	87	14. 施設入所	37
5. 介護・福祉サービス	500	15. 家族負担に関する相談	15
6. 保健・医療	26	16. 介護離職に関する相談	1
7. 精神的支援	0	17. 苦情全般	12
8. 生活支援	107	18. 家族間調整	11
9. 状況確認	51	19. 個人の悩み事	12
10. 関係機関調整	83	20. その他	93

2 運営管理

2-1 職員状況

	2025. 4. 1 現員数	2025. 4. 1～2026. 3. 31				2026. 3. 31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総 数	7	2		1	1	7
管理者(兼務)	1					1
主任ケアマネジャー	1					1
社会福祉士	3	1		1	1	2
保健師・看護師	1	1				2
生活支援コーディネーター	1					1

※6月～1名産休、育休入り

2-2 職員研修の状況

施 設 内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
	コ・ヒューマントレーニング	1	4/1	新任研修	2
6/18	感染症対策研修	1	7/22	BCP対策研修	1
10/25	個人情報保護研修	3	11/6	コンプライアンス研修	4
12/24	感染症対策研修	2	1/21	口腔ケア研修	1
1/26	メンタルヘルスケア研修	1	2/28	褥瘡ケア研修	1
3/3	BCP対策研修	3			
施 設 外					
5/17	ケアマネジャーのためのハラスメント研修	1	5/25	ふまねっとサポーター養成講習会	1
6/30	安全運転管理者講習会	1	7/19	ケアマネジャーが取り組む人財育成と地域づくり	1
7/28	高齢者虐待防止対策新任研修	1	8/19	千葉県キャラバン・メイト養成研修	1
8/19・20	地域包括支援センター初任者研修	1	9/20	知っておこう！重層的支援体制整備事業	1
全3回	高齢者虐待防止対策現任研修	1	11/20	さくらケアマネ協議会研修	1
11/30	千葉県介護予防専門職育成研修	1	12/12	いんば圏域福祉関係者合同研修会	3
12/18	千葉県地域包括支援センター職員現任研修	1	12/20	認知症初期集中チーム員研修	1
12/20	自己決定尊重のための意思決定支援	1	全3回	千葉県認知症地域支援推進員現任研修	1
2/3	移動支援研修	1	2/8	千葉県地域リハビリテーションフォーラム	1
2/10	千葉県高齢者虐待防止対策研修(専門研修)	2	2/13	千葉県地域ケア会議研修	1
2/21	人生の最終段階の支援	1	2/24	高齢者虐待対応における養護者支援について	1
2/26	ファシリテーター研修	3	3/10	さくらケアマネ協議会研修	2
3/21	ふまねっとサポーター養成講習会	1			

2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会 議 名	開 催 数	会 議 名	開 催 数
包括会議	月 2 回	管理者会議	月 1 回
包括ケース検討会	月 2 回	5 包括合同事例検討会	月 1 回
高齢者福祉事業部実績会議	月 1 回	生活支援コーディネーター定例会	月 1 回
はちす苑運営会議	月 1 回	認知症地域支援推進員会議	月 1 回
		認知症初期集中支援チーム員会議	月 1 回
		民生委員・児童委員 各地区定例会	月 1 回
		医療介護連携会議「さきいか」	随 時
		介護予防事業担当者会議	随 時
		在宅医療介護連携事業担当者会議	随 時

2－4 実習生受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数
7/8～ 7/ 18（各 2 日）	秀明大学	看護師	3
12/16～12/17（2 日間）	城西国際大学	看護師	1
2/24、2/25（各 1 日）	東京情報大学	看護師	2

VI. 地域福祉事業部

概況

前年度に続き当年度も南部児童センターでは、スローガンを「子どもまんなか DO まんなか」とし、こども中心の支援に努めてきた。また、児童センター主体の新規事業の実施を目標に掲げ、8月に「なんぶサマーフェスタ」を盛大に開催することができた。利用者数においても、前年度総数 24,108 人であったのに対し、当年度は 27,424 人で、約 3,000 人の増加となった。南部児童センターの全利用者の 1 日平均来館者数は、90.5 人であった。また、乳幼児の利用数においても、前年度 5,814 人に対し、当年度は 6,980 人で、乳幼児親子の増加も見られた。イベントを楽しみに来館する親子が増えたことに加え、育休を取得する父親が増え、育児に積極的に参加する家庭が増えたことが背景にあると考えられる。小学生の利用についても、過去最高で 10,000 人を突破し、特に低学年の利用が多く、毎日のように来館する子もいた。南部児童センターが、家庭でも学校でもない「第 3 の居場所」として定着し、保護者からも安心して遊ばせられる場所となっている。

南部児童センターでは、当年度 4 月より「カード式来館システム」を導入した。このシステムは、児童センターを利用する際に必要な年間登録(住所、電話番号などの情報)を一括で管理するものであり、登録時に入館カードを発行し、バーコードで読み取ることで、スムーズに入館できるようになった。

○子育て親子の交流、集いの場の設定

午前中の乳幼児親子を対象としたクラスやイベントで、子育て親子の交流を図ることができた。親子遊びの後、子育て親子の交流の場となっていた。

○子ども中心の企画および子どもの参加促進

夏休みの恒例企画「おばけやしき」を開催。今年度も小中高生を対象に募集を行い、「おばけやしき実行委員会」を立ち上げた。応募してくれた子どもたちは、小学生 23 名。今年は 3、4 年生が中心メンバーとなり、8 回の実行委員会を経て、開催の当日を迎えた。来場者は 205 名、前年度の 160 名から大幅に増加した。当日はボランティアの高校生も参加し、受付や会場の整理などで活躍された。終了後の「おつかれさま会」では、「来年もまたやりたい」との声が多く聞かれた。

○スマイルクラブ

小中学生を対象としたボランティアクラブ「スマイルクラブ」は、今年も地域での活動に取り組むだけでなく、いろいろな体験にチャレンジをした。今年の登録者数は 19 名。1 年間の主な活動内容としては、まち協農園の芋苗植え、ゴミゼロ運動の参加、南部サマーフェスタでの手伝い、根郷福祉まつりでの赤い羽根共同募金活動、未来協ボッチャ交流大会の参加、オレンジカフェへの参加など。来年度もいろいろな活動で活躍されることを期待したい。

○地域との交流づくり

今年初めての企画として「なんぶサマーフェスタ」を開催。対象は乳幼児親子から 18 歳まで。幅広い年齢の子どもたちを対象とし、会場は南国のような雰囲気にも包まれた。あそびのフェスタ、ワークショップ、ゲームコーナーなどを設け、遊びの後はショータイム、ボランティアによるフラダンスとウクレレが披露され、フィナーレでは、会場全体でダンスを踊った。来場者は 262 人であった。

○事業継続計画書に基づく訓練

毎月、児童センター内で、防災関係の訓練を実施した。また、防災備品について、非常用備品の点検と、非常食の期限が切れるため、改めて非常食の購入の更新を行った。

○その他

5 月より、地域のボランティアにより、南部児童センターの玄関と廊下のテーブルに、毎日生け花が飾られるようになった。地域住民の方が、生花を寄付してくださり、それをボランティアが毎日切り花をして生けくださっている。来年度もぜひ継続してお願いしたい。

(所長 横川 民夫)

1 サービスの利用状況(2025.4.1～2026.3.31)

(1)施設利用状況

(人)

	開館日数	幼児	小学生	中学・高校生	一般	合計
年間利用数	303	6,980	10,253	2,995	7,196	27,424
一日平均		23.0	33.8	9.88	23.7	90.5

(2)図書貸出状況

(人)

	開館日数	延べ利用者数	貸出冊数	新規登録者数
年間利用数	303	666	2,468	113
一日平均		2.2	8.1	—

(3)事業実施状況(延べ人数)

区分		No	事業の名称	回数 (年間)	実施月	対象年齢	参加人数	事業内容	参加費
子育て支援に 関する業務	①子育て中の親子へ 遊び場の提供業務	1	ひよこタイム	294 回	通年	未就園児	5259 名	スキンシップあそび・わらべうた あそび・絵本読み聞かせ	無料
		2	ゆりかごタイム	37 回	通年	0歳	1035 名	スキンシップあそび・身体測定・母親同 士の交流・保健師・栄養士による相談	無料
		3	ペンギンちゃんタイム	22 回	通年	1・2 歳児親子	676 名	スキンシップあそび・わらべうたあそび	無料
		4	ひよこスペシャル	2 回	6・11 月	乳幼児親子	98 名	おたのしみ会	無料
		5	芋苗植え・収穫祭	2 回	5・10 月	乳幼児親子	109 名	親子で土に親しみ共に収穫を楽しむ	無料
		6	ママのリフレッシュタイム	0 回	1 月	乳幼児親子	0 名	講師を招いてヨガを楽しむ	無料
		7	ゆりかご同窓会	0 回	6 月	乳幼児親子	0 名	ゆりかごを卒業した親子の交流会	無料
		8	乳幼児遠足 (佐倉七井戸公園)	1 回	5 月	乳幼児親子	16 名	季節の自然に触れながら、母親同士の 交流を深める	無料
		9	おはなしキャラバン	2 回	5・12 月	乳幼児親子	154 名	人形劇、大型絵本、パネルシアター、 絵本の鑑賞	無料
		10	県民の日あそびの フェスティバル	1 回	6 月	乳幼児親子	73 名	色々なあそびを通して交流を深める	無料
		11	お店やさんごっこ	1 回	11 月	乳幼児親子	93 名	親子で買い物を楽しむ 小学生との 世代間交流	無料
		12	噴水あそび	4 回	6・7 月	乳幼児親子	118 名	噴水装置による水あそび	無料
		13	はっぴいランチ	5 回	毎月	乳幼児親子	29 名	親子で食事をしながらの交流会	無料
		14	季節の工作 (作ってあそぼう)	通年	毎月	乳幼児親子 ～一般	3942 名	季節の工作、手作りおもちゃなどの 持ち帰り	無料
		15	おめでとうウィーク (毎月1～7日)	35 回	毎月	乳幼児親子	98 名	お誕生児にバースデーカード・ 缶バッジプレゼント	無料

		16	計測 DAY	12 回	毎月	乳幼児親子	113 名	身体測定	無料	
②子育て相談業務 ※専門職員等(保健師・ 栄養士・歯科衛生士等) を招いて事業		1	子育てコンシェルジュ	13 回	不定期	乳幼児親子	40 名	子育てでコンシェルジュを招いて、 子育てでの個別相談・支援業務	無料	
		2	子育てミニ講座	6 回	不定期	乳幼児親子	236 名	保育士・栄養士によるミニ講座・救急法・ ベビーマッサージ・リトミック・ヨガ	無料	
遊びを通しての体力増進指導業務		1	幼児体操教室	1 回	6 月	4～5 歳児 親子	28 名	講師による親子運動あそびの実践	無料	
		2	小学生体操教室	1 回	6 月	小学 1 年生 ～3 年生	14 名	ゲームあそびを通して体力作り。 跳び箱、ボール等を使った運動あそび	無料	
児童の健全育成 に関する業務	①行事活動業務	1	チャレンジ	通年	不定期	小学生～	1691 名	チャレンジを通してあそびを展開する	無料	
		2	県民の日 あそびのフェスティバル	1 回	6 月 15 日	小学生～	44 名	色々なあそびを通して交流を深める。	無料	
		3	噴水あそび	1 回	7・8 月	小学生～	15 名	噴水装置による水あそび大会	無料	
		4	愛光秋祭り	0 回	10 月	乳幼児親子 ～18 歳	0 名	障がい者・高齢者との交流	無料	
	②小学生を対象とする 活動業務	1	臨時開館	2 回	不定期	小中学生	120 名	始業式などを開館し、中学生の 居場所づくり	無料	
		2	おばけやしき実行委員	8 回	6・7 月	小中学生	142 名	実行委員(小学生)が企画・運営・ 地域との交流	無料	
		3	放課後Xデー (レクリエーション大会)	0 回	不定期	小学生	0 名	集団あそびをととして、異年齢の 交流を図る。ニュースポーツ等	無料	
		4	こわいおはなし会 &ミニ工作	1 回	7 月	小学生	29 名	司書による怖い絵本の読み聞かせ、 素話。	無料	
		5	ドッチビー大会	3 回	不定期	小学生	127 名	色々な学校・学年の友だちとの対戦し 交流を図る	無料	
		6	ドッチボール大会	1 回	不定期	小学生	68 名	色々な学校・学年の友だちとの対戦し交流を図る	無料	
		7	卓球(バドミントン)大会	0 回	9・3 月	小学 4 年生以上	0 名	色々な学校・学年の友だちとの対戦し交流を図る	無料	
		8	トランプ大会 ゲーム大会	1 回	不定期	小学生	34 名	色々な学校・学年の友だちとの対戦し交流を図る	無料	
		9	茶道体験教室	0 回	1～2月	小学生	0 名	伝統文化の体験	菓子代	
		10	生け花教室	1 回	11～2月	小学生	10 名	伝統文化の体験	花代	
		11	クリスマス会	1 回	12 月	小中学生	42 名	季節の行事を通して友達と交流する	無料	
		12	工作 (フォトフレーム作り)	4 回	不定期	小中学生	129 名	作る楽しさと想像力と集中力を養う	無料	
	③中学生を対象とする 活動業務	1	臨時開館	2 回	不定期	中学生	33 名	始業式などを開館し、中学生の居場所づくり	無料	
		2	中高生バスケット大会	1 回	長期休み 3月	中高生	20 名	参加希望者による3対3のミニゲーム	無料	
	④ボランティア、サー クル支援活動業務		1	スマイルクラブ (ボランティアチーム)	13 回	通年	小学生	157 名	館内装飾・掲示・工作キット作りなどのボランティア活動	無料

		2	子育て応援サポーター (ボランティア)	通年	不定期	一般	0名	遊具消毒・将棋教室補助	無料
⑤地域交流・世代間交流 (異年齢交流)活動業務	1	1	ゴミゼロ運動	1回	5月	小学生以上	21名	根郷小学校区まちづくり協議会との連携	無料
	2	2	交通安全教室	1回	8月	小学生以上	22名	佐倉警察署との連携	無料
	3	3	赤い羽根共同募金 しおり製作	1回	8月	幼児～一般	30名	佐倉市社会福祉協議会との連携	無料
	4	4	高齢者・障害者施設へ 訪問ボランティア	1回	不定期	小学生以上	4名	敬老会やオレンジカフェなどで、はちす苑や地 域福祉センターなど的高齢者施設との連携	無料
	5	5	共同募金活動	1回	不定期	小学生以上	13名	佐倉市社会福祉協議会との連携	無料
	6	6	根郷福祉まつり	1回	10月	乳幼児～一般	373名	根郷社会福祉協議会や 各種団体との連携	無料
	7	7	クイズラリー・ 缶バッチ作り	1回	4・5月	乳幼児～一般	71名	ゴールデンウィーク企画 クイズと工作を楽しむ	無料
	8	8	ハロウィン・ クイズラリー	1回	10月	乳幼児～一般	50名	ハロウィンを楽しむ 海外の文化に 親しみを持つ	無料
	9	9	おばけやしき	1回	7月	乳幼児～一般	205名	南部包括支援センターとの連携	無料
	10	10	ポッチャ交流大会	1回	1月	幼児親子	14名	子育てサロンとの連携	無料
	11	11	ゲートボール交流会 ブラレール DAY	10回	未定	小学生	346名	地域福祉センターとの連携 遊びを通しての異年齢交流	無料
	12	12	吹奏楽団による ファミリーコンサート	1回	12月 11月	乳幼児～一般	190名	市民吹奏楽団による演奏会・地域共生プロジェクト	無料
	13	13	なんぶサマーフェスタ (新規)	1回	8月	乳幼児～一般	262名	夏祭り 異世代交流	無料
	14	14	芋苗植え・収穫祭	2回	5・10月	小学生	53名	まち協との連携	無料
	15	15	ボランティアの 受け入れ	262回	通年	高校生以上	454名	高校生や大学生、一般などによる 日常的な遊びの支援	無料

(4)主な行事実施状況

月	行事内容
4月	ドッチボール大会(4/7) 救命救急講座(4/23) (工作)ひらひらちようちょ 手作り缶バッチ
5月	クイズラリーに挑戦(5/4) 公園に行こう(5/22 七井戸公園) おはなしキャラバン(5/18) (工作)こいのぼり ありがとうカード
6月	体操教室(6/22,21) 県民の日あそびのフェスティバル(6/15) 水あそび(6/27) (工作)にぎにぎあじさい プラレール Day(6/7) おたのしみ会(6/29)
7月	水あそび こわーいおはなし会(7/23) ドッチビー大会(7/18) たなばた(7/4) (工作)パンダで色あそび たなばた おばけ屋敷(7/29)
8月	アンブレラマーカーを作ろう(8/26) 赤い羽根共同募金しおり作り(8/8) 交通安全教室(8/5) なんぶサマーフェスタ(8/21) プラレール Day(8/2) (工作)おさかなアート
9月	おまつりごっこ(9/30) ドッチビー大会(9/1) プラレール Day(9/7) 野菜収穫体験(10/19) リトミックであそぼう(9/25) (工作)ふくろうのふくろ
10月	おつきみ(10/2) 根郷福祉まつり(10/5) ひよこさんどうかい(10/10) ハッピーハロウィン(10/31) (工作)くるくるおばけモビール プラレール Day(10/4)
11月	プラレール Day(11/2) ベビーマッサージ(11/13) 美味しいブックトーク(11/18) ひよこタイムスペシャル(11/29) (工作)みのむしふわりん
12月	いけばな教室(12/14) クリスマスオーナメント作り(12/11~13) ドッチビー大会&クリスマス会(12/23) クリスマス会(12/19) おはなしキャラバン(12/11) (工作)ゆきだるまのふわふわリース プラレール Day(12/6)
1月	おたのしみゲーム大会(1/7) ニューイヤーファミリーコンサート(1/25) プラレール Day(1/11) (工作)ダーラナーホースのオーナメント
2月	フォトフレームを作ろう(2/12~14) まめまきあそび(2/3) バレンタインさんどうかい(2/13) ひなまつり足形アート(2/20) プラレール Day(2/7) (工作)ハートのバッグ
3月	バスケットボール大会(3/4) ドッチボール大会(3/24) ひよこおたのしみ会(3/13) ひなまつり(3/3) プラレール Day(3/1) (工作)ぽんぽこタヌキを作ろう

(5)子育て相談

(件)

	子育て支援	発達相談	家庭問題	就園相談	情報提供	
					あそび場	医療機関
子育てコンシェルジュ	16	1	5	19	3	0
インストラクター	33	7	3	2	0	0
計	49	8	8	21	3	0

(6) 職員状況

	2025.4.1 現員数	2025.4.1～2026.3.31				2026.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	14(8)	5(4)	1(0)		4(3)	13(8)
所長	1(0)		1(0)			1(0)
インストラクター	9(6)	4(3)			3(2)	8(6)
事務員	2(0)					2(0)
用務員	2(2)	1(1)			1(1)	2(2)

(7) 職員の研修

施設外研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
6/6 7/11	園児のためのリトミック	1	6/18	感染症対策研修	2
9/12 11/7	園児のためのリトミック	1	6/25	児童厚生員等研修会	2
1/16	園児のためのリトミック	1	8/6	ワンダーサマースクール	2
9/10	経営層マネージメント研修	1	8/7	メンタルヘルス研修	1
12/5	法人実践発表会	2	9/26	児童厚生員等研修会	1
12/24	感染症対策研修	2	2/2	佐倉市内児童センター全体研修	8
3/26	労務管理者研修	1			

(8) 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
8月18日～9月8日	千葉敬愛短期大学	保育士	1

概況

『こどもまんなか DO まんなか』をスローガンとし、2年目となった。子どもたちの主体性を引き出せるよう、大人が決めるのではなく、できる限り子どもの意志を汲んだイベントの実施が出来たのではないかと思います。学年、年齢に応じた大人の介入を意識し、アドバイスをしたり、時には任せてみたりとその時々で大人も学んでいる。

子どもの見守り方についてもまんなかにも意識するよう職員にも伝え、保育を実施した。「見守り」の言葉の中に含まれる意味、内容を理解し日々保育にあたらなくてはならない。「仲良く遊んでいると思った」これがキーワードとなったトラブルがいくつか発生した。子どもの表情や聞こえない声に耳を傾けていたか。また、「他人事」「興味関心がない」と保護者が感じ取る場面もあった。子ども、保護者に寄り添い対応するという基本姿勢を再度見直していくという課題ができた。

○特別に配慮の必要な子の支援

今年度は、保育室から出て行ってしまうという子どもが数人いた。病気からの影響であったり、反発や遊び半分で出て行ったりと理由はそれぞれにあるが、子どもの安全、保護者の安心を考えての支援となるが、苦慮した。加配の配置、市の巡回相談を活用しながら、子どもの興味、関心を探りながら遊びの提供を行った。また、記録の整備を行い、職員で共有してきた。

○職員の資質向上/8 学童の連携

学童の連携としては、平時、長期休暇中、Zoom とビジネスチャット(direct)の使い分けが出来ていた。

Zoom での内容については、利用者数、職員の動きのみで終わってしまうことがあるので、昨日の子どもの様子、保護者の様子、対応について共有していけるように今後も取り組んでいきたい。

研修については10月より、2か月に1度各学童持ち回りでテーマを決め、ケース研修を行っている。子どもの対応から、保護者対応など、実際に演じてみたり、動画をみたりと学びの場を作っている。また、7名が放課後児童支援員の認定資格研修に参加した。

○業務の見直し

入退室を管理できるシステムの導入を行った。時間の管理、人数の把握、月間予定表の管理など、目視、手作業であったものがシステムの中で完結されるため、日々の業務の軽減にはつながったと思われる。ヒヤリハットや保護者からのメッセージも確認することができるため、情報の共有も早くなり、自分事として一緒に対応策を考えることができている。入所業務や利用料についても一括管理できるようになった。ただ、新規利用の際にデーターとして入力する情報は多くあり、新年度の受付の際には事務量が多くなる。また、項目として、現場で知っておきたい情報の入力の画面がないこともあり、何をどの項目に入力していくか等、都度現場と確認を行った。来年度より、利用台帳のコピーを各学童に保管し活用していたが、これをすべてシステムの中での管理としていく。不都合があれば、都度見直しを行っていきたい。

(所長 小出 博美)

1 サービスの利用状況(2025.4.1～2026.3.31)

(1)登録・利用状況

(人) (日)

	定 員	登録者数 (延べ人数)	延べ利用者数 (年間総数)	一日平均 利用者数	開所日数
根 郷 学 童 保 育 所 (対象学年1年～3年)	55	551	8,179	34.6	288
第二根郷学童保育所 (対象学年1年～6年)	60	766	9,935	40.3	288
和 田 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	30	297	4,518	18.4	279
弥 富 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	50	133	1,748	7.2	269
寺 崎 学 童 保 育 所 (対象学年1年～3年)	60	620	9,301	37.8	289
第二寺崎学童保育所 (対象学年1年～3年)	45	630	8,860	36.0	287
大 崎 台 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	55	645	8,039	32.4	290
山 王 学 童 保 育 所 (対象学年1年～6年)	65	545	8,547	34.8	289
全学童計	420	4,187	59,127	—	—

(2)学童保育所の主な行事

根郷学童保育所	実施月	活動の名称	実施月	活動の名称
	4月	ようこそ、根郷学童へ	10月	秋まつりに行こう
	5月	こいのぼりがいっぱい	11月	アイロンビーズ制作
	6月	クイズです	12月	宝さがし
	7月	夏休みに使える工作		パーティーしよう！
	8月	お祭り準備	1月	かるたを作ろう！
	9月	根郷まつり	2月	ハートがいっぱい
第二根郷学童保育所		プラ板	3月	ありがとう！
	実施月	活動の名称	実施月	活動の名称
	4月	第二根郷スタンプラリー	10月	秋まつりに行こう
	5月			秋のスポーツ大会
	6月	シャボン玉を楽しむ	11月	謎解きラリー
	7月	七夕	12月	クリスマス楽しもう！今日もやろう！（ゲームイベント）
	8月	お化け屋敷 お祭り	2月	鬼退治でお宝ゲット！
山王学童保育所			3月	ありがとう6年生(送別会)
	実施月	活動の名称	実施月	活動の名称
	4月	山王学童クイズゲーム	10月	秋まつりに行こう
	5月	みんなでポッチャ大会		ドッジボール大会
	6月	お話会week	11月	宝探しゲーム
	7月	七夕ウィーク	12月	ビンゴゲーム大会
	8月	すいかうちわ作り	1月	プラ板制作(絵馬を作ろう)
		スライム作り	2月	みんなで尻尾取り鬼ごっこ
		スノードーム作り	3月	6年生を送る会
	9月	空き箱、ダンボールで作って遊ぼう		

大崎台学童保育所	月 日	活動の名称	月 日	活動の名称
	4月	ウェルカムドッジボール大会	10月	秋まつりに行こう
	5月	割れないシャボン玉		ペットボトルロケット
	6月	クイズ王はきみだ！	11月	スポーツ鬼ごっこ
	7月	スライム作り	12月	お楽しみ会
	8月	お化け屋敷	10月	秋まつりに行こう
	9月	ダンボール工房2025		ペットボトルロケット
			11月	スポーツ鬼ごっこ
			12月	お楽しみ会
寺崎学童保育所	月 日	活動の名称	月 日	活動の名称
	4月	みんなであそぼう！	10月	秋まつりに行こう
	5月	みんなであそぼう！ 2		クイズ週間
	6月	工作しよう！	11月	チーム対抗！しっぽ取り！
	7月	七夕会	12月	冬の工作をしよう！
	8月	スライムを作ろう		年末お楽しみ会
		プラバンやろう	10月	秋まつりに行こう
		バスボムを作ろう		クイズ週間
		夏を楽しもう会	11月	チーム対抗！しっぽ取り！
	9月	寺崎 秋まつり	12月	冬の工作をしよう！
第二寺崎学童保育所	月 日	活動の名称	月 日	活動の名称
	4月	仲良し遊び	10月	秋まつりに行こう
	5月	実験 & ペットボトル水抜き選手権		秋の音楽会
	6月	—	11月	プラ板でネームプレート作り
	7月	自分の記録に挑戦	12月	お楽しみ会
	8月	アイロンビーズでキーホルダー作り		万華鏡作り
		缶バッチを作ろう！！	10月	秋まつりに行こう
		祭りの景品作り		秋の音楽会
		夏祭り	11月	プラ板でネームプレート作り
弥富学童保育所	月 日	活動の名称	月 日	活動の名称
	4月	—	10月	秋まつりに行こう
	5月	弥富へようこそ		かぼちゃパーティー
	6月	ゲーム大会	11月	オリジナルツリーを作ろう
	7月	何作る？？色んなものを作ろう！！	12月	お楽しみ会
	8月	—	1月	凧あげ
	9月	スライム作り	2月	プラ板
		弥富夏まつり	3月	6年生ありがとうの会
		紙飛行機大会		
和田学童保育所	月 日	活動の名称	月 日	活動の名称
	4月	新入生歓迎会	10月	秋まつりに行こう
	5月	色々な鬼ごっこで遊ぼう！		ドッジボールとプチピクニック
	6月	シャボン玉で遊ぼう！	11月	長縄チャレンジ
	7月	夏のおたのしみ会	12月	クリスマスの工作
	8月	アイロンビーズ制作	10月	秋まつりに行こう
		プラ板制作		ドッジボールとプチピクニック
	9月	貝殻でオリジナルストラップを作ろう！	11月	長縄チャレンジ
			12月	クリスマスの工作

(3) 職員状況

	2025.4 現員数	2025.4.1～2026.3.31				2026.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	39(28)	42(41)	2(0)	1(1)	30(24)	56(46)
所長	1(0)	・	・	・	・	1(0)
主任	2(0)	・	・	・	・	2(0)
学童支援員・補助支援員	36(28)	42(41)	2(0)	1(1)	30(24)	53(46)

(4) 職員の研修状況

学童支援員認定資格研修会					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
6/ 24.25.26.27	第1クール受講者（成田市）	2	7/ 3.4.17.18	第2クール受講者（市川市）	1
9/ 6.7.13.14	第4クール受講者（千葉市）	1	11/ 23.29.30 .12/16	第9クール受講者（WEB）	1
12/ 15.16.17.18	第11クール受講者（WEB）	1	1/ 26.27.28.2 9	第13クール受講者（WEB）	1

施設内研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
8/25	プライバシー保護および個人情報保護研修	1	1/26	メンタルヘルス研修（管理職向け）	1
9/10	経営層マネジメントトレーニング研修Ⅰ	1	1/30	ケース研修	
10/30	ケース研修			「子ども同士のトラブルへの対応」	27
	「同じ言葉を繰り返す子どもの対応」	34	2/5	接遇マナー「保育士に求められるマナー」	10
12/10	感染症研修	31	3/4	ケース研修「職場でのチーム作り」	32
1/14	経営層マネジメントトレーニング研修Ⅱ	1	3/26	労務管理者研修	1

外 部 研 修		
月日	研修名	参加人数
6/12	佐倉市学童保育所職員研修 LGBTQ 研修～保育現場における多様性への理解と対応～	20
2/19	佐倉市学童保育所職員研修 ～子どもたちに向き合う力～	16

概況

南部地域福祉センターの役割と使命として、スローガンを「様々な活動で交流でき、活気ある地域福祉センターを」を掲げ、当年度も活気ある地域福祉センターの維持に努めた。浴室や大広間があるA棟が空調設備等の故障により、当年度6月より休止となったため、A棟での貸館及び事業を、B棟に移行して開催することになった。B棟で利用できる部屋は主に研修室及び和室で、調整等に苦慮したところもあったが、A棟での事業をどうにかB棟でできるよう移行、展開することができた。研修室を2部屋に分けて使用し、利用人数が多い「水曜体操会」や昼ヨガを2部制とした。また、A棟大広間で開催していた年間行事である「南部文化祭」や「教養教室発表会」についても、規模を縮小して研修室で開催した。毎月開催していた「ふれあいサロン南部」についても、年度後半に、研修室で2回開催することができた。

○本年度数値目標

- ・本年度よりA棟の入浴営業は、5月末までで休止となった。入浴券発券等をあらかじめ停止した。
- ・来館者数 目標 36,000 人 昨年度 41,431 人 本年度 33,841 人 前年度比 81.6%（A棟の利用休止による）

○新規利用者の獲得・日々の利用者増

- ・教養教室・講座等で新規利用者の登録、利用が20件以上あった。
- ・「健康麻雀教室」は本年度も好評であり、4テーブルから6テーブルに増え、部屋のスペース及び講師の対応可能人数の関係で、定員が満員となった。
- ・前年度からの交流事業「カラオケ広場」をA棟の大広間が使えなくなったため、6月以降一旦停止した。先行予約状況と終日対応することを踏まえ、令和8年度より開催予定とした。

○ボランティア養成講座

12月、成田赤十字病院の看護師を招き、「心にゆとりを持つ介護、感情との付き合い方を身に着けよう。」をテーマに地域住民対象に講座を開催、20名ほどの参加者があった。

○地域住民のための講座

1月、宅老所を運営する石井英寿氏をセンターに招き、「地域に開いたごちゃ混ぜケア、高齢者に寄り添う豊かなケアの実践」をテーマに、新たに開設した「52間の縁側」の様子が紹介された。

○ボランティア活動の奨励と活性化

定期的に佐倉市ボランティアセンター、西部ボランティアセンター、南部ボランティアセンターでの3センター会議で情報共有に努め、佐倉市ボランティアセンター運営委員会では、ボランティアの相談内容の報告とボランティア活動の取材及び活動内容の紹介を行った。その他ボランティア保険の手続きを継続して実施。

○企画事業の実施

- ・昼ヨガ、夜ヨガともに人気があり、特に「昼のヨガ」は、参加者数が多く、研修室では一度に実施できないため、約20人ずつの2部制に分けて実施することにした。
- ・6月から陶芸とゲートボール、七宝焼き以外すべての事業をB棟に移した。
- ・「ふれあいサロン南部」は、11月にボランティアサークル「かぐや姫」にお願いし、太鼓とダンスのステージを地域の方に披露していただいた。12月には、「アルペジオギターサークル」のコンサートを開催した。
- ・10月、「南部文化祭」を初めてB棟研修室と和室にて開催。2日間の開催とし、出展者は昨年と同じく、書道教室の作品、陶芸の作品他、七宝焼き、生け花教室など、定期利用団体の出展作品や、各教室の作品が華やかに飾られた。
- ・3月、「教養教室発表会」を開催。日頃の教養教室の成果が披露された。大正琴・詩吟・民謡の3教室のステージでの発表と生け花教室、書道教室の展示が行われた。教養教室の発表者は、B棟にて発表会を開催することができ、満足されていたようである。

○その他

- ・2月、定期利用団体の懇談会を実施した。27名の団体の代表者の参加があった。その際、センターの担当課である佐倉市社会福祉課より、今後のB棟についての説明があった。
- ・生け花教室の生徒が、本年度も1年間B棟の玄関とロビーに生け花を飾っていただいた。来所する地域住民からたいへん好評であった。

（主任 青山 秀人）

1-1 業務内容

○事業並びに業務

1. 各種相談事業
2. 高齢者交流事業
3. ふれあいサロン事業
4. ボランティアセンター運営事業
5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
6. 大型バス運営事業
7. 愛光たすけあい移送サービス(イベント時のみ運行)
8. 浴室運営事業(6月より休止)
9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

- (1) 利用状況(開所日数 A棟 305 日〔臨時閉所日数1日含む〕、B 棟 315 日〔検診 10 日含む、臨時閉所日数 1 日含む〕 延べ 34,022 人)

A 棟	浴室	大広間	作業室	教 養 娯楽室	会議室	健 康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	528	1,465	218	520	712	27	1137	491	100
前年	3,193	8,780	1,367	3,358	3792	414	752	479	1,187
B 棟	研修室	和室	ボランティア センター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	22,648	4,349	1,041	712	74				
前年	16,676	948	940	758	857				

※A 棟浴室、大広間、作業室、教養娯楽室、会議室、健康談話室、健康相談、移送サービス(往復2名でカウント)は、5月まで実施し6月から実施無し。

- (2) 大型バス運行利用状況

利用台数	50 台
利用人数	1,837 人

- (3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
民謡	第1 第3 木曜日	會田和則 氏	10 人
大正琴	第2 第4 水曜日	斉藤玲子 氏	6 人
書道	第1 第3 火曜日	長尾左保里 氏	11 人
いけばな	第2 第4 火曜日	羽根井和子 氏	9 人
太極拳	第2 第4 水曜日	塚本景次 氏	26 人
詩吟	第1 第3 土曜日	川端恵子 氏	8 人
健康麻雀	第1・第3 木曜日	伊東 豊 氏	29 人

- (4) 講座、イベント

12月6日 ボランティア講座「心にゆとりを持つ介護」 講師：成田赤十字病院 服部 信氏
 1月31日 地域住民のための講座「いいさんちの石井さん」 講師：石井 英寿氏

(5) 事業・講座・イベント

事業・講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	3	105
高齢者交流事業（教養教室のみ）	157	1743
趣味の教室（一本の筆等）	24	141
地域福祉のための講座	1	33
ボランティア講座	1	14

(6) 2-1 職員状況

	2025.4.1 現員数	2025.4.1～2026.3.31				2026.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	11(10)	0	1	1	0	8(6)
所長	1	0	0	0	0	1
事務員	3	1	0	0	0	3
管理員	4	0	0	0	1	3
保健師	1	0	0	0	1	0
用務員	2	0	0	0	1	1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示。

2-2 会議等(定例会議)

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	6	指定管理ミーティング	6
実績会議	12	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	4
ボランティア委員会	12	佐倉市ボランティアセンター定例会	4

3 共同事業の報告

3-1

事業名	回数	人数
アクティブシニア事業 ヨガ(昼)	35	1015
アクティブシニア事業 ヨガ(夜)	46	662
ア・音楽体操(水曜体操)	36	1357

3-2 はちす苑との共同事業

事業名	回数	利用者(延べ)	ボランティア(延べ)
サロン・ド・ともいき	48	288	191